基本政策９

人々のつながりが広がる
文化の香りと平和に包まれたまち

施策９－１　さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上

施策の目標

●町会･自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与する触れ合いと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。

●町会･自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。

施策９－２　豊かな心を育む文化活動の振興

施策の目標

●区民が文化に触れる機会や文化を発信していく場を拡充するとともに、多様な主体によりさまざまな文化を創造するための仕組みを構築し、区民が誇れる個性豊かな文化が育つ環境を整備していきます。

●区内の文化的価値の高いものを区民文化財として指定・登録を行い、貴重な歴史・文化遺産の継承を図ります。また、文化財に関する多様な情報提供と魅力の発信を通して、歴史･文化遺産の保護と活用に関する意識の向上を図ります。

施策９－３　国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり

施策の目標

●友好･姉妹都市をはじめとした国内外の諸都市との交流の機会を通じて、さまざまな文化や生活の相互理解を深めます。また、区に暮らす人、区を訪れる人すべての人々にとって活動しやすい環境を整えることで、区民との活発な交流を促進します。

●区民一人一人が戦争の悲惨さや平和の大切さ、尊さを理解し、再認識できる機会を設けていくとともに、あらゆる施策を通じて平和意識の普及･啓発に努めていきます。

目　　次

基本政策９　人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち

９－１　さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上　頁

【125】自治振興事務（地域振興課）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 300
【126】コミュニティ活動支援事業（地域振興課）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 302
【127】地域イベントの開催等事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 304
【128】社会貢献活動の推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 306
【129】公衆浴場対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 308
【130】公設浴場管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 310
【131】区民館管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 312
【132】中央会館「銀座ブロッサム」管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 314
【133】セレモニーホール管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 316
【134】浜町集会施設「浜町メモリアル」管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 318
【135】地域コミュニティルーム管理事業（地域振興課）・・・・・・・・・・・・・・・ 320
【136】晴海地域交流センター「はるみらい」管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 322
【137】日本橋特別出張所管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 324
【138】自治振興事務（日本橋特別出張所）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 326
【139】コミュニティ活動支援事業（日本橋特別出張所）・・・・・・・・・・・・・・・ 328
【140】地域コミュニティルーム管理事業（日本橋特別出張所）・・・・・・・・・・・・ 330
【141】日本橋公会堂管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 332
【142】月島特別出張所管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 334
【143】自治振興事務（月島特別出張所）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 336
【144】コミュニティ活動支援事業（月島特別出張所）・・・・・・・・・・・・・・・・ 338
【145】地域コミュニティルーム管理事業（月島特別出張所）・・・・・・・・・・・・・ 340
【146】晴海特別出張所管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 342
【147】コミュニティ活動支援事業（晴海特別出張所）・・・・・・・・・・・・・・・・ 344

９－２　豊かな心を育む文化活動の振興

【148】地域文化活動の推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 346
【149】郷土資料館管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 348
【150】文化財保護事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 350

９－３　国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり

【151】地域間交流の推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 352
【152】平和推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 354
【153】国際交流の推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 356
【154】「中央区文化・国際交流振興協会」助成事業・・・・・・・・・・・・・・・・・ 358

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 | LPJ02 | LPJ03 | LPJ04

1 事業概要

事業名	【125】自治振興事務（地域振興課）	部課名	区民部地域振興課
事業目的	・町会・自治会の現状や課題、要望等を的確に把握するとともに、良好な地域コミュニティの維持形成および活性化、ならびに、区事業の普及推進を図る。		
事業内容	・区政への各種要望を受ける場として、行政懇談会を開催する。 ・コミュニティ連絡相談員を配置して、町会・自治会と積極的にコミュニケーションを取る。 ・区が行う各種事務事業の周知や各種調査等を町会・自治会に委託する。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策：9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち 施策：9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上	SDGsとの関連	

2 財務情報

（単位：円）

① 行政コスト計算書

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	18,036,497	23,296,132	5,259,635
	物件費	39,709,236	36,773,562	△2,935,674
	維持補修費	173,030	0	△173,030
	扶助費	0	0	0
	補助費等	0	0	0
	投資的経費	0	0	0
	減価償却費	2,777,343	2,777,343	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,560,714	3,598,363	1,037,649
	その他	0	0	0
	小計	63,256,820	66,445,400	3,188,580
特別費用		0	0	0
特別収入		0	0	0
特別収支差額		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入	地方区税	0	0	0
	特別区財政調整交付金	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支出金	0	0	0
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	0	0	0
	その他	291,156	275,922	△15,234
	小計	291,156	275,922	△15,234
行政収支差額		△62,965,664	△66,169,478	△3,203,814
金融収支差額		0	0	0
通常収支差額		△62,965,664	△66,169,478	△3,203,814
当期収支差額		△62,965,664	△66,169,478	△3,203,814
一般財源充当調整		60,465,497	62,838,892	2,373,395
再計(一般財源調整後)		△2,500,167	△3,330,586	△830,419

（内訳等）

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・コミュニティ推進事務委託 32,574,500円
主な増減理由	・事務委託作業量の減による推進事務委託料減 △2,814,800円

勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	・実績なし
主な増減理由	・京橋プラザ分庁舎内倉庫煙感知器交換工事費の皆減 △173,030円

勘定科目	その他（行政収入）
決算額の主な内訳	・光熱水費（町会倉庫負担分） 275,922円
主な増減理由	・町会倉庫電気等使用実績減による光熱水費減 △15,234円

勘定科目	
決算額の主な内訳	―
主な増減理由	―

（単位：円）

② 貸借対照表

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	1,770,683	1,770,683	0
	建物	74,939,839	72,162,496	△2,777,343
	工作物	0	0	0
	重要物品	1	1	0
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0
	その他	0	0	0
資産の部 合計		76,710,523	73,933,180	△2,777,343

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債	還付未済金	0	0	0
	特別区債	0	0	0
	賞与引当金	1,382,181	1,877,024	494,843
	その他	0	0	0
固定負債	特別区債	0	0	0
	退職給与引当金	11,934,769	15,232,245	3,297,476
	その他	0	0	0
負債の部合計		13,316,950	17,109,269	3,792,319
正味財産の部合計		63,393,573	56,823,911	△6,569,662
負債・正味財産の部合計		76,710,523	73,933,180	△2,777,343

（内訳等）

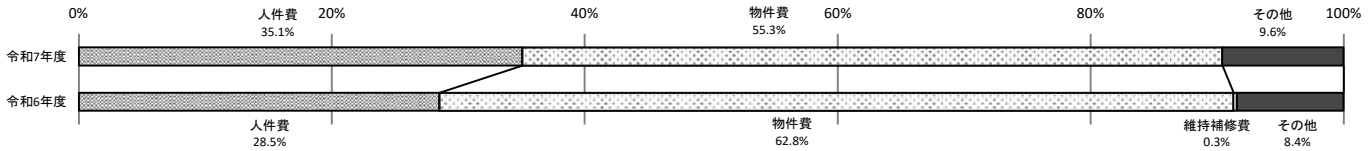
勘定科目	建物	土地	重要物品
決算額の主な内訳	・地域集会室ほか 31,313,566円 ・人形町保育園等複合施設駐輪場棟倉庫 25,195,665円 ・佃三丁目地域集会室 15,653,265円	・佃三丁目地域集会室敷地 1,770,683円	・軽自動車 1円
主な増減理由	・地域集会室ほか減価償却による減 △1,335,074円 ・人形町保育園等複合施設駐輪場棟倉庫減価償却による減 △827,320円 ・佃三丁目地域集会室減価償却による減 △614,949円	・増減なし	・増減なし

3 実施内容

①	自治振興事務	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

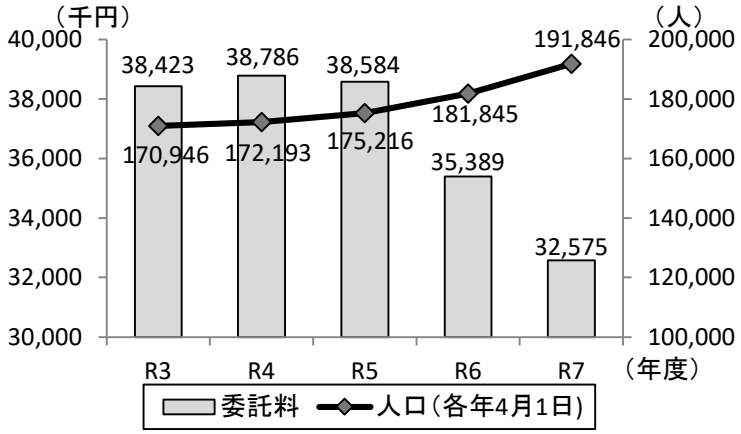
4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

コミュニティ推進事務委託 実績



行政懇談会出席実績（京橋地域）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
団体数（団体）	63	63	63	63	63
出席団体数（団体）	※	42	41	40	40
出席率（%）	※	66.7	65.1	63.5	63.5

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催

※コミュニティ推進事務委託
区が行う各種事務事業の周知等、
区の事務事業の一部を町会・自治会に委託する。
令和6年10月、委託内容の変更に伴う単価の見直しを実施。

5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・町会・自治会を通じて区事業の周知等を行うことにより、各事業の着実な普及および地域コミュニティの活性化に寄与している。 ・京橋地域の町会に対し、区の事業を周知するとともに、区政に対する要望を受ける場として行政懇談会を開催している。
	課題	・人口増加や、今後予定される再開発に伴う地域コミュニティの変化に対応し、地域コミュニティのさらなる活性化に向けた取組を進める必要がある。

② 今後の方向性	・コミュニティ推進事務委託による町会・自治会を通じた区の事業の普及発展を図ることで、地域コミュニティを活性化していく。 ・行政懇談会の開催等さまざまな機会を捉えて、町会・自治会活動の活性化に資する事業を周知するとともに、地域の意見・要望を的確に把握していく。 ・町会・自治会の活動に対する支援を継続して行うとともに、コミュニティ連絡相談員等を通じて、良好なコミュニティの醸成や、地域活動の活性化を図ることで、都心コミュニティの活性化に努める。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 LPJ02 **LPJ03** LPJ04

1 事業概要

事業名	【126】コミュニティ活動支援事業（地域振興課）	部課名	区民部地域振興課
事業目的	・各種イベントの開催を促進するなど、町会・自治会の活動に対する支援を通じて、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するとともに、良好なコミュニティの醸成と地域コミュニティの活性化を図る。		
事業内容	・町会・自治会が実施する手づくりイベントおよび盆おどり大会に対し、経費の一部を助成する。 ・町会・自治会への加入促進活動の支援や地域人材の育成および支援を行う。 ・SNS等の活用を支援し、地域活動の活発な情報発信を推進する。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち 施策 9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上	SDGsとの関連	

2 財務情報

（単位：円）

①行政コスト計算書（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	16,468,105	16,869,612	401,507
	物件費	4,132,970	2,999,100	△1,133,870
	維持補修費	0	0	0
	扶助費	0	0	0
	補助費等	26,325,000	27,886,000	1,561,000
	投資的経費	0	0	0
	減価償却費	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,338,042	2,605,710	267,668
	その他	0	0	0
	小計	49,264,117	50,360,422	1,096,305
特別費用		0	0	0
特別収入		0	0	0
特別収支差額		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入	地方区税	0	0	0
	特別区財政調整交付金	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支出金	0	0	0
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	0	0	0
	その他	2,500,000	2,500,000	0
	小計	2,500,000	2,500,000	0
行政収支差額		△46,764,117	△47,860,422	△1,096,305
金融収支差額		0	0	0
通常収支差額		△46,764,117	△47,860,422	△1,096,305
当期収支差額		△46,764,117	△47,860,422	△1,096,305
一般財源充当調整		47,017,191	47,459,798	442,607
再計(一般財源調整後)		253,074	△400,624	△653,698

勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・地域手づくりイベント推進助成 10,687,000円 ・地域の盆おどりに対する助成 8,496,000円 ・中央区コミュニティ施設賃借料助成 6,203,000円
主な増減理由	・地域の盆おどりに対する助成の増 1.496,000円

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・町会等活性化情報誌「こんにちは町会です」発行委託 1,001,000円 ・「地域のつながりコミュニティ」担い手養成プログラムの委託 893,400円 ・地域コミュニティPTA（ピタ）ッと！事業「ランPAT2.0」の委託 391,900円
主な増減理由	・町会等活性化情報誌「こんにちは町会です」発行委託費減 △923,560円 ・地域コミュニティPTA（ピタ）ッと！事業「ランPAT2.0」の委託費の減 △308,000円

勘定科目	その他（行政収入）
決算額の主な内訳	・コミュニティ助成事業費収入 2,500,000円
主な増減理由	・増減なし

勘定科目	
決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—

（単位：円）

②貸借対照表（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	0	0	0
	建物	0	0	0
	工作物	0	0	0
	重要物品	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0
	その他	0	0	0
資産の部 合計		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債	還付未済金	0	0	0
	特別区債	0	0	0
	賞与引当金	1,261,991	1,359,224	97,233
	その他	0	0	0
固定負債	特別区債	0	0	0
	退職給与引当金	10,896,963	11,030,246	133,283
	その他	0	0	0
負債の部合計		12,158,954	12,389,470	230,516
正味財産の部合計		△12,158,954	△12,389,470	△230,516
負債・正味財産の部合計		0	0	0

勘定科目			
決算額の主な内訳	—	—	—
主な増減理由	—	—	—

3 実施内容

①	コミュニティ施設（町会・自治会館等）の整備費等助成	②	町会・自治会活動支援	③	地域手づくりイベント推進助成	④	地域の盆おどりに対する助成
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)

② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

項目	R3	R4	R5	R6	R7
コミュニティ施設の整備費等助成（件）	32	31	29	27	28
地域手づくりイベント推進助成対象団体数（団体）	63	63	71	71	71
地域手づくりイベント推進助成助成団体数（団体）	4	17	36	38	36
地域手づくりイベント推進助成件数（件）	5	21	47	60	64
（内地域連携加算件数(件)）	―	―	(2)	(8)	(6)
地域盆おどり大会助成件数（件）	0	22	28	33	33
地域コミュニティ連携事業補助金（件）	11	20	―	―	―

※地域手づくりイベント推進助成において、令和5年度から助成対象団体に連合町会を加えるとともに、区内の団体等と連携してイベントを実施する場合に、一律10万円を加算して助成する地域連携加算を追加した。

〇担い手養成プログラムの主な内容
・事前説明会（全1回）
・担い手養成塾（全6回）
・修了生フォローアップ講座（全4回）

年度	修了生人数
令和3年度	17人
令和4年度	16人
令和5年度	12人
令和6年度	16人
令和7年度	9人

5 総括

① 令和7年度の取組状況

現状・成果

・地域コミュニティの課題を主体的に解決することを推進するために、平成27年度から担い手養成塾の講座を開講している。これまでの修了生の総数は171人となり、修了生同士の交流から立ち上がったプロジェクト「みんなの食堂（勝どきデイルーム）」では、運営メンバーに新規修了生が加わるなど活発な活動がされており、引き続き地域活動の担い手を養成する。
・町会・自治会への加入促進や地域活動への参加を促すため、町会等活性化情報誌「こんにちは町会です」を年2回発行している。
・地域手づくりイベント推進助成、地域盆おどり大会助成において、近年の物価高騰により、町会・自治会がイベント、盆おどり大会を開催する場合の経済的負担が増加していることを踏まえ、当該経済的負担を軽減しイベント、盆おどり大会の開催の促進を図るため、助成金の限度額を20%増額した。また、てびきの改定や相談時の声掛け等、継続して周知を図ることにより地域手づくりイベント推進助成では令和6年度を上回る助成件数となった。

課題

・デジタルを活用した町会・自治会運営の効率化や活性化等、社会情勢や町会・自治会の意向に沿った活動を支援していく必要がある。
・地域手づくりイベント推進助成、地域盆おどり大会助成において、地域の自治活動の促進をさらに推進するため、将来における地域の自治活動を担う子どもを対象として地域の自治活動に慣れ親しむ機会の拡大および創出を図る必要がある。

② 今後の方向性

・引き続き担い手養成塾を実施し、まちの課題を自ら解決できる修了生を増やしていくことで、「プロアクティブ・コミュニティ」の確立を目指す。また、修了生同士の交流の場の提供や協働ステーション中央の相談事業によるフォローアップの実施により、修了生と多様な団体との連携を支援し地域活動の広がりを促進していく。
・新規転入者をはじめとする町会・自治会未加入者に向けて加入促進や地域活動への参加を促すため、町会・自治会を紹介する「こんにちは町会です」の発行を継続する。
・町会・自治会への調査等を通じて地域活動におけるデジタル技術の活用やニーズを把握するとともに、SNS等により独自に発信している情報と区ホームページの連携を一層強化していく。
・人口増加が続く中、愛着が持てるまち、心が通い合うコミュニティを形成するため、引き続き町会・自治会等と連携しながら、地域のイベントを支援していく。
・地域手づくりイベント推進助成、地域盆おどり大会助成において、令和8年度から子ども参加促進加算を加えることにより、子どもが地域活動に参加・体験できる機会の拡大・創出を図る。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 LPJ02 **LPJ03** **LPJ04**

1 事業概要

事業名	【127】地域イベントの開催等事業	部課名	区民部地域振興課
事業目的	・各種地域事業を開催することで、多くの区民が触れ合い、交流することにより、ふるさと意識の高揚と地域の活性化を図る。		
事業内容	・町会・自治会をはじめとした区内各種団体の協力を得て開催している大江戸まつり盆おどり大会等を通じて、地域住民相互の交流や触れ合いを促進する。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち 施策 9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上	SDGsとの関連	

2 財務情報

（単位：円）

① 行政コスト計算書（内訳等） 勘定科目	令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用 人件費	23,649,180	38,700,923	15,051,743
物件費	35,613,074	71,183,356	35,570,282
維持補修費	0	0	0
扶助費	0	0	0
補助費等	69,703,400	72,145,200	2,441,800
投資的経費	0	0	0
減価償却費	0	0	0
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
賞与・退職給与引当金繰入額	3,340,060	5,955,910	2,615,850
その他	0	0	0
小計	132,305,714	187,985,389	55,679,675
特別費用	0	0	0
特別収入	0	0	0
特別収支差額	0	0	0

勘定科目	令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入 地方区税	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0
国庫支出金	0	0	0
都支出金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0
その他	500,000	12,146,200	11,646,200
小計	500,000	12,146,200	11,646,200
行政収支差額	△131,805,714	△175,839,189	△44,033,475
金融収支差額	0	0	0
通常収支差額	△131,805,714	△175,839,189	△44,033,475
当期収支差額	△131,805,714	△175,839,189	△44,033,475
一般財源充当調整	132,167,249	174,923,477	42,756,228
再計(一般財源調整後)	361,535	△915,712	△1,277,247

勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・大江戸まつり盆おどり大会開催に伴う補助金 64,127,000円 ・隅田川花火大会の共催に伴う補助金 5,778,200円 ・大江戸まつり盆おどり大会従事職員に係る報償費 2,240,000円
主な増減理由	・大江戸まつり盆おどり大会開催に伴う補助金増 2,028,000円 ・隅田川花火大会の共催に伴う補助金増 460,400円 ・大江戸まつり盆おどり大会従事職員に係る報償費増 46,600円

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・東京湾大華火祭再開に向けた準備委託料 36,438,600円 ・晴海まつり実施委託 13,090,000円 ・東京湾大華火祭再開に向けた調査委託料 9,900,000円
主な増減理由	・東京湾大華火祭再開に向けた準備委託料皆増 36,438,600円 ・東京湾大華火祭再開に向けた調査委託料皆増 9,900,000円 ・晴海まつり実施委託料増 5,170,000円 ・雪まつり会場設営・進行等業務委託料皆減 △10,560,000円

勘定科目	その他（行政収入）
決算額の主な内訳	・東京湾大華火祭開催に向けた準備に要する経費への港区補助金 12,146,200円
主な増減理由	・東京湾大華火祭の開催に向けた準備に要する経費への港区補助金皆増 12,146,200円

勘定科目	
決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—

（単位：円）

② 貸借対照表（内訳等） 勘定科目	令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産 収入未済	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0
その他	0	0	0
固定資産 土地	0	0	0
建物	0	0	0
工作物	0	0	0
重要物品	0	0	0
インフラ資産	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0
その他	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0

勘定科目	令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債 還付未済金	0	0	0
特別区債	0	0	0
賞与引当金	1,802,844	3,106,799	1,303,955
その他	0	0	0
固定負債 特別区債	0	0	0
退職給与引当金	15,567,090	25,211,991	9,644,901
その他	0	0	0
負債の部合計	17,369,934	28,318,790	10,948,856
正味財産の部合計	△17,369,934	△28,318,790	△10,948,856
負債・正味財産の部合計	0	0	0

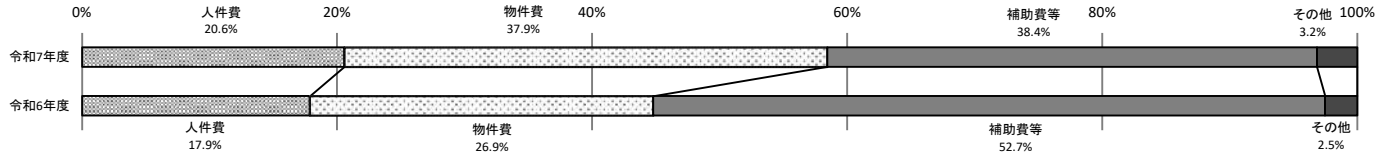
勘定科目			
決算額の主な内訳	—	—	—
主な増減理由	—	—	—

3 実施内容

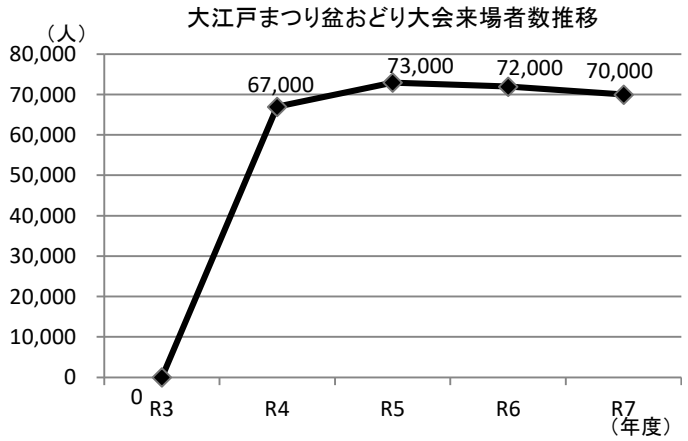
①	中央区大江戸まつり盆おどり大会	②	隅田川花火大会	③	区民還暦祝い事業	④	晴海まつり
⑤	東京湾大華火祭再開に向けた調査	⑥	東京湾大華火祭	⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

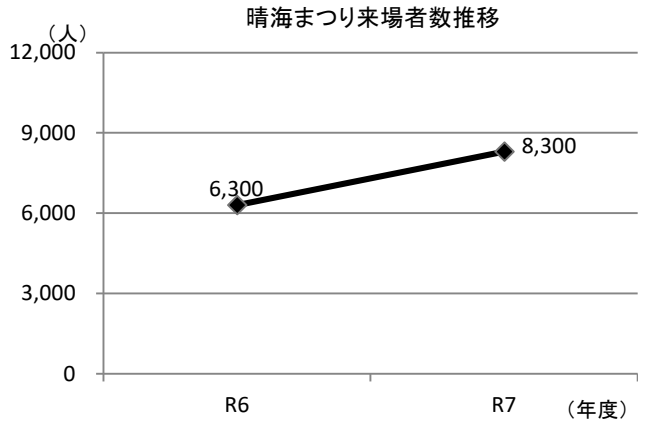
4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)





※R3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・大江戸まつり盆おどり大会は、区内の町会等各団体の協力を得て開催するイベントとして地域の活性化や区民のふるさと意識の高揚に寄与している。 ・還暦を迎える区民に対し、還暦祝い品と併せて協働ステーション中央の案内を送付することで、対象者の人生の節目を祝福するとともに、社会貢献活動や地域活動への参加のきっかけづくりとした。 ・第2回晴海まつりは、晴海地域交流センター「はるみらい」に加えて、新たに晴海ふ頭公園を会場として拡大し、晴海地区の連合町会・自治会、青少年対策地区委員会等地域の多くの方の協力を得て実施し、月島地域のコミュニティ醸成に寄与することができた。 ・東京湾大華火祭の開催に向けて、現地調査の実施や関係機関等との調整を行い、警備計画や交通規制計画を含む実施計画素案を策定した。
	課題	・イベントの実施において、区内人口の増加等により今後もさらに多くの来場者が見込まれるが、会場の大きさには限りがあるため、混雑した場合でも来場者が安全・安心に楽しめるイベントとして運営していく必要がある。 ・区民還暦祝い事業については、平均寿命の延伸や定年延長といった社会状況の変化により、還暦に対する認識が変化しているものの、本事業を通じて、より社会貢献活動や地域活動への参加を促していく必要がある。

② 今後の方向性	・イベントの実施において、来場者の安全確保を図り、より安全な運営に努めることで、各種の地域事業を通じて、区民が交流するきっかけづくりの場を引き続き提供していく。 ・区民還暦祝い事業については、対象者から回収したアンケート結果や働き方の変化等の社会の状況を踏まえながら、事業のあり方を引き続き検討していく。 ・町会・自治会をはじめとした区内各種団体の協力により開催している大江戸まつり盆おどり大会、晴海まつり、雪まつり等を通じて、地域住民同士の交流を促進することで、良好なコミュニティ醸成と地域活動の活性化を図っていく。 ・晴海まつりについては、地域の他団体との連携等を行い、地域に根差したイベントとなるよう、継続して実施していく。 ・令和8年度の区制施行80周年において、大江戸まつり盆おどり大会、晴海まつりでは通常の取組に加え、周年事業としてノベルティの配布等を実施するとともに、記念事業として東京湾大華火祭を開催し、より一層の地域活性化につなげていく。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 | LPJ02 | LPJ03 | LPJ04

1 事業概要

事業名	【128】社会貢献活動の推進事業	部課名	区民部地域振興課
事業目的	・区民や企業、社会貢献活動団体等さまざまな主体が連携・協力して地域課題を解決する都心型協働社会の実現に向け、区や団体間のネットワークの形成を促進し、「地域力」の向上を推進していく。		
事業内容	・協働ステーション中央を拠点として、各種団体の活動の場や交流の機会を提供するとともに、さまざまなコミュニティに関する情報を集約・発信する。 ・町会・自治会やNPO、ボランティア団体等の社会貢献活動団体の提案による協働事業を実施し、また、社会貢献活動補助金制度等を用いて、社会貢献活動団体の活動を支援する。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち 施策 9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上	SDGsとの関連	

2 財務情報

（単位：円）

① 行政コスト計算書（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	7,057,759	7,229,834	172,075
	物件費	20,425,240	22,380,070	1,954,830
	維持補修費	0	0	0
	扶助費	0	0	0
	補助費等	809,000	785,000	△24,000
	投資的経費	0	26,654,100	26,654,100
	減価償却費	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,002,018	1,116,733	114,715
	その他	0	0	0
	小計	29,294,017	58,165,737	28,871,720
特別費用		0	0	0
特別収入		0	0	0
特別収支差額		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入	地方区税	0	0	0
	特別区財政調整交付金	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支出金	0	0	0
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	0	0	0
	その他	2,880	1,900	△980
	小計	2,880	1,900	△980
行政収支差額		△29,291,137	△58,163,837	△28,872,700
金融収支差額		0	0	0
通常収支差額		△29,291,137	△58,163,837	△28,872,700
当期収支差額		△29,291,137	△58,163,837	△28,872,700
一般財源充当調整		29,399,598	57,992,141	28,592,543
再計(一般財源調整後)		108,461	△171,696	△280,157

勘定科目	投資的経費
決算額の主な内訳	・十思スクエア冷暖房機取替工事 26,654,100円
主な増減理由	・十思スクエア冷暖房機取替工事による工事費皆増 26,654,100円

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・協働ステーション中央管理運営等業務委託 17,939,344円 ・十思スクエア受付管理業務委託費等 1,410,819円 ・十思スクエア光熱水費 1,110,239円
主な増減理由	・協働ステーション中央管理運営等業務内容見直しによる委託料増 3,338,603円 ・「中央区の協働」発行委託料の皆減 △492,607円 ・協働ステーション中央物品購入費の減 △304,727円 ・十思スクエア光熱水費の減 △189,572円

勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・協働推進会議委員謝礼 500,000円 ・社会貢献活動事業補助金の交付 285,000円
主な増減理由	・協働推進会議委員謝礼の増 77,000円 ・社会貢献活動事業補助金の申請減による補助金減 △101,000円

勘定科目	その他（行政収入）
決算額の主な内訳	・協働ステーション中央コピー機等利用に伴う受益者負担金 1,900円
主な増減理由	・協働ステーション中央コピー機等利用に伴う受益者負担金の減 △980円

（単位：円）

② 貸借対照表（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	0	0	0
	建物	1	1	0
	工作物	0	0	0
	重要物品	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0
	その他	0	0	0
資産の部 合計		1	1	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債	還付未済金	0	0	0
	特別区債	0	0	0
	賞与引当金	540,853	582,525	41,672
	その他	0	0	0
固定負債	特別区債	0	0	0
	退職給与引当金	4,670,127	4,727,248	57,121
	その他	0	0	0
負債の部合計		5,210,980	5,309,773	98,793
正味財産の部合計		△5,210,979	△5,309,772	△98,793
負債・正味財産の部合計		1	1	0

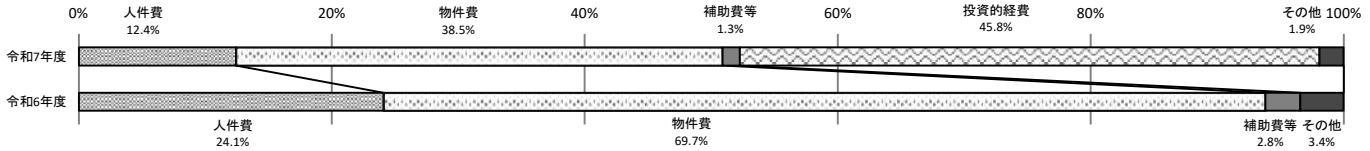
勘定科目	建物		
決算額の主な内訳	・協働ステーション中央（S3年竣工）1円	—	—
主な増減理由	・増減なし	—	—

3 実施内容

①	社会貢献活動団体との協働の推進	②	協働ステーション中央の改修	③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



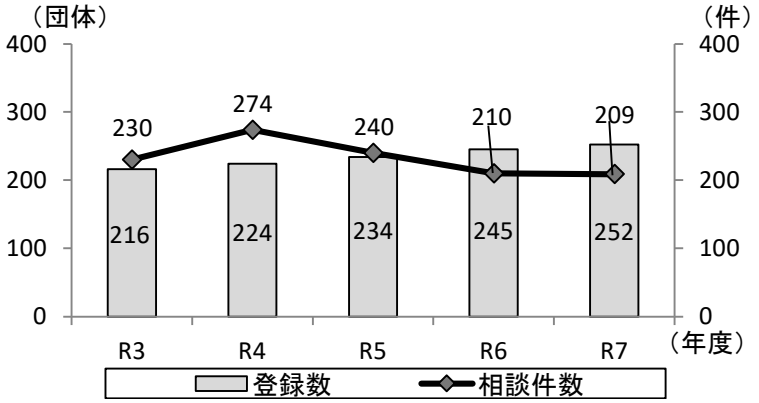
② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

項目	令和6年度	令和7年度
協働提案事業通算採択数(件)	21	22
社会貢献活動補助金認定事業数(件)	1	3

＜R7採択事業＞
教育版マインクラフトを活用した子どもの意見表明ワークショップ事業

・協働活動を支える人材の育成、社会貢献活動の情報発信として各種講座を実施。
（10回開催、延べ参加者数　86人）

協働ステーション中央の利用登録団体・相談件数の推移



5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・協働提案事業については、4件の相談があり、その中の1事業(教育版マインクラフトを活用した子どもの意見表明ワークショップ事業)が採択に至った。 ・令和5年度採択「女性防災リーダー養成事業」においては、令和6・7年度と協働提案事業として継続実施となり、行政課題解決に向けた役割等を評価され、令和8年度より区の事業として新規実施につながった。 ・社会貢献活動事業補助金制度については、令和6年度に認定した1事業に補助金を交付したほか、令和7年度は4件の申請があり、うち3件を認定した。 ・本区協働事業を体系的に取りまとめた「中央区の協働」リーフレットにより普及啓発を行った。
	課題	・協働提案事業については、事業構築や庁内の調整に時間を要し、さらに行政課題と社会貢献活動団体が提案する事業内容とのマッチングに課題があることから、引き続きニーズの把握や、周知を進める必要がある。 ・社会貢献活動事業補助金制度において、本事業の趣旨および制度活用に至るまでの支援について、引き続き周知を広く行う必要がある。 ・全庁的な協働提案事業に対する認知度の向上のため、引き続き、職員研修等を通して理解を深めていく必要がある。 ・団体の活動形態の変化や、企業のCSR活動への関心の高まり等の環境の変化に対応していく必要がある。

② 今後の方向性	・中間支援拠点としての協働ステーション中央が実施する各種講座や登録団体の情報発信を行い、区民等が興味・関心を持って地域活動に参加できる環境を整えるとともに、利用登録団体数を増やしていく。また、引き続き丁寧な相談支援を行っていくことで、社会貢献活動事業補助金や協働事業提案につなげていく。 ・補助金の交付等により社会貢献活動の裾野を広げることで、協働事業提案を行うことができる団体を増加させ、より多様化する区民ニーズに応える質の高い行政サービスの提供を図るとともに、区民等の積極的な地域活動への参加を促し、地域の課題を自ら解決できる「地域力」の向上につなげていく。 ・協働提案事業採択の可能性を高めていくために、引き続き職員研修を行い、認知度の向上を図っていく。また、庁内各課に対しアンケートを実施することで広くニーズを把握し、業務に関連する社会貢献活動の情報を積極的に提供していく。 ・協働を取り巻く変化に対応していくため、既存事業の活用について、協働推進会議において協議を進めていく。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 LPJ02 **LPJ03** **LPJ04**

1 事業概要

事業名	【129】公衆浴場対策事業	部課名	区民部地域振興課
事業目的	・公衆浴場の経営の安定を図ることにより、転廃業を防止し、区民の保健衛生の維持向上につなげていく。 ・世代間の交流や在住・在勤者のふれあいを通じてコミュニティ意識を育む。		
事業内容	・公衆浴場の設備等整備・燃料費等に要する経費の一部を補助するとともに、浴場事業の振興に要する経費の一部を、東京都公衆浴場業生活衛生同業組合中央支部に対して補助する。 ・区内の全公衆浴場において「コミュニティふれあい銭湯」を開設する。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち 施策 9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上	SDGsとの関連	

2 財務情報

（単位：円）

① 行政コスト計算書

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	3,136,782	3,213,259	76,477
	物件費	38,602,632	33,583,350	△5,019,282
	維持補修費	0	0	0
	扶助費	0	0	0
	補助費等	19,017,700	14,426,400	△4,591,300
	投資的経費	0	0	0
	減価償却費	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	445,342	496,326	50,984
	その他	0	0	0
	小計	61,202,456	51,719,335	△9,483,121
特別費用		0	0	0
特別収入		0	0	0
特別収支差額		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入	地方区税	0	0	0
	特別区財政調整交付金	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支出金	0	0	0
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	0	0	0
	その他	0	0	0
	小計	0	0	0
行政収支差額		△61,202,456	△51,719,335	9,483,121
金融収支差額		0	0	0
通常収支差額		△61,202,456	△51,719,335	9,483,121
当期収支差額		△61,202,456	△51,719,335	9,483,121
一般財源充当調整		61,250,660	51,643,026	△9,607,634
再計(一般財源調整後)		48,204	△76,309	△124,513

（内訳等）

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・ふれあい銭湯開設委託 33,415,800円	決算額の主な内訳	・公衆浴場対策実施に対する区補助金 14,426,400円
主な増減理由	・ふれあい銭湯開設委託料の実績減 △5,019,282円	主な増減理由	・公衆浴場対策実施に対する区補助金実績減 △4,591,300円
勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

（単位：円）

② 貸借対照表

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	0	0	0
	建物	0	0	0
	工作物	0	0	0
	重要物品	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0
	その他	0	0	0
資産の部 合計		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債	還付未済金	0	0	0
	特別区債	0	0	0
	賞与引当金	240,379	258,900	18,521
	その他	0	0	0
固定負債	特別区債	0	0	0
	退職給与引当金	2,075,612	2,100,999	25,387
	その他	0	0	0
負債の部合計		2,315,991	2,359,899	43,908
正味財産の部合計		△2,315,991	△2,359,899	△43,908
負債・正味財産の部合計		0	0	0

（内訳等）

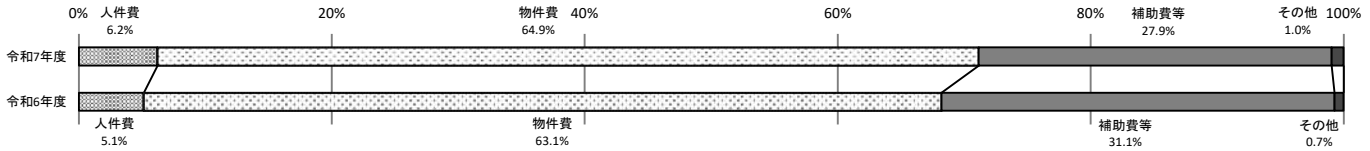
勘定科目			
決算額の主な内訳	—	—	—
主な増減理由	—	—	—

3 実施内容

①	公衆浴場対策	②	コミュニティふれあい銭湯	③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)

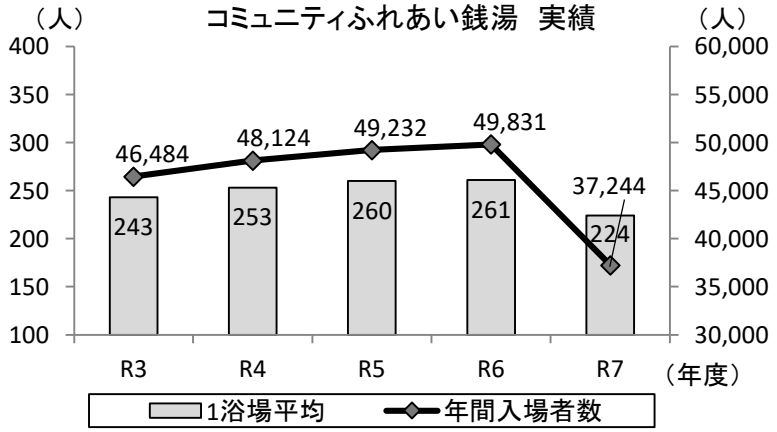


② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

設備整備費補助等実績

補助対象事業	令和6年度	令和7年度
かまの更新(件)	0	0
温水器の更新(件)	0	0
浴室および脱衣室塗装(件)	1	0
ポンプの更新(件)	2	0
浴室等修繕(件)	6	4
クリーンエネルギー化(件)	0	0
耐震化(件)	0	0
燃料費等補助金(浴場)	8	7

※区内公衆浴場
令和6年度:8カ所
令和7年度:7カ所



5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・公衆浴場対策は、公衆浴場の安定経営を図ることにより、転廃業を防止することで、区民の入浴機会を確保している。 ・コミュニティふれあい銭湯は、世代間交流やコミュニティ意識形成の促進を図っているが、令和7年3月31日の入船湯の営業終了および同年4月の利用料金の改定(一般100円→200円)により年間入場者数が減少した。 ・令和6年度に続き、公衆浴場の入場者を増やす試みとして、浴場組合と友好都市である山形県東根市を仲介する支援を行った結果、各浴場は東根市のりんごを使用した「りんごの湯」を開催し、好評を得た。
	課題	・コミュニティふれあい銭湯の年間入場者数および1浴場平均利用者数の増加につながる取組が必要である。 ・昨今の物価高騰や入浴料金統制額の引き上げ等による浴場の課題を整理した上で、対策を講じていく必要がある。

② 今後の方向性	・引き続き公衆浴場対策を実施することで、公衆浴場の安定経営および区民の入浴機会の確保ならびに公衆衛生の向上を図る。 ・地域住民の交流や触れ合いを促進するため、引き続きコミュニティふれあい銭湯を実施するとともに、区SNSを活用することにより、若年層の利用促進を図っていく。 ・利用者の好評を得た「りんごの湯」について、令和8年度も引き続き開催を支援していく。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 LPJ02 LPJ03 LPJ04

1 事業概要

事業名	【130】公設浴場管理事業	部課名	区民部地域振興課
事業目的	・区が都心地域に公衆浴場を確保するために設置した公設浴場の維持管理を行うことにより、区民の入浴機会の確保と公衆衛生の向上を図る。		
事業内容	・公設浴場（2浴場）の維持管理を行う。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち 施策 9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上	SDGsとの関連	

2 財務情報

（単位：円）

① 行政コスト計算書（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	1,568,390	1,606,630	38,240
	物件費	15,632,316	9,959,949	△5,672,367
	維持補修費	1,060,400	147,400	△913,000
	扶助費	0	0	0
	補助費等	0	0	0
	投資的経費	0	0	0
	減価償却費	5,394,359	5,394,359	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	222,671	248,163	25,492
	その他	0	0	0
	小計	23,878,136	17,356,501	△6,521,635
特別費用		0	0	0
特別収入		0	0	0
特別収支差額		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入	地方区税	0	0	0
	特別区財政調整交付金	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支出金	0	0	0
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	0	0	0
	その他	804,647	704,027	△100,620
	小計	804,647	704,027	△100,620
行政収支差額		△23,073,489	△16,652,474	6,421,015
金融収支差額		0	0	0
通常収支差額		△23,073,489	△16,652,474	6,421,015
当期収支差額		△23,073,489	△16,652,474	6,421,015
一般財源充当調整		17,703,232	11,219,960	△6,483,272
再計(一般財源調整後)		△5,370,257	△5,432,514	△62,257

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・設備保守点検等委託 8,046,618円 ・設備等修繕費 924,096円
主な増減理由	・入船湯賃料および共益費皆減 △3,056,102円 ・入船湯の廃止等による設備保守点検等委託料減 △2,270,270円 ・入船湯の廃止等による設備等修繕費減 △196,034円

勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	・銀座湯照明器具交換工事 147,400円
主な増減理由	・十思湯温浴系統排水槽排水ポンプ交換工事費皆減 △550,000円 ・銀座湯機械室膨張タンク他取替工事費皆減 △199,100円 ・銀座湯照明器具交換工事費減 △163,900円

勘定科目	その他（行政収入）
決算額の主な内訳	・十思湯電気料金 704,027円
主な増減理由	・十思湯電気料金減 △100,620円

勘定科目	
決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—

（単位：円）

② 貸借対照表（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	106,264,000	106,264,000	0
	建物	215,774,379	210,380,020	△5,394,359
	工作物	0	0	0
	重要物品	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0
	その他	0	0	0
資産の部 合計		322,038,379	316,644,020	△5,394,359

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債	還付未済金	0	0	0
	特別区債	0	0	0
	賞与引当金	120,190	129,450	9,260
	その他	0	0	0
固定負債	特別区債	0	0	0
	退職給与引当金	1,037,806	1,050,500	12,694
	その他	0	0	0
負債の部合計		1,157,996	1,179,950	21,954
正味財産の部合計		320,880,383	315,464,070	△5,416,313
負債・正味財産の部合計		322,038,379	316,644,020	△5,394,359

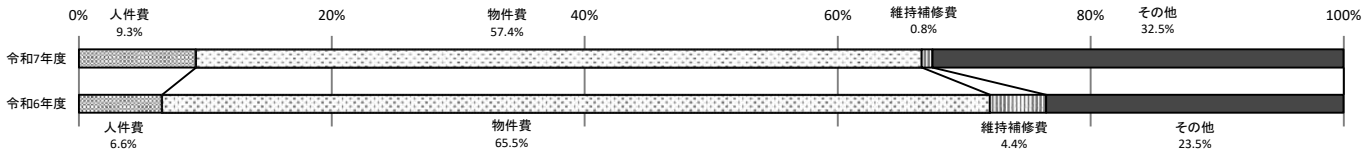
勘定科目	建物	土地	
決算額の主な内訳	・十思湯 210,380,019円 ・銀座湯（S50年竣工） 1円	・銀座湯敷地 106,264,000円	—
主な増減理由	・十思湯減価償却による減 △5,394,359円	・増減なし	—

3 実施内容

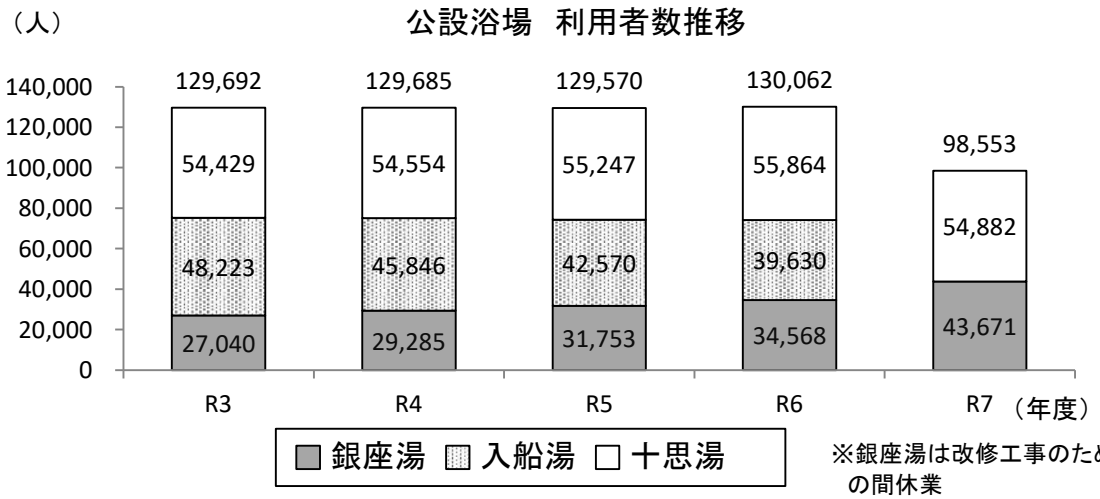
①	公設浴場の維持管理	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)



※銀座湯は改修工事のため令和6年1月15日～28日の間休業
※入船湯は入居しているビルの建替えや賃貸契約期間満了により、令和7年3月31日をもって廃止

5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・利用者数は、令和6年度まで横ばいの状況で推移していたものの、入船湯が令和7年3月31日をもって営業を終了したため、令和7年度は大幅に減少した。 ・入船湯の廃止に伴い、近隣の銀座湯の利用者が増加している。
	課題	・経年劣化による建物維持修繕費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。

② 今後の方向性	・利用者が安心して施設を利用できるよう適切な維持管理を継続し、計画的かつ必要に応じた修繕を行っていく。 ・地域住民の交流やふれあいを促進するため、公設浴場を含めた公衆浴場のより一層の周知を行っていく。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 LPJ02 LPJ03 LPJ04

1 事業概要

事業名	【131】区民館管理事業	部課名	区民部地域振興課
事業目的	・町会・自治会のコミュニティ活動の場の確保・充実等により、地域に住む人たちやさまざまな団体がお互いに支え合い、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援する。		
事業内容	・会議、講習会、サークルの集い等に利用できる集会施設として区民館の管理・運営を行う。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの関連	
	施策 9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		

2 財務情報

（単位：円）

① 行政コスト計算書（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	6,273,565	7,229,834	956,269
	物件費	288,062,876	315,017,859	26,954,983
	維持補修費	8,470,000	6,930,000	△1,540,000
	扶助費	0	0	0
	補助費等	13,750	0	△13,750
	投資的経費	58,180,672	178,409,092	120,228,420
	減価償却費	68,916,357	71,171,242	2,254,885
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	890,683	1,116,733	226,050
	その他	0	0	0
	小計	430,807,903	579,874,760	149,066,857
特別費用		6,619,268	0	△6,619,268
特別収入		0	0	0
特別収支差額		△6,619,268	0	6,619,268

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入	地方区税	0	0	0
	特別区財政調整交付金	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支出金	0	0	0
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	73,428,880	75,374,980	1,946,100
	その他	293,587	314,982	21,395
	小計	73,722,467	75,689,962	1,967,495
行政収支差額		△357,085,436	△504,184,798	△147,099,362
金融収支差額		△555,753	△476,360	79,393
通常収支差額		△357,641,189	△504,661,158	△147,019,969
当期収支差額		△364,260,457	△504,661,158	△140,400,701
一般財源充当調整		288,821,241	433,318,220	144,496,979
再計(一般財源調整後)		△75,439,216	△71,342,938	4,096,278

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・指定管理料 230,132,154円 ・光熱水費 28,917,472円
主な増減理由	・新川区民館および新川職員住宅照明設備保全整備委託料皆増 23,533,400円

勘定科目	投資的経費
決算額の主な内訳	・中央区立佃区民館等複合施設大規模改修工事 59,450,000円 ・新富分庁舎および新富区民館冷暖房機器更新工事 45,903,000円 ・中央区立日本橋保健センター等複合施設大規模改修工事 42,696,400円
主な増減理由	・中央区立佃区民館等複合施設大規模改修工事費皆増 59,450,000円 ・新富分庁舎および新富区民館冷暖房機器更新工事費皆増 45,903,000円 ・中央区立日本橋保健センター等複合施設大規模改修工事費増 10,455,400円

勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	・京橋区民館PCB含有受変電設備部品取替工事 6,930,000円
主な増減理由	・京橋区民館PCB含有受変電設備部品取替工事費皆増 6,930,000円 ・久松区民館漏水対策工事費皆減 △8,470,000円

勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・区民館使用料 75,196,000円
主な増減理由	・利用者増による使用料増 1,927,000円

（単位：円）

② 貸借対照表（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	1,011,777,017	1,011,777,017	0
	建物	1,219,776,806	1,148,646,541	△71,130,265
	工作物	183,690	142,713	△40,977
	重要物品	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	318,628,800	735,291,750	416,662,950
	その他	0	0	0
資産の部 合計		2,550,366,313	2,895,858,021	345,491,708

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債	還付未済金	0	0	0
	特別区債	0	0	0
	賞与引当金	480,759	582,525	101,766
	その他	16,146,000	16,146,000	0
固定負債	特別区債	0	0	0
	退職給与引当金	4,151,224	4,727,248	576,024
	その他	80,730,000	64,584,000	△16,146,000
負債の部合計		101,507,983	86,039,773	△15,468,210
正味財産の部合計		2,448,858,330	2,809,818,248	360,959,918
負債・正味財産の部合計		2,550,366,313	2,895,858,021	345,491,708

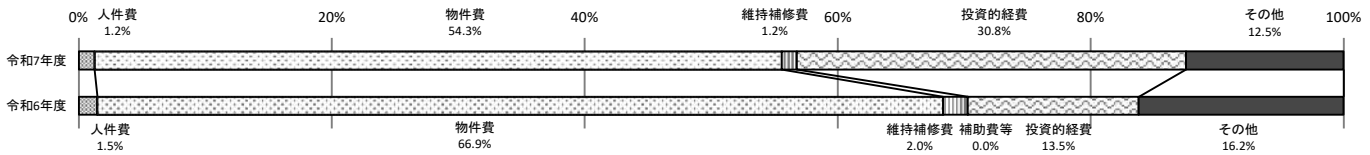
勘定科目	建物	土地	建設仮勘定
決算額の主な内訳	・区民館（明石町他12区民館） 926,897,046円 ・浜町区民館機械設備および電気設備 221,749,495円	・区民館等敷地（明石町ほか7区民館） 1011,777,017円	・八丁堀区民館改築工事 342,697,300円 ・佃区民館・中央区休日応急診療所大規模改修工事 181,871,500円 ・日本橋保健センター等複合施設大規模改修工事 124,242,900円
主な増減理由	・区民館（明石町ほか12区民館）減価償却による減 △54,501,639円 ・京橋区民館昇降機設備完了による皆減 △38,218,400円 ・浜町区民館機械設備および電気設備の減価償却による増 21,589,774円	・増減なし	・八丁堀区民館改築工事による増 143,325,000円 ・明石町区民館の改修設計費の皆増 27,055,950円 ・銀座区民館および銀座職員住宅改修の皆増 13,310,000円 ・日本橋保健センター等複合施設大規模改修工事の減 △60,651,900円

3 実施内容

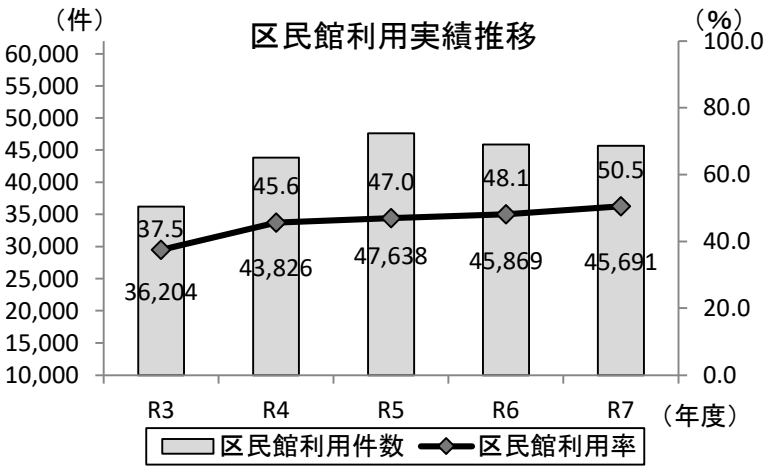
①	区民館の管理運営	②	人形町区民館建物取得(償還費)	③	京橋プラザ区民館の改修	④	銀座区民館の改修
⑤	新富区民館の改修	⑥	明石町区民館の改修	⑦	八丁堀区民館の改築	⑧	堀留町区民館の改修
⑨	久松町区民館の改修	⑩	新場橋区民館の改修	⑪	佃区民館の改修	⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
令和3年度は4月25日から5月11日まで全館休館した。

※八丁堀区民館は令和6年6月23日から令和9年3月31日まで改築工事のため休館している。

※堀留町区民館は令和6年12月1日から令和8年2月28日まで改修工事のため休館した。

※新富区民館は令和7年12月1日から令和8年2月28日まで改修工事のため休館した。

5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・令和7年度は八丁堀区民館で改築工事、堀留町区民館および新富区民館において改修工事により休館したため、利用件数は微減したが、区民館全体の利用率は令和6年度を上回った。 ・令和4年度から区民館6館(京橋・新川・人形町・新場橋・月島・勝どき)に貸出用Wi-Fiルーターを設置しており、リモート会議等の活用が図られている。また、堀留町区民館においては、令和8年2月に完了した改修工事によりWi-Fi環境の整備を行った。 ・令和6年10月から公共施設予約システムの更新およびキャッシュレス決済を導入し、利用者の利便性の向上および現金管理等業務の省力化を図った。キャッシュレス決済の利用件数は大幅に増加している。(令和6年度2,782件、令和7年度10,016件)
	課題	・引き続き経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。 ・引き続きサービスの維持・向上に努め、利用者満足度を高めることで、利用率の向上につなげる必要がある。

② 今後の方向性	・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考にして、さらなるサービスの向上に努めるとともに、利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続していく。また、計画的かつ必要に応じた修繕等を行うことで、地域に住む人たちやさまざまな団体がお互いに支え合い、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援していく。 ・今後も大規模改修工事の機会を捉え、Wi-Fi環境の整備を拡大していくとともに、改修内容について指定管理者の意見も取り入れながら利便性の向上に向けて検討していく。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 LPJ02 LPJ03 LPJ04

1 事業概要

事業名	【132】中央会館「銀座ブロッサム」管理事業	部課名	区民部地域振興課
事業目的	・区民の文化の向上に寄与し、各種設備を備えたホール、結婚式場、集会室を整備し、その福祉の増進を図る。		
事業内容	・中央会館「銀座ブロッサム」の管理・運営を行う。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策	9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの関連
	施策	9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上	

2 財務情報

（単位：円）

①行政コスト計算書

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	7,841,955	8,033,149	191,194
	物件費	178,568,795	180,314,830	1,746,035
	維持補修費	202,840	11,858,000	11,655,160
	扶助費	0	0	0
	補助費等	7,113,609	7,271,499	157,890
	投資的経費	11,664,400	98,539,100	86,874,700
	減価償却費	78,032,990	78,032,990	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,113,353	1,240,814	127,461
	その他	0	0	0
	小計	284,537,942	385,290,382	100,752,440
特別費用		0	0	0
特別収入		0	0	0
特別収支差額		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入	地方区税	0	0	0
	特別区財政調整交付金	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支出金	0	0	0
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	5,641,260	5,506,470	△134,790
	その他	10,273,324	4,972,176	△5,301,148
	小計	15,914,584	10,478,646	△5,435,938
行政収支差額		△268,623,358	△374,811,736	△106,188,378
金融収支差額		0	0	0
通常収支差額		△268,623,358	△374,811,736	△106,188,378
当期収支差額		△268,623,358	△374,811,736	△106,188,378
一般財源充当調整		190,710,880	296,587,973	105,877,093
再計(一般財源調整後)		△77,912,478	△78,223,763	△311,285

（内訳等）

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・指定管理料 178,241,600円
主な増減理由	・指定管理料の増 1,903,508円

勘定科目	投資的経費
決算額の主な内訳	・屋上防水および内部改修工事 85,030,000円
主な増減理由	・屋上防水および内部改修工事費の皆増 85,030,000円

勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	・地下系統排水管改修工事 6,061,000円 ・空調機取替工事設計業務委託 3,377,000円 ・ホール電気設備改修工事 2,420,000円
主な増減理由	・地下系統排水管改修工事費皆増 6,061,000円 ・空調機取替工事設計業務委託料皆増 3,377,000円 ・ホール電気設備改修工事費皆増 2,420,000円 ・付近官公署等案内板撤去工事費皆減 △202,840円

勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・中央会館利用料金減免額の補填 6,974,730円
主な増減理由	・中央会館利用料金減免額の補填費用の増 100,280円

（単位：円）

②貸借対照表

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	612,997,600	612,997,600	0
	建物	707,678,654	629,782,582	△77,896,072
	工作物	934,264	797,346	△136,918
	重要物品	9	9	0
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0
	その他	0	0	0
資産の部 合計		1,321,610,527	1,243,577,537	△78,032,990

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債	還付未済金	0	0	0
	特別区債	0	0	0
	賞与引当金	600,948	647,250	46,302
	その他	0	0	0
固定負債	特別区債	0	0	0
	退職給与引当金	5,189,030	5,252,498	63,468
	その他	0	0	0
負債の部合計		5,789,978	5,899,748	109,770
正味財産の部合計		1,315,820,549	1,237,677,789	△78,142,760
負債・正味財産の部合計		1,321,610,527	1,243,577,537	△78,032,990

（内訳等）

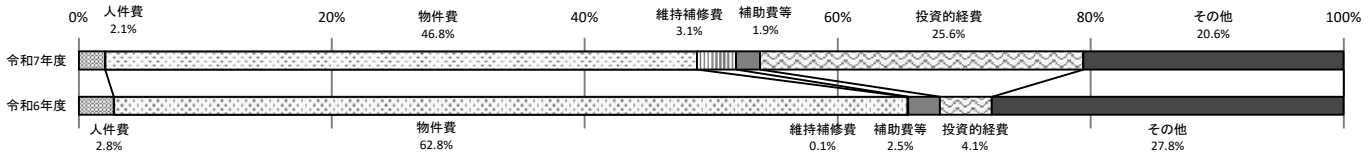
勘定科目	建物	土地	工作物
決算額の主な内訳	・中央会館 629,782,582円	・中央会館敷地 612,997,600円	・連続地中壁増深部分 797,346円
主な増減理由	・中央会館減価償却による減 △77,896,072円	・増減なし	・連続地中壁増深部分減価償却による減 △136,918円

3 実施内容

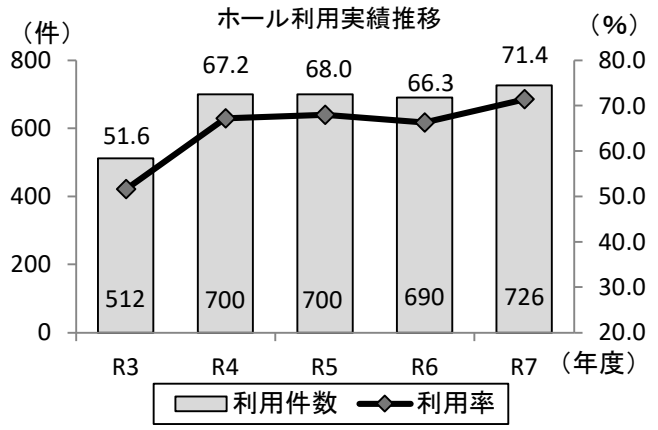
①	中央会館「銀座ブロッサム」の管理運営	②	中央会館「銀座ブロッサム」の改修	③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

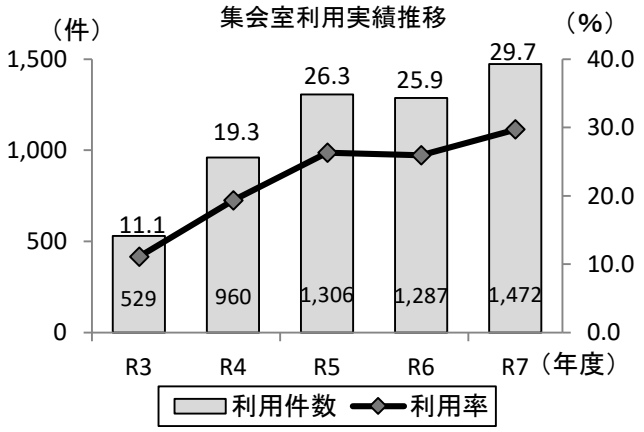
4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)





※令和3年4月25日から5月11日まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館

5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・ホールおよび集会室ともに、過去5年間で最大の利用件数および利用率となった。 ・令和7年8月をもって閉店した1階レストラン部分について改修工事を行い、令和8年2月から公益財団法人中央区勤労者サービス公社の執務室として使用開始した。 ・令和7年度の結婚式場利用件数は24件あったが、全てが東京ロケーションボックスの利用によるものであり、結婚式での利用はなかった。 ・婚礼ニーズの多様化により、結婚式場等の稼働が低下しているため、令和8年3月31日をもって、結婚式・披露宴等の婚礼機能、併せて結婚式場がある6階フロアの集会室を廃止した。
	課題	・今後、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。また、サービスの維持・改善に努め、利用者満足度を高めることで、利用率の向上につなげる必要がある。

② 今後の方向性	・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考にして、さらなるサービスの向上に努めるとともに、利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続していく。また、計画的かつ必要に応じた修繕等を行うことで、コミュニティ活動の場の提供を図るとともに、区民の文化の向上に寄与する役割を果たしていく。 ・6階フロアのあり方について、当面の間区役所会議室として活用するとともに、区有施設の有効活用の観点からその機能を検討していく。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 | LPJ02 | LPJ03 | LPJ04

1 事業概要

事業名	【133】セレモニーホール管理事業	部課名	区民部地域振興課
事業目的	・区民が葬儀のほか法要、集会、会議等に利用できる施設として設置している。		
事業内容	・セレモニーホールの管理・運営を行う。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策	9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの関連
	施策	9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上	

2 財務情報

（単位：円）

①行政コスト計算書（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	3,920,978	3,213,259	△707,719
	物件費	27,049,365	27,233,225	183,860
	維持補修費	0	0	0
	扶助費	0	0	0
	補助費等	0	0	0
	投資的経費	0	0	0
	減価償却費	9,863,602	9,863,602	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	556,677	496,326	△60,351
	その他	0	0	0
	小計	41,390,622	40,806,412	△584,210
特別費用		0	0	0
特別収入		0	0	0
特別収支差額		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入	地方区税	0	0	0
	特別区財政調整交付金	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支出金	0	0	0
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	6,705,900	6,231,000	△474,900
	その他	0	0	0
	小計	6,705,900	6,231,000	△474,900
行政収支差額		△34,684,722	△34,575,412	109,310
金融収支差額		0	0	0
通常収支差額		△34,684,722	△34,575,412	109,310
当期収支差額		△34,684,722	△34,575,412	109,310
一般財源充当調整		24,881,375	24,635,501	△245,874
再計(一般財源調整後)		△9,803,347	△9,939,911	△136,564

勘定科目	物件費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・セレモニーホール業務委託 15,828,890円 ・セレモニーホール清掃業務等施設維持管理に関する委託 8,298,967円 ・光熱水費 1,807,698円 ・LED照明器具交換修理修繕等 762,960円	決算額の主な内訳	・セレモニーホール使用料 6,231,000円
主な増減理由	・セレモニーホール業務委託委託料増 905,091円 ・光熱水費減 △434,600円 ・LED照明器具交換修理費減 △302,500円	主な増減理由	・利用者減によるセレモニーホール使用料減 △474,900円
勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

（単位：円）

②貸借対照表（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	120,548,000	120,548,000	0
	建物	206,370,860	196,543,678	△9,827,182
	工作物	764,820	728,400	△36,420
	重要物品	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0
	その他	0	0	0
資産の部 合計		327,683,680	317,820,078	△9,863,602

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債	還付未済金	0	0	0
	特別区債	0	0	0
	賞与引当金	300,474	258,900	△41,574
	その他	0	0	0
固定負債	特別区債	0	0	0
	退職給与引当金	2,594,515	2,100,999	△493,516
	その他	0	0	0
負債の部合計		2,894,989	2,359,899	△535,090
正味財産の部合計		324,788,691	315,460,179	△9,328,512
負債・正味財産の部合計		327,683,680	317,820,078	△9,863,602

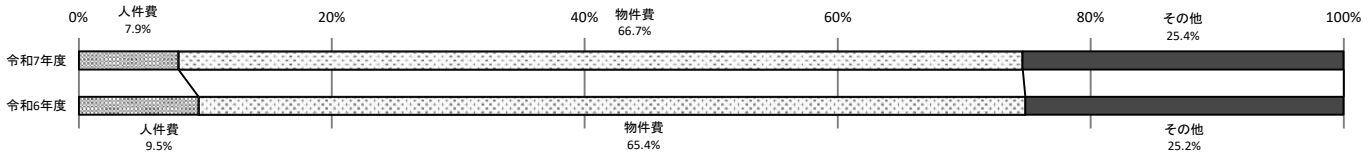
勘定科目	建物	土地	工作物
決算額の主な内訳	・セレモニーホール 196,543,678円	・セレモニーホール等敷地 120,548,000円	・セレモニーホール・勝どきコミュニティルーム擁壁 728,400円
主な増減理由	・セレモニーホール減価償却による減 △9,827,182円	・増減なし	・セレモニーホール・勝どきコミュニティルーム擁壁減価償却による減 △36,420円

3 実施内容

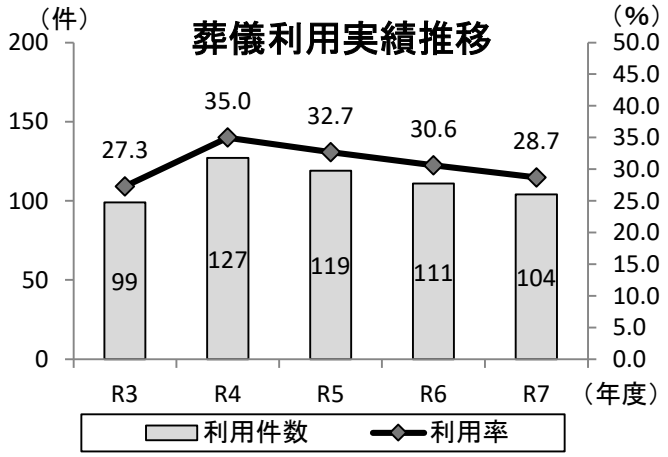
①	セレモニーホールの管理運営	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

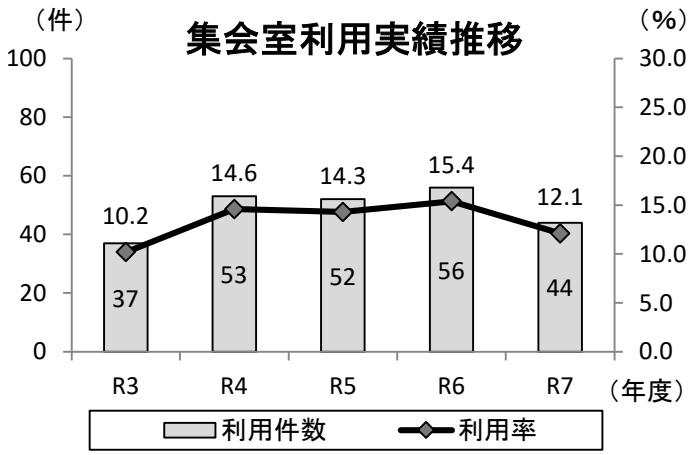
4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)





5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・葬儀利用件数は令和4年度以降減少傾向にある。 ・集会室利用件数は令和6年度を下回った。
	課題	・経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。

② 今後の方向性	・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考にして、さらなるサービスの向上に努めていく。 ・利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続し、計画的かつ必要に応じた修繕等を行っていく。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 LPJ02 LPJ03 LPJ04

1 事業概要

事業名	【134】浜町集会施設「浜町メモリアル」管理事業	部課名	区民部地域振興課
事業目的	・葬儀利用はもとより、集会、会議等、区民の交流やコミュニティの場として公共の利便に資するとともに区民福祉の向上を図る。		
事業内容	・浜町集会施設「浜町メモリアル」の管理・運営を行う。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの関連	
	施策 9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		

2 財務情報

（単位：円）

① 行政コスト計算書（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	2,352,587	2,409,945	57,358
	物件費	47,561,843	45,931,930	△1,629,913
	維持補修費	0	0	0
	扶助費	0	0	0
	補助費等	0	0	0
	投資的経費	0	0	0
	減価償却費	21,922,112	21,716,583	△205,529
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	334,006	372,244	38,238
	その他	0	0	0
	小計	72,170,548	70,430,702	△1,739,846
特別費用		0	0	0
特別収入		0	0	0
特別収支差額		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入	地方区税	0	0	0
	特別区財政調整交付金	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支出金	0	0	0
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	5,169,260	4,638,980	△530,280
	その他	5,810	1,250	△4,560
	小計	5,175,070	4,640,230	△534,840
行政収支差額		△66,995,478	△65,790,472	1,205,006
金融収支差額		0	0	0
通常収支差額		△66,995,478	△65,790,472	1,205,006
当期収支差額		△66,995,478	△65,790,472	1,205,006
一般財源充当調整		45,109,520	44,016,657	△1,092,863
再計(一般財源調整後)		△21,885,958	△21,773,815	112,143

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・指定管理料 44,631,290円 ・空調機部品修繕 1,265,000円
主な増減理由	・自動ドア保全整備等の減による指定管理料の減 △2,752,532円 ・空調機部品修繕費の皆増 1,265,000円

勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・浜町集会施設使用料 4,638,980円
主な増減理由	・葬儀利用件数減による使用料減 △530,280円

勘定科目	その他（行政収入）
決算額の主な内訳	・コピーサービス代 1,250円
主な増減理由	・コピーサービス代の減 △4,560円

勘定科目	
決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—

（単位：円）

② 貸借対照表（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	331,255,656	331,255,656	0
	建物	752,404,946	730,907,663	△21,497,283
	工作物	3,160,501	2,941,201	△219,300
	重要物品	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0
	その他	0	0	0
資産の部 合計		1,086,821,103	1,065,104,520	△21,716,583

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債	還付未済金	0	0	0
	特別区債	0	0	0
	賞与引当金	180,284	194,175	13,891
	その他	0	0	0
固定負債	特別区債	0	0	0
	退職給与引当金	1,556,709	1,575,749	19,040
	その他	0	0	0
負債の部合計		1,736,993	1,769,924	32,931
正味財産の部合計		1,085,084,110	1,063,334,596	△21,749,514
負債・正味財産の部合計		1,086,821,103	1,065,104,520	△21,716,583

勘定科目	建物	土地	工作物
決算額の主な内訳	・浜町集会施設 730,907,663円	・浜町集会施設敷地 331,255,656円	・浜町集会施設現場打ち側溝 2,096,688円 ・浜町集会施設縁石 844,512円 ・浜町集会施設車路フェンス 1円
主な増減理由	・浜町集会施設減価償却による減 △21,497,283円	・増減なし	・現場打ち側溝減価償却による減 △156,332円 ・縁石減価償却による減 △62,968円

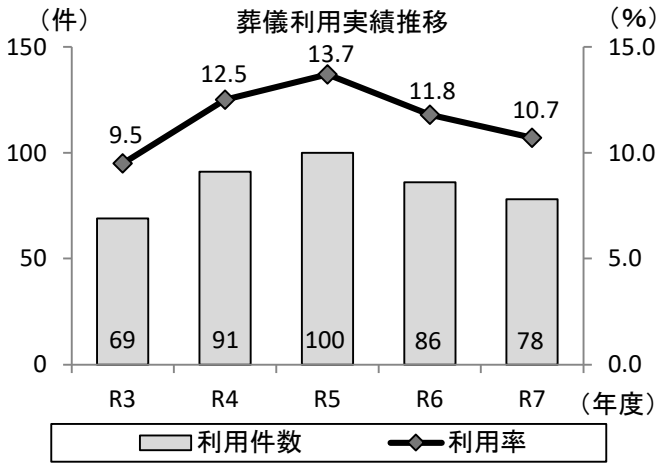
3 実施内容

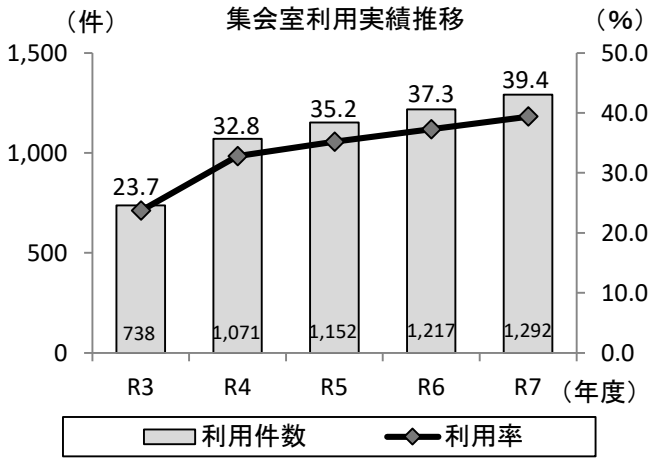
①	浜町集会施設「浜町メモリアル」の管理運営	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)

② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)





5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・葬儀利用件数は令和6年度から2年連続で減少した。 ・集会室の利用件数は令和6年度と比較してやや上昇した。 ・令和6年10月からキャッシュレス決済を導入した。令和7年度の使用料収入のうちキャッシュレス利用割合は、葬儀利用が約46.2%、集会室利用が約33.5%となり利用者の利便性の向上を図った。
	課題	・今後、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。 ・サービスの維持・向上に努め、利用者満足度を高めることで、集会室の利用率の向上につなげる必要がある。

② 今後の方向性	・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考にして、さらなるサービスの向上に努めるとともに、利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続していく。また、計画的かつ必要に応じた修繕等を行っていくことにより、コミュニティ活動の場の提供を行っていく。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 LPJ02 LPJ03 LPJ04

1 事業概要

事業名	【135】地域コミュニティルーム管理事業（地域振興課）	部課名	区民部地域振興課
事業目的	・町会、自治会やその他地域団体の活動の場を提供し、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援する。		
事業内容	・地域コミュニティルームの維持管理を行う。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの関連	
	施策 9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		

2 財務情報

（単位：円）

① 行政コスト計算書（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	1,568,390	1,606,630	38,240
	物件費	7,211,242	8,475,768	1,264,526
	維持補修費	0	0	0
	扶助費	0	0	0
	補助費等	1,006,560	318,600	△687,960
	投資的経費	12,912,900	5,779,400	△7,133,500
	減価償却費	4,964,655	4,964,655	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	222,671	248,163	25,492
	その他	0	0	0
	小計	27,886,418	21,393,216	△6,493,202
特別費用		0	0	0
特別収入		0	0	0
特別収支差額		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入	地方区税	0	0	0
	特別区財政調整交付金	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支出金	0	0	0
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	0	0	0
	その他	273,155	280,242	7,087
	小計	273,155	280,242	7,087
行政収支差額		△27,613,263	△21,112,974	6,500,289
金融収支差額		0	0	0
通常収支差額		△27,613,263	△21,112,974	6,500,289
当期収支差額		△27,613,263	△21,112,974	6,500,289
一般財源充当調整		22,672,710	16,110,164	△6,562,546
再計(一般財源調整後)		△4,940,553	△5,002,810	△62,257

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・地域コミュニティルームのトイレ清掃および特別清掃委託 2,612,610円 ・ハイテクセンター等複合施設に係る委託料 2,603,756円 ・コミュニティルームにかかる修繕費 1,268,960円
主な増減理由	・コミュニティルームに係る修繕費の増 1,017,060円 ・ハイテクセンター等複合施設に係る委託料の増 596,891円 ・損害賠償請求時の弁護士委任報酬金等の皆減 △441,290円

勘定科目	投資的経費
決算額の主な内訳	・京橋プラザ分庁舎外壁および防水改修工事 5,779,400円
主な増減理由	・京橋プラザ分庁舎外壁および防水改修工事費の増 1,941,500円 ・ハイテクセンター等複合施設外壁改修工事費の皆減 △9,075,000円

勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・コミュニティルーム管理運営事業助成金 201,000円 ・新川コミュニティルーム共益費 117,600円
主な増減理由	・京華コミュニティルーム内での事故による損害賠償金の皆減 △565,960円 ・コミュニティルーム管理運営事業助成金の減 △122,000円

勘定科目	その他（行政収入）
決算額の主な内訳	・光熱水費（京華コミュニティルーム） 204,410円 ・共益費（湊コミュニティルーム） 75,832円
主な増減理由	・京華コミュニティルームにおける光熱水費増 14,583円 ・湊コミュニティルームにおける共益費減 △7,496円

（単位：円）

② 貸借対照表（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	0	0	0
	建物	92,482,207	87,517,552	△4,964,655
	工作物	0	0	0
	重要物品	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0
	その他	0	0	0
資産の部 合計		92,482,207	87,517,552	△4,964,655

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債	還付未済金	0	0	0
	特別区債	0	0	0
	賞与引当金	120,190	129,450	9,260
	その他	0	0	0
固定負債	特別区債	0	0	0
	退職給与引当金	1,037,806	1,050,500	12,694
	その他	0	0	0
負債の部合計		1,157,996	1,179,950	21,954
正味財産の部合計		91,324,211	86,337,602	△4,986,609
負債・正味財産の部合計		92,482,207	87,517,552	△4,964,655

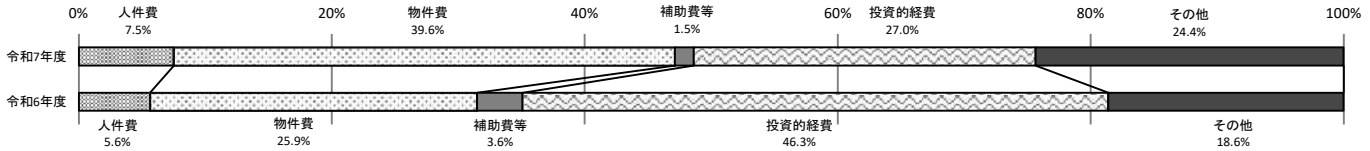
勘定科目	建物		
決算額の主な内訳	・京橋プラザ、湊、築地あかつきコミュニティルーム 73,200,127円 ・京華コミュニティルーム（機械設備） 14,317,424円 ・京華コミュニティルーム（S4年竣工） 1円	—	—
主な増減理由	・京橋プラザ、湊、築地あかつきコミュニティルーム減価償却による減 △3,764,071円 ・京華コミュニティルーム（機械設備）減価償却による減 △1,200,584円	—	—

3 実施内容

①	地域コミュニティルームの管理運営	②	地域コミュニティルームの改修	③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

京橋地域コミュニティルーム一覧

名　　称	開設年月	面積(㎡)
京橋プラザコミュニティルーム	平成11年7月	463.3
湊コミュニティルーム	平成10年4月	195.95
築地あかつきコミュニティルーム	平成7年4月	101.58
京華コミュニティルーム	平成13年1月	458.37
新川コミュニティルーム	平成7年7月	57.00

地域コミュニティルームの施設別での稼働状況

コミュニティルーム名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
京橋プラザ	472件	429件	398件	429件	484件
湊	118件	183件	274件	299件	320件
築地あかつき	124件	126件	163件	165件	115件
京華	403件	407件	388件	311件	355件
新川	34件	28件	17件	11件	5件
合計	1,151件	1,173件	1,240件	1,215件	1,279件

5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・コミュニティルームは、管理運営委員会が自主管理し、町会・自治会や地域団体等の会合や行事等で活用され、地域活動の場としての役割を担っている。 ・各コミュニティルームにおいて、非常用照明のLED化やトイレ設備等、必要な修繕を実施した。
	課題	・光熱水費の高騰によって、維持管理運営費が増加するなど、一部のコミュニティルームでは運営資金面において変わらず厳しい状況にある。 ・京橋地域内5カ所のコミュニティルームにおいては、経年劣化が進んでいるため、今後も計画的に改修工事等を行う必要がある。 ・コミュニティルームの利用についてさらなる周知を行い、運営状況を改善していく必要がある。

② 今後の方向性	・コミュニティルームが、より多くの地域住民や団体に認知され活用されるよう管理運営委員会の周知活動を支援する。また、光熱水費については今後の動向を注視しつつ、各管理運営委員会の状況を確認していく。 ・京橋地域内5カ所のコミュニティルームの劣化状態を把握し、改修工事等を計画的に進め、費用の平準化を図るとともに、施設管理者や庁内関係部署と情報共有し、地域活動の場を継続的に確保していく。 ・地域住民やさまざまな団体が互いに支え合い、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援するため、引き続き交流・活動の場として提供していく。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 LPJ02 LPJ03 LPJ04

1 事業概要

事業名	【136】晴海地域交流センター「はるみらい」管理事業	部課名	区民部地域振興課
事業目的	・晴海地区において、地域の自主的な交流を促進するとともに、区民の生活様式の変化や価値観の多様化に伴い複雑化している地域課題を自ら解決できる地域力の向上を図る。		
事業内容	・晴海地域交流センター「はるみらい」の管理・運営を行う。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち 施策 9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上	SDGsとの関連	

2 財務情報

（単位：円）

① 行政コスト計算書（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	7,841,955	8,033,149	191,194
	物件費	265,055,965	255,942,983	△9,112,982
	維持補修費	0	1,839,640	1,839,640
	扶助費	0	0	0
	補助費等	0	0	0
	投資的経費	0	70,819,804	70,819,804
	減価償却費	168,473,225	168,473,225	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,113,353	1,240,814	127,461
	その他	0	0	0
	小計	442,484,498	506,349,615	63,865,117
特別費用		0	0	0
特別収入		0	0	0
特別収支差額		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入	地方区税	0	0	0
	特別区財政調整交付金	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支出金	10,000,000	10,000,000	0
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	39,590,848	48,948,848	9,358,000
	その他	4,207,791	5,007,652	799,861
	小計	53,798,639	63,956,500	10,157,861
行政収支差額		△388,685,859	△442,393,115	△53,707,256
金融収支差額		0	0	0
通常収支差額		△388,685,859	△442,393,115	△53,707,256
当期収支差額		△388,685,859	△442,393,115	△53,707,256
一般財源充当調整		220,333,146	274,320,217	53,987,071
再計(一般財源調整後)		△168,352,713	△168,072,898	279,815

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・指定管理料 224,663,519円 ・晴海地域交流センター光熱水費 23,144,378円
主な増減理由	・指定管理料の減 △8,006,694円 ・光熱水費の減 △1,475,327円

勘定科目	投資的経費
決算額の主な内訳	・外構舗装工事費 70,819,804円
主な増減理由	・外構舗装工事費の皆増 70,819,804円

勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・晴海地域交流センター使用料 44,834,660円
主な増減理由	・晴海地域交流センター使用料の増 9,341,200円

勘定科目	都支出金
決算額の主な内訳	・子供・長寿・居場所区市町村包括補助事業補助金 10,000,000円
主な増減理由	・増減なし

（単位：円）

② 貸借対照表（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	595,100	595,100
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	0	0	0
	建物	2,519,876,681	2,360,642,408	△159,234,273
	工作物	103,446,855	128,297,882	24,851,027
	重要物品	20,750,829	15,574,658	△5,176,171
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0
	その他	15,608,274	27,414,662	11,806,388
資産の部 合計		2,659,682,639	2,532,524,710	△127,157,929

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債	還付未済金	0	4,000	4,000
	特別区債	0	0	0
	賞与引当金	600,948	647,250	46,302
	その他	0	0	0
固定負債	特別区債	0	0	0
	退職給与引当金	5,189,030	5,252,498	63,468
	その他	0	0	0
負債の部合計		5,789,978	5,903,748	113,770
正味財産の部合計		2,653,892,661	2,526,620,962	△127,271,699
負債・正味財産の部合計		2,659,682,639	2,532,524,710	△127,157,929

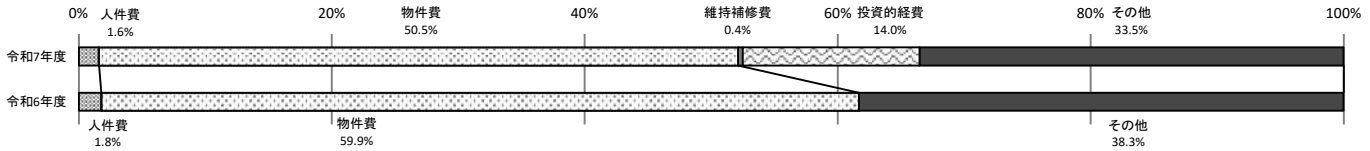
勘定科目	建物	工作物	重要物品
決算額の主な内訳	・晴海地域交流センター「はるみらい」建物 2,360,642,408円	・駐車管制設備 48,539,778円 ・照明灯 11,694,870円 ・駐車場誘導サイン 10,368,688円	・厨房機器等 8,666,658円 ・券売機等 6,908,000円
主な増減理由	・建物の減価償却による減 △159,234,273円	・外構舗装工事に伴う工作物取得額の増 28,913,808円	・重要物品の減価償却による減 △5,176,171円

3 実施内容

①	晴海地域交流センター「はるみらい」の管理運営	②	晴海地域交流センター「はるみらい」の整備	③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



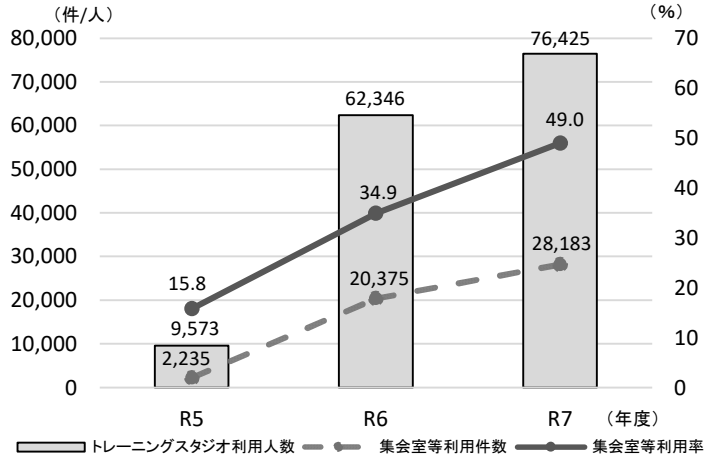
② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

【晴海地域交流センター「はるみらい」施設概要】

○開設日
令和5年12月17日
○所在地
中央区晴海5-2-3
○敷地面積
約29,700㎡(中央清掃工場の敷地を含む)
○延床面積
4,560.7㎡
○構造・規模
鉄筋コンクリート(一部鉄骨鉄筋コンクリート)造

フロア	主な機能
屋上	屋上運動スタジオ(球技用コート)、屋上キッズスタジオ(子どもの遊び場)、フリースペース など
3階	トレーニングスタジオ(トレーニングルーム、フィットネスルーム、シャワーステーション)、音楽スタジオ、工作スタジオ など
2階	集会室(会議室)、学習スタジオ(学習スペース)、料理スタジオ、レストラン など
1階	ホール(地域活動、イベント、展示スペースなどに活用) ※地上駐車場あり

【晴海地域交流センター「はるみらい」利用実績】



5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・令和7年度の利用実績は、集会室等の利用件数および利用率、トレーニングスタジオの利用者数のすべてにおいて令和6年度を大幅に上回った。 ・晴海地域交流センター運営協議会、指定管理者、区の三者による連絡会を四半期ごとに開催し、運営や施設管理の状況について意見交換を行った。 ・1階および2階に引き続いて、3階に新たなWi-Fi環境の整備を行い、利用者の利便性の向上に努めた。 ・集会室等およびトレーニングスタジオにおいてキャッシュレス決済を導入し、利用者の利便性の向上および現金管理等業務の省力化を図った。キャッシュレス決済の利用件数は大幅に増加している。(令和6年度2,787件、令和7年度7,874件) ・令和8年3月に外構舗装工事が完了した。
	課題	・音楽スタジオや多目的スタジオは利用率が高い一方、料理スタジオや工作スタジオは利用率が低水準で推移しているため、全体的な利用率の向上を図る必要がある。 ・地域の自主的な交流を促進するため、地域活動スタジオの活用方法の周知や、地域サポーターの登録人数の増加を図っていく必要がある。

② 今後の方向性	・利用者満足度を高めるため、利用者の要望および運営協議会の意見を基にサービス向上を目指すとともに、SNSや区広報の活用により広く施設を周知し、利用率の向上を図る。 ・運営協議会、指定管理者、区の三者で連携し、引き続き定期的に施設の運営等について意見交換を行っていく。 ・地域活動スタジオを活用したイベントの開催や、地域サポーターへの登録方法等を広く周知し、地域の自主的な交流を生み出す拠点となるよう運営していく。 ・安定的な施設運営のため、蓄積したノウハウを活用し、運営マニュアルの更新を進めていく。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 | LPJ02 | LPJ03 | LPJ04

1 事業概要

事業名	【137】日本橋特別出張所管理事業	部課名	区民部日本橋特別出張所
事業目的	・日本橋地域の住民の利便性の向上を図るため、本区の行政機関として設置している。		
事業内容	・日本橋特別出張所等複合施設の庁舎維持管理を行う。 ・特別出張所では、戸籍、住民基本台帳、印鑑登録や国民健康保険、後期高齢者医療制度、国民年金、税務、介護保険等各種福祉関係の窓口業務をはじめ、地域活動事務等区民の日常生活に関わりのある事務を本庁担当課と連携して取り扱っている。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち 施策 9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上	SDGsとの関連	

2 財務情報

（単位：円）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	48,802,897	44,259,081	△4,543,816
	物件費	44,437,326	43,821,140	△616,186
	維持補修費	1,672,715	0	△1,672,715
	扶助費	0	0	0
	補助費等	0	0	0
	投資的経費	187,374,146	201,549,472	14,175,326
	減価償却費	24,695,129	20,484,130	△4,210,999
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	6,568,787	6,079,992	△488,795
	その他	0	0	0
	小計	313,551,000	316,193,815	2,642,815
特別費用		0	0	0
特別収入		0	0	0
特別収支差額		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入	地方区税	0	0	0
	特別区財政調整交付金	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支出金	0	0	0
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	1,088,700	1,256,400	167,700
	その他	111,754	105,952	△5,802
	小計	1,200,454	1,362,352	161,898
行政収支差額		△312,350,546	△314,831,463	△2,480,917
金融収支差額		0	0	0
通常収支差額		△312,350,546	△314,831,463	△2,480,917
当期収支差額		△312,350,546	△314,831,463	△2,480,917
一般財源充当調整		288,366,433	293,412,542	5,046,109
再計(一般財源調整後)		△23,984,113	△21,418,921	2,565,192

①行政コスト計算書（内訳等）

勘定科目	投資的経費
決算額の主な内訳	・日本橋特別出張所大規模改修工事 201,549,472円
主な増減理由	・日本橋特別出張所大規模改修工事費の増 14,175,326円

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・建物維持管理業務委託 24,931,648円 ・光熱水費 9,361,122円 ・空調機器・エレベーター等保守委託 3,048,403円 ・町会長等への使送ほか業務委託 1,920,600円
主な増減理由	・大規模改修工事に伴う空調機器・エレベーター等保守委託料減 △2,645,166円 ・町会長等への使送ほか業務委託料皆増 1,920,600円

勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・納税証明等手数料 1,256,400円
主な増減理由	・納税証明等発行件数の増による手数料増 167,700円

勘定科目	
決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—

（単位：円）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	66,356,466	66,356,466	0
	建物	573,961,343	1,789,850,145	1,215,888,802
	工作物	5,098,327	4,318,252	△780,075
	重要物品	0	2,116,510	2,116,510
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	765,185,614	0	△765,185,614
	その他	0	0	0
資産の部 合計		1,410,601,750	1,862,641,373	452,039,623

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債	還付未済金	0	0	0
	特別区債	0	0	0
	賞与引当金	3,545,594	3,171,524	△374,070
	その他	0	0	0
固定負債	特別区債	0	0	0
	退職給与引当金	30,615,278	25,737,241	△4,878,037
	その他	0	0	0
負債の部合計		34,160,872	28,908,765	△5,252,107
正味財産の部合計		1,376,440,878	1,833,732,608	457,291,730
負債・正味財産の部合計		1,410,601,750	1,862,641,373	452,039,623

②貸借対照表（内訳等）

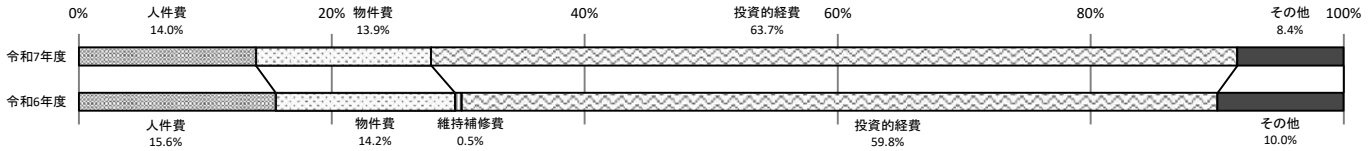
勘定科目	建物	土地	工作物
決算額の主な内訳	・日本橋特別出張所 1,789,850,145円	・日本橋特別出張所等複合施設敷地 66,356,466円	・日本橋特別出張所工作物 4,318,252円
主な増減理由	・大規模改修工事完了に伴う増 1,235,592,857円 ・建物の減価償却による減△19,704,055円	・増減なし	・工作物の減価償却による減 △780,075円

3 実施内容

①	日本橋特別出張所の管理運営	②	日本橋特別出張所の改修	③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

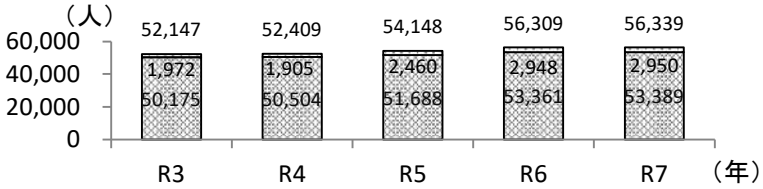
4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)

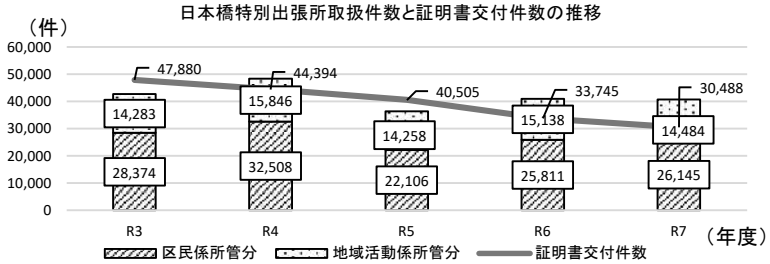


② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

人口推移(日本橋地域) 各年4月1日現在 ▨ 日本人 ▨ 外国人



日本橋特別出張所取扱件数と証明書交付件数の推移



※区民係所管分（異動届出、出生等職権処理、マイナンバーカードの交付、電子証明書の発行・更新）

※地域活動係所管分（国民健康保険関係、介護保険関係、児童手当関係、乳幼児・子ども医療関係、住民税関係ほか届出）

[日本橋特別出張所等複合施設概要]

1 施設規模
地上7階、地下2階

2 施設内容

施 設	施 設 内 容	規 模（延床面積）
日本橋特別出張所	地域活動係 区民係窓口業務	2,332.68㎡
日本橋公会堂（日本橋劇場）	ホール・集会室	7,016.08㎡
日本橋特別出張所防災備蓄倉庫	防災備蓄倉庫	281.53㎡
道路課倉庫	道路の維持管理	228.22㎡
職員住宅	蛎殻町職員住宅	211.29㎡
子ども家庭支援センター日本橋分室	一時保育・緊急保育	287.71㎡

5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・日本橋特別出張所等複合施設の大規模改修工事については、工事関係者との会議を定期的に実施し、工事の進捗管理や情報共有を図りながら進めてきた結果、令和8年2月末をもって工事が完了した。 ・改修工事に伴う執務室の移転について、区のおしらせ・ホームページで周知を行った。 ・改修工事では、来所者に快適な利用環境を提供するため、出張所の待合フロアを拡張するとともに、出張所来所者や公会堂利用者が使用できる授乳室を新設した。また、1階旧保育室跡を会議、集会、福祉事業等に使用する多用途室として整備を行った。さらに、省エネルギー対策として、全館照明のLED化を行うとともに、高効率の空調機器を設置し消費電力の抑制を図った。 ・窓口における証明書等発行手数料のキャッシュレス決済や、パソコンやスマートフォンによる窓口の混雑状況確認と当日の順番待ちの予約ができる受付予約システムを継続して実施し、利用者の利便性向上を図っている。 ・令和6年12月から対象者は限定されるものの、通常は申請から1カ月を要するマイナンバーカードの交付が1週間程度で可能となる特急発行が導入された。早急に交付を受ける必要のある方に対して引き続き対応を行っている。（令和7年度特急発行交付数：106件）
	課題	・マイナンバーカード交付開始時（平成28年（2016年））に取得したカードの有効期限およびマイナポイント事業で取得したカードの電子証明書の更新期限が令和8年（2026年）に集中することから、一斉更新に伴う来所者数の増加に対応する必要がある。

② 今後の方向性	・引き続き施設設備の保守点検をきめ細かに実施していく。 ・多様化する区民ニーズに対応するため、デジタル技術を活用した行政サービスの向上を図っていく。 ・マイナンバーカードに係る窓口不足については、対象者への事前のお知らせ等により窓口での手続きが円滑に行えるよう取組を進める。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 | LPJ02 | LPJ03 | LPJ04

1 事業概要

事業名	【138】自治振興事務（日本橋特別出張所）	部課名	区民部日本橋特別出張所
事業目的	・町会の現状や課題、要望等を的確に把握するとともに、良好な地域コミュニティの維持形成および活性化、ならびに区事業の普及促進を図る。		
事業内容	・区政への各種要望を受ける場として、行政懇談会を開催する。 ・コミュニティ連絡相談員を配置して、町会・自治会と積極的にコミュニケーションを取る。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち 施策 9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上	SDGsとの関連	

2 財務情報

（単位：円）

① 行政コスト計算書

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	3,308,671	4,516,233	1,207,562
	物件費	816,140	874,625	58,485
	維持補修費	0	0	0
	扶助費	0	0	0
	補助費等	0	0	0
	投資的経費	0	0	0
	減価償却費	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	445,342	620,407	175,065
	その他	0	0	0
	小計	4,570,153	6,011,265	1,441,112
特別費用		0	0	0
特別収入		0	0	0
特別収支差額		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入	地方区税	0	0	0
	特別区財政調整交付金	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支出金	0	0	0
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	0	0	0
	その他	0	0	0
	小計	0	0	0
行政収支差額		△4,570,153	△6,011,265	△1,441,112
金融収支差額		0	0	0
通常収支差額		△4,570,153	△6,011,265	△1,441,112
当期収支差額		△4,570,153	△6,011,265	△1,441,112
一般財源充当調整		4,618,357	5,915,878	1,297,521
再計(一般財源調整後)		48,204	△95,387	△143,591

（内訳等）

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・行政懇談会食糧費 627,000円 ・行政懇談会会場使用料 206,668円
主な増減理由	・行政懇談会食糧費の増 52,773円 ・行政懇談会会場使用料の増 1,012円
勘定科目	
決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—

勘定科目	
決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—
勘定科目	
決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—

（単位：円）

② 貸借対照表

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	0	0	0
	建物	0	0	0
	工作物	0	0	0
	重要物品	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0
	その他	0	0	0
資産の部 合計		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債	還付未済金	0	0	0
	特別区債	0	0	0
	賞与引当金	240,379	323,625	83,246
	その他	0	0	0
固定負債	特別区債	0	0	0
	退職給与引当金	2,075,612	2,626,249	550,637
	その他	0	0	0
負債の部合計		2,315,991	2,949,874	633,883
正味財産の部合計		△2,315,991	△2,949,874	△633,883
負債・正味財産の部合計		0	0	0

（内訳等）

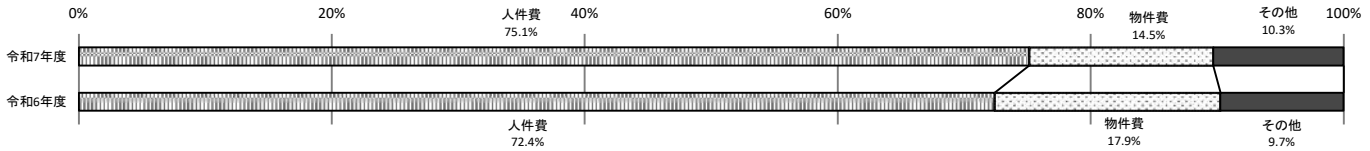
勘定科目			
決算額の主な内訳	—	—	—
主な増減理由	—	—	—

3 実施内容

①	自治振興事務	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

行政懇談会出席実績（日本橋地域）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
団 体 数（ 団 体 ）	68	68	68	68	68
出席団体数（ 団 体 ）	※	36	39	37	42
出席率（%）	※	52.9	57.4	54.4	61.8

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催

5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・日本橋地域の町会に対し、区の事業を周知するとともに、区政に対する要望を受ける場として行政懇談会を開催している。 ・コミュニティ連絡相談員を通じ、区と町会との連携を図っている。
	課題	・行政懇談会の出席率向上とコミュニティ連絡相談員を通じた区と町会とのさらなる連携を図っていく必要がある。

② 今後の方向性	・行政懇談会の開催やコミュニティ連絡相談員の派遣等さまざまな機会を捉えて、町会活動の活性化を支援する。具体的には、町会活動の課題となっている、担い手不足や若年層の参画促進等に対する助言や事例の共有を行っていく。また、地域の意見・要望を的確に把握して、庁内関係部署と連携を図った上で、可能な限り区政への反映を推進していく。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 LPJ02 **LPJ03** LPJ04

1 事業概要

事業名	【139】コミュニティ活動支援事業（日本橋特別出張所）	部課名	区民部日本橋特別出張所
事業目的	・各種イベントの開催を促進し、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するとともに、良好なコミュニティの醸成と地域コミュニティのさらなる活性化を図る。		
事業内容	・町会が実施する手づくりイベントおよび盆おどり大会に対し、経費の一部を助成する。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの関連	
	施策 9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		

2 財務情報

（単位：円）

① 行政コスト計算書（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	8,271,678	3,612,986	△4,658,692
	物件費	28,768	12,966	△15,802
	維持補修費	0	0	0
	扶助費	0	0	0
	補助費等	20,995,000	22,844,000	1,849,000
	投資的経費	0	0	0
	減価償却費	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,113,353	496,326	△617,027
	その他	0	0	0
	小計	30,408,799	26,966,278	△3,442,521
特別費用		0	0	0
特別収入		0	0	0
特別収支差額		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入	地方区税	0	0	0
	特別区財政調整交付金	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支出金	0	0	0
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	0	0	0
	その他	0	0	0
	小計	0	0	0
行政収支差額		△30,408,799	△26,966,278	3,442,521
金融収支差額		0	0	0
通常収支差額		△30,408,799	△26,966,278	3,442,521
当期収支差額		△30,408,799	△26,966,278	3,442,521
一般財源充当調整		30,529,311	26,889,969	△3,639,342
再計(一般財源調整後)		120,512	△76,309	△196,821

勘定科目	補助費等	勘定科目	
決算額の主な内訳	・地域手づくりイベント推進助成 16,387,000円 ・地域の盆おどりに対する助成 6,457,000円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・地域手づくりイベント実績増による助成金の増 1,492,000円 ・地域の盆おどりの実績増による助成金の増 357,000円	主な増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

（単位：円）

② 貸借対照表（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	0	0	0
	建物	0	0	0
	工作物	0	0	0
	重要物品	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0
	その他	0	0	0
資産の部 合計		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債	還付未済金	0	0	0
	特別区債	0	0	0
	賞与引当金	600,948	258,900	△342,048
	その他	0	0	0
固定負債	特別区債	0	0	0
	退職給与引当金	5,189,030	2,100,999	△3,088,031
	その他	0	0	0
負債の部合計		5,789,978	2,359,899	△3,430,079
正味財産の部合計		△5,789,978	△2,359,899	3,430,079
負債・正味財産の部合計		0	0	0

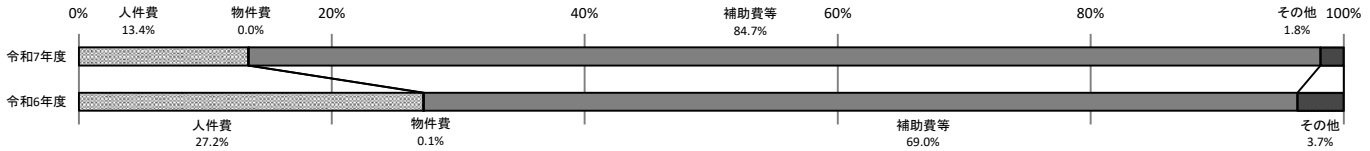
勘定科目			
決算額の主な内訳	—	—	—
主な増減理由	—	—	—

3 実施内容

①	地域手づくりイベント推進助成	②	地域の盆おどりに対する助成	③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

地域手づくりイベント推進助成件数（日本橋）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
対象団体数（団体）	68	68	75	75	75
内 連合町会数	－	－	7	7	7
助成団体数（団体）	4	37	53	51	54
助成割合（%）	5.9	54.4	70.7	68.0	72.0
助成件数（件）	5	50	80	79	86
内 地域連携加算	－	－	9	9	8

地域盆おどり大会助成件数（日本橋）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
助成件数（件）	0	15	23	28	27

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催実績なし

※地域手づくりイベント推進助成において、令和5年度から助成対象団体に連合町会を加えるとともに、区内の団体等と連携してイベントを実施する場合に、一律10万円を加算して助成する地域連携加算を追加した。

5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・町会の自治活動の促進や新規町会会員の獲得を目的として実施するイベントに要する経費の一部を助成している。 ・地域手づくりイベント推進助成、地域盆おどり大会助成において、近年の物価高騰により、町会・自治会がイベント、盆おどり大会を開催する場合の経済的負担が増加していることを踏まえ、当該経済的負担を軽減しイベント、盆おどり大会の開催の促進を図るため、助成金の限度額を20%増額した。 ・地域手づくりイベント推進助成は、令和6年度から助成団体数および助成件数ともに増加している。
	課題	・地域手づくりイベント推進助成を活用する連合町会は2団体、地域連携加算利用の利用は8件にとどまっており、さらなる利用の促進を図る必要がある。 ・地域手づくりイベント推進助成、地域盆おどり大会助成において、地域の自治活動の促進をさらに推進するため、将来における地域の自治活動を担う子どもを対象として地域の自治活動に慣れ親しむ機会の拡大および創出を図る必要がある。

② 今後の方向性	・町会が自主的に運営する地域独自のイベントや盆おどりの開催を継続的に支援することで、住民同士の連帯感を強めるとともに、新たに住民となった方の地域との交流の機会をつくることで、地域活動への参加を促し、地域全体の活性化につなげていく。 ・地域手づくりイベント推進助成において、連合町会が助成対象となったことと地域連携加算が追加されたことについて、引き続き周知を行い、活用を促進していく。 ・地域手づくりイベント推進助成、地域盆おどり大会助成において、令和8年度から子ども参加促進加算を加えることにより、子どもが地域活動に参加・体験できる機会の拡大・創出を図る。 ・「地域コミュニティの担い手養成塾」への案内等、地域に根付いたイベントを次世代へ継承していく担い手づくりに対する支援を行っていく。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 LPJ02 LPJ03 LPJ04

1 事業概要

事業名	【140】地域コミュニティルーム管理事業（日本橋特別出張所）	部課名	区民部日本橋特別出張所
事業目的	・町会やその他地域団体の活動の場を提供し、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援する。		
事業内容	・地域コミュニティルームの維持管理を行う。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの関連	
	施策 9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		

2 財務情報

（単位：円）

① 行政コスト計算書（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	1,654,334	1,806,493	152,159
	物件費	9,944,079	10,272,321	328,242
	維持補修費	1,752,802	0	△1,752,802
	扶助費	0	0	0
	補助費等	142,000	0	△142,000
	投資的経費	0	16,857,500	16,857,500
	減価償却費	3,444,398	3,444,398	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	222,671	248,163	25,492
	その他	0	0	0
	小計	17,160,284	32,628,875	15,468,591
特別費用		0	0	0
特別収入		0	0	0
特別収支差額		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入	地方区税	0	0	0
	特別区財政調整交付金	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支出金	0	0	0
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	0	0	0
	その他	79,617	69,843	△9,774
	小計	79,617	69,843	△9,774
行政収支差額		△17,080,667	△32,559,032	△15,478,365
金融収支差額		0	0	0
通常収支差額		△17,080,667	△32,559,032	△15,478,365
当期収支差額		△17,080,667	△32,559,032	△15,478,365
一般財源充当調整		13,660,371	29,076,479	15,416,108
再計(一般財源調整後)		△3,420,296	△3,482,553	△62,257

勘定科目	投資的経費
決算額の主な内訳	・十思コミュニティルーム冷暖房機取替工事 16,857,500円
主な増減理由	・十思コミュニティルーム冷暖房機取替工事による工事費皆増 16,857,500円

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・浜町コミュニティルーム敷地賃借料 2,352,552円 ・光熱水費 2,235,547円 ・地域コミュニティルーム警備委託 1,235,520円 ・浜町コミュニティルームエアコン交換 365,640円
主な増減理由	・浜町コミュニティルームエアコン交換費皆増 365,640円

勘定科目	その他（行政収入）
決算額の主な内訳	・十思コミュニティルーム電気料金 69,843円
主な増減理由	・電気使用量実績減に伴う減 △9,774円

勘定科目	
決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—

（単位：円）

② 貸借対照表（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	0	0	0
	建物	46,398,937	42,954,539	△3,444,398
	工作物	0	0	0
	重要物品	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0
	その他	2,352,552	2,352,552	0
資産の部 合計		48,751,489	45,307,091	△3,444,398

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債	還付未済金	0	0	0
	特別区債	0	0	0
	賞与引当金	120,190	129,450	9,260
	その他	0	0	0
固定負債	特別区債	0	0	0
	退職給与引当金	1,037,806	1,050,500	12,694
	その他	0	0	0
負債の部合計		1,157,996	1,179,950	21,954
正味財産の部合計		47,593,493	44,127,141	△3,466,352
負債・正味財産の部合計		48,751,489	45,307,091	△3,444,398

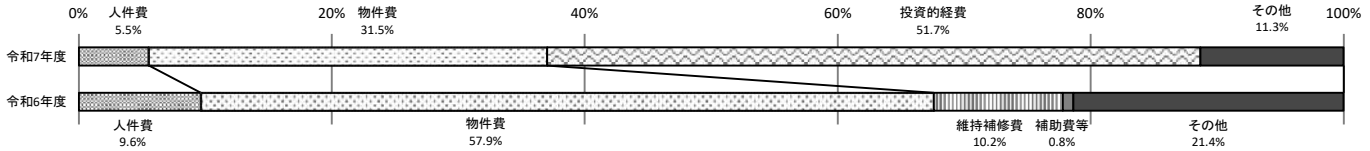
勘定科目	建物		
決算額の主な内訳	・箱崎町コミュニティルーム 24,877,272円 ・中洲コミュニティルーム 12,592,479円 ・浜町コミュニティルーム 5,484,787円 ・十思コミュニティルーム 1円（S24竣工）	—	—
主な増減理由	・地域コミュニティルームの減価償却による減 △3,444,398円	—	—

3 実施内容

①	地域コミュニティルームの管理運営	②	地域コミュニティルームの改修	③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

日本橋地域コミュニティルーム

名　称	開設年月	面積(㎡)
箱崎町コミュニティルーム	平成6年11月	183.19
浜町コミュニティルーム	平成6年12月	97.2
中洲コミュニティルーム	平成7年10月	126.44
十思コミュニティルーム	平成13年1月	201.6

地域コミュニティルームの施設別での稼働状況

コミュニティルーム名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
箱崎町	390件	479件	580件	618件	670件
浜町	136件	204件	240件	239件	273件
中洲	74件	112件	116件	96件	113件
十思	194件	253件	220件	226件	300件
合計	794件	1,048件	1,156件	1,179件	1,356件

5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・町会の自主管理のもと、町会等の会合や行事をはじめさまざまな目的・用途で活用が図られており、町会活動の促進、地域コミュニティ醸成に寄与することができている。 ・十思コミュニティルームは複合施設であることから、関係部署と施設状況の情報共有を図っている。 ・十思コミュニティルームの冷暖房機について、老朽化による取替工事を行った。
	課題	・日本橋地域コミュニティルームの経年劣化が進む中、施設を効率的かつ安定的に使用できる状態を保つため、施設利用者からの意見や情報等を収集しながら、適切な維持管理を図っていく必要がある。 ・光熱水費高騰の影響により、一部コミュニティルームで収支が厳しい状況となっている。 ・一部のコミュニティルーム管理運営委員会から、コミュニティルームの施設の老朽化やバリアフリー化の遅れについて、安全・安心な利用に配慮したものとするよう要望が上がっている。

② 今後の方向性	・施設の状況を正確に把握することで改修経費を最小限に抑えながら、計画的かつ効率的に改修を行っていく。 ・コミュニティルームの運営に支障をきたすことがないよう、施設を最大限に活用できる状態を維持することで安定的に町会等の活動の場を提供していく。 ・施設の維持管理にあたっては、利用の妨げにならぬよう、修繕工事や保守点検等の日程調整を綿密に行うなど配慮を行っていく。 ・地域コミュニティルームについては、誰もが安全・安心かつ円滑に施設を利用できるよう引き続き検討を行っていく。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 | LPJ02 | LPJ03 | LPJ04

1 事業概要

事業名	【141】日本橋公会堂管理事業	部課名	区民部日本橋特別出張所
事業目的	・区民の文化の向上と福祉の増進を図る。		
事業内容	・ホール（日本橋劇場）と集会室の貸出および維持管理に関する業務を行う。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策：9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち 施策：9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上	SDGsとの関連	

2 財務情報

（単位：円）

① 行政コスト計算書（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	7,444,509	7,225,973	△218,536
	物件費	139,320,560	156,444,930	17,124,370
	維持補修費	0	0	0
	扶助費	0	0	0
	補助費等	0	0	0
	投資的経費	420,338,262	1,198,138,319	777,800,057
	減価償却費	58,851,443	60,844,101	1,992,658
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,002,018	992,651	△9,367
	その他	0	0	0
	小計	626,956,792	1,423,645,974	796,689,182
特別費用		2	1	△1
特別収入		0	0	0
特別収支差額		△2	△1	1

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入	地方区税	0	0	0
	特別区財政調整交付金	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支出金	0	0	0
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	14,771,280	39,831,507	25,060,227
	その他	0	0	0
	小計	14,771,280	39,831,507	25,060,227
行政収支差額		△612,185,512	△1,383,814,467	△771,628,955
金融収支差額		83	2,883	2,800
通常収支差額		△612,185,429	△1,383,811,584	△771,626,155
当期収支差額		△612,185,431	△1,383,811,585	△771,626,154
一般財源充当調整		553,442,447	1,322,814,864	769,372,417
再計(一般財源調整後)		△58,742,984	△60,996,721	△2,253,737

勘定科目	投資的経費
決算額の主な内訳	・日本橋公会堂大規模改修工事 1,198,138,319円
主な増減理由	・日本橋公会堂大規模改修工事費の増 777,800,057円

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・指定管理料 67,300,151円 ・建物維持管理業務委託 60,707,167円 ・光熱水費 20,784,868円
主な増減理由	・日本橋公会堂利用再開に伴う指定管理料の増 22,225,400円 ・大規模改修工事に伴う空調機器・エレベーター等保守委託料減 △6,440,844円

勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・日本橋公会堂使用料 39,831,507円
主な増減理由	・日本橋公会堂利用再開に伴う使用料の増 25,060,227円

勘定科目	
決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—

（単位：円）

② 貸借対照表（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	0	0	0
	建物	1,399,234,653	4,471,788,329	3,072,553,676
	工作物	0	0	0
	重要物品	2,750,015	5,192,014	2,441,999
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	1,441,439,078	0	△1,441,439,078
	その他	0	0	0
資産の部 合計		2,843,423,746	4,476,980,343	1,633,556,597

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債	還付未済金	0	0	0
	特別区債	0	0	0
	賞与引当金	540,853	517,800	△23,053
	その他	0	0	0
固定負債	特別区債	0	0	0
	退職給与引当金	4,670,127	4,201,998	△468,129
	その他	0	0	0
負債の部合計		5,210,980	4,719,798	△491,182
正味財産の部合計		2,838,212,766	4,472,260,545	1,634,047,779
負債・正味財産の部合計		2,843,423,746	4,476,980,343	1,633,556,597

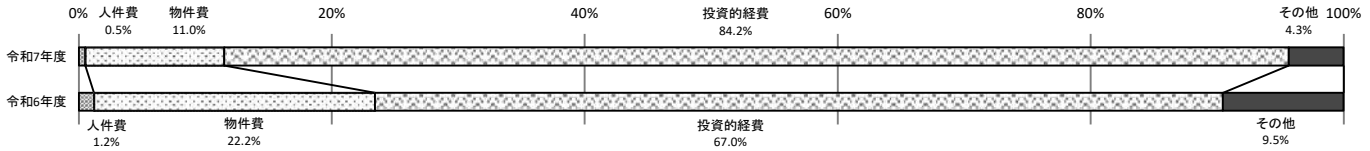
勘定科目	建物	重要物品	建設仮勘定
決算額の主な内訳	・日本橋公会堂 4,471,788,329円	・プロジェクター 1,932,700円 ・ピンスポットライト2台 1,760,000円 ・舞台大道具 1,059,300円 ・花道用ピンスポットライト 440,000円	・実績なし
主な増減理由	・大規模改修工事完了に伴う増 3,132,847,777円 ・建物の減価償却による減 △60,294,101円	・プロジェクター、舞台大道具購入による皆増 2,992,000円 ・ピンスポットライトの減価償却による減 △550,000円	・日本橋公会堂大規模改修工事皆減 △1,441,439,078円

3 実施内容

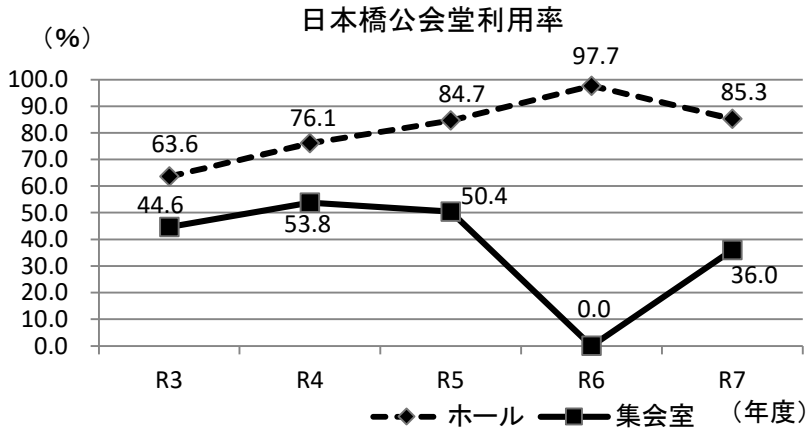
①	日本橋公会堂の管理運営	②	日本橋公会堂の改修	③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)



【施設概要】
（1）ホール（日本橋劇場） 日本橋区民センター3～5階
収容人数 440人（1階席293人、2階席147人）
（2）集会室
① 洋室 4部屋
（第1、第2 定員各24人 第3、第4 定員各60人
それぞれ2室を1室で利用可能）
② 和室 2部屋
（第1、第2 定員各24人 2室を1室で利用可能）

【新型コロナウイルス感染症の影響による休館】
・令和3年4月25日から同年5月11日まで

【大規模改修による利用休止】
・集会室 令和5年9月1日から令和8年2月28日まで
・ホール 令和6年6月1日から令和7年10月31日まで

5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・日本橋公会堂の大規模改修工事については、工事関係者との会議を定期的に行い、工事の進捗管理や情報共有を図りながら進めてきたが、令和8年2月末をもって工事が完了した。 ・大規模改修工事に伴う利用休止について、ホームページ等で利用者向け周知を行った。 ・改修工事では、古典芸能を演じることのできるホールとしての機能を維持するとともに、楽屋を増設して利用者の利便性向上を図った。また、公会堂受付を1階エントランスホールから3階ホワイエに移設し、他施設との導線を分けることで、受付環境を整えた。 ・ホール使用料の徴収については窓口での現金払いのみとしていたが、令和6年10月から口座振込の方法を導入して利用者の利便性向上を図った。（令和7年度口座振込件数：113件 収入件数に占める割合：16.7%）
	課題	・リニューアルの機会を捉えた情報発信を行うことで、施設の認知度向上と利用促進を図っていく必要がある。

② 今後の方向性	・改修工事終了後のホールおよび集会室の利用再開について、引き続きホームページ等で利用者への周知を行い、施設の認知度向上と利用促進を図っていく。 ・アンケートの実施等により公演利用者・観客の声に耳を傾け、安心して施設を利用してもらうため、設備の保守等により一層の安全確保を行うとともに、快適にご利用いただける文化施設としてサービス向上に努めていく。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 | LPJ02 | LPJ03 | LPJ04

1 事業概要

事業名	【142】月島特別出張所管理事業	部課名	区民部月島特別出張所
事業目的	・月島地域の住民の利便性の向上を図るため、本区の行政機関として設置している。		
事業内容	・月島特別出張所等複合施設の庁舎維持管理を行う。 ・特別出張所では、戸籍、住民基本台帳、印鑑登録や国民健康保険、後期高齢者医療制度、国民年金、税務、介護保険等各種福祉関係の窓口業務をはじめ、地域活動事務等区民の日常生活に関わりのある事務を本庁担当課と連携して取り扱っている。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち 施策 9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上	SDGsとの関連	

2 財務情報

（単位：円）

① 行政コスト計算書

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	63,510,327	42,006,806	△21,503,521
	物件費	25,078,824	26,735,814	1,656,990
	維持補修費	2,041,820	2,838,660	796,840
	扶助費	0	0	0
	補助費等	0	0	0
	投資的経費	0	8,250,000	8,250,000
	減価償却費	5,726,014	5,726,014	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	8,127,482	5,583,666	△2,543,816
	その他	0	0	0
小計		104,484,467	91,140,960	△13,343,507
特別費用		0	0	0
特別収入		0	0	0
特別収支差額		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入	地方区税	0	0	0
	特別区財政調整交付金	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支出金	0	0	0
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	1,402,500	1,478,100	75,600
	その他	95,258	103,270	8,012
小計		1,497,758	1,581,370	83,612
行政収支差額		△102,986,709	△89,559,590	13,427,119
金融収支差額		0	0	0
通常収支差額		△102,986,709	△89,559,590	13,427,119
当期収支差額		△102,986,709	△89,559,590	13,427,119
一般財源充当調整		98,140,427	82,975,096	△15,165,331
再計(一般財源調整後)		△4,846,282	△6,584,494	△1,738,212

（内訳等）

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・施設維持管理等業務委託 19,299,376円 ・光熱水費 3,100,735円 ・受付発券機等の借入 1,502,365円
主な増減理由	・雨水ろ過設備保全整備委託料皆増 2,071,960円 ・給排水メーター保全整備委託料皆増 1,153,900円 ・レイアウト変更に伴うパネル等移設作業委託料皆減 △1,639,000円

勘定科目	投資的経費
決算額の主な内訳	・高圧ケーブルおよびUAS取替工事 8,250,000円
主な増減理由	・高圧ケーブルおよびUAS取替工事費皆増 8,250,000円

勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	・誘導灯改修工事 1,298,000円 ・雑排水槽排水ポンプ交換工事 528,000円 ・自動火災報知設備基板交換工事 453,200円
主な増減理由	・誘導灯改修工事費皆増 1,298,000円 ・電話装置停電用バッテリー交換工事費皆減 △423,500円

勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・納税証明等手数料 1,478,100円
主な増減理由	・納税証明等（有料分）発行件数の増による手数料増 75,600円

（単位：円）

② 貸借対照表

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	937,650	937,650	0
	建物	49,206,745	45,434,158	△3,772,587
	工作物	7,947,609	5,994,182	△1,953,427
	重要物品	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0
	その他	0	0	0
資産の部 合計		58,092,004	52,365,990	△5,726,014

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債	還付未済金	0	0	0
	特別区債	0	0	0
	賞与引当金	4,386,921	2,912,624	△1,474,297
	その他	0	0	0
固定負債	特別区債	0	0	0
	退職給与引当金	37,879,920	23,636,241	△14,243,679
	その他	0	0	0
負債の部合計		42,266,841	26,548,865	△15,717,976
正味財産の部合計		15,825,163	25,817,125	9,991,962
負債・正味財産の部合計		58,092,004	52,365,990	△5,726,014

（内訳等）

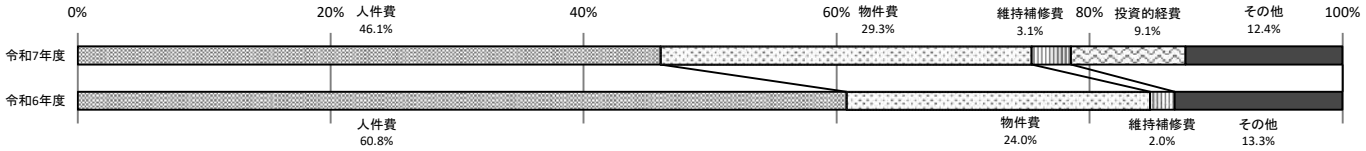
勘定科目	建物	工作物	土地
決算額の主な内訳	・月島特別出張所 44,678,678円 ・月島特別出張所等複合施設自転車置き場(3カ所) 755,480円	・月島特別出張所等複合施設太陽光発電設備 2,836,475円 ・月島特別出張所時計塔および時計塔廻り設備 2,686,718円	・月島特別出張所等敷地 937,650円
主な増減理由	・減価償却による減 △3,772,587円	・減価償却による減 △1,953,427円	・増減なし

3 実施内容

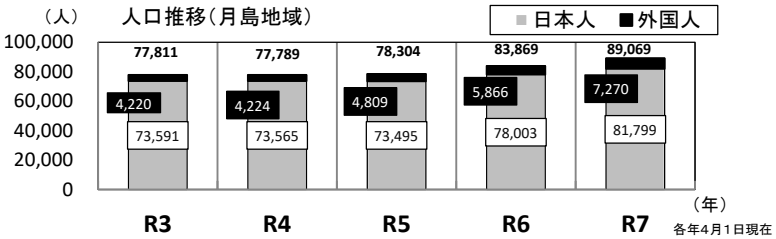
①	月島特別出張所の管理運営	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

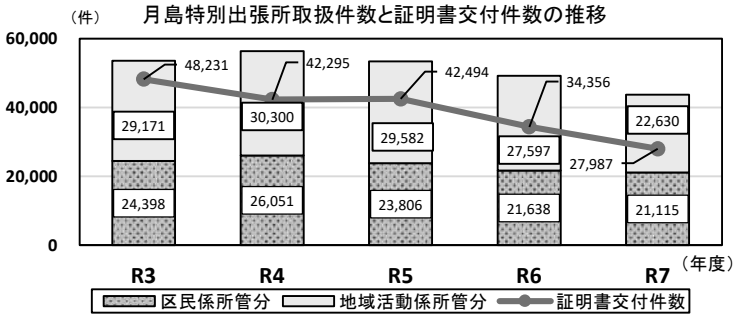
4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)





※区民係所管分（異動届出、出生等職権処理、マイナンバーカードの交付、電子証明書の発行・更新）

※地域活動係所管分（国民健康保険関係、介護保険関係、児童手当関係、乳幼児・子ども医療関係、住民税関係ほか届出）

※令和6年4月15日
晴海特別出張所開設

［月島特別出張所等複合施設概要］

1 施設規模
地上5階、地下1階

2 施設内容

施 設	施 設 内 容	規模（延床面積）
月島特別出張所	地域活動係 区民係窓口業務	898.69 ㎡
道路課倉庫	道路の維持管理	116.48 ㎡
月島おとしより相談センター	高齢者の支援相談窓口	153.22 ㎡
月島児童館	児童の遊び場の提供	1,979.53 ㎡
月島図書館	図書の貸出	1,606.76 ㎡
月島社会教育会館	社会教育振興	3,091.42 ㎡
月島駐車場	駐車場の貸出	3,138.59 ㎡
月島特別出張所防災活動資器材庫	防災活動資器材庫	26.42 ㎡
月島ふくしの総合相談窓口（＊）	福祉に関する相談窓口	15.84 ㎡

＊令和7年7月開設

5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・月島特別出張所は、昭和63年の竣工から30年以上が経過し、建物および設備の老朽化が進んでいることから、毎年、維持補修工事・小破修理が多く発生している。 ・人口推計によると、月島地域の人口は大規模開発の建設等により今後も増加していくことが見込まれている。 ・窓口における証明書等発行手数料のキャッシュレス決済や、パソコンやスマートフォンによる窓口の混雑状況確認と当日の順番待ちの予約ができる受付予約システムを継続して実施していくことにより、利用者の利便性向上を図っている。 ・令和7年3月から、マイナンバーカードと運転免許証の一体化やマイナポータルからのパスポート新規申請が可能となるなど、マイナンバーカードを利用した新たなサービスが増加していることにより区民からの問合せが増えている。
	課題	・建物およびエレベーターをはじめとする設備の老朽化に伴い、大規模改修工事の必要性や修理部品の不足等のリスクが年々高まっており、計画的に維持補修を行う必要がある。 ・令和7年度からマイナンバーカードの10年の有効期限を迎える方の増加とマイナポイント第1弾にカードを受け取った方の電子証明書の更新時期が重なることに加え、大規模な集合住宅の入居時も含めた来所者数の増加に対応する必要がある。 ・増加し続けるマイナンバーカードを利用した新たなサービスに対応していく必要がある。

② 今後の方向性	・各設備の保守部品等の耐用年数を考慮し、点検等を丁寧に実施することで、大規模な補修に至るケースを未然に防ぎ経費の抑制および平準化を図りながら引き続き計画的な維持補修を行っていく。また、老朽化が進んでいる建物全体の大規模改修工事についても検討を行っていく。 ・令和8年度に緊急性の高いエレベーターおよび空調制御機器の設備保全整備を実施する。 ・増加が見込まれるマイナンバーカードの交付、電子証明書の更新および大規模な集合住宅への転入等手続きの待機時間を少なくするため、大規模改修時には窓口の増設等を検討していく。 ・多様化する区民ニーズに対応するため、戸籍関連証明のコンビニ交付等デジタル技術を活用した行政サービスの向上を図っていく。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 | LPJ02 | LPJ03 | LPJ04

1 事業概要

事業名	【143】自治振興事務（月島特別出張所）	部課名	区民部月島特別出張所
事業目的	・町会・自治会の現状や課題、要望等を的確に把握するとともに、良好な地域コミュニティの維持形成および活性化、ならびに区事業の普及促進を図る。		
事業内容	・区政への各種要望を受ける場として、行政懇談会を開催する。 ・コミュニティ連絡相談員を配置して、町会・自治会と積極的なコミュニケーションを図る。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策：9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち 施策：9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上	SDGsとの関連	

2 財務情報

（単位：円）

① 行政コスト計算書

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	4,350,023	4,667,425	317,402
	物件費	670,507	673,872	3,365
	維持補修費	0	0	0
	扶助費	0	0	0
	補助費等	0	0	0
	投資的経費	0	0	0
	減価償却費	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	556,677	620,407	63,730
	その他	0	0	0
	小計	5,577,207	5,961,704	384,497
特別費用		0	0	0
特別収入		0	0	0
特別収支差額		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入	地方区税	0	0	0
	特別区財政調整交付金	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支出金	0	0	0
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	0	0	0
	その他	0	0	0
	小計	0	0	0
行政収支差額		△5,577,207	△5,961,704	△384,497
金融収支差額		0	0	0
通常収支差額		△5,577,207	△5,961,704	△384,497
当期収支差額		△5,577,207	△5,961,704	△384,497
一般財源充当調整		5,637,462	5,866,317	228,855
再計(一般財源調整後)		60,255	△95,387	△155,642

（内訳等）

勘定科目	物件費	勘定科目	
決算額の主な内訳	・行政懇談会食糧費 469,206円 ・行政懇談会会場設営委託 131,560円 ・音声ファイル反訳 24,750円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・行政懇談会食糧費増 4,703円	主な増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

（単位：円）

② 貸借対照表

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	0	0	0
	建物	0	0	0
	工作物	0	0	0
	重要物品	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0
	その他	0	0	0
資産の部 合計		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債	還付未済金	0	0	0
	特別区債	0	0	0
	賞与引当金	300,474	323,625	23,151
	その他	0	0	0
固定負債	特別区債	0	0	0
	退職給与引当金	2,594,515	2,626,249	31,734
	その他	0	0	0
負債の部合計		2,894,989	2,949,874	54,885
正味財産の部合計		△2,894,989	△2,949,874	△54,885
負債・正味財産の部合計		0	0	0

（内訳等）

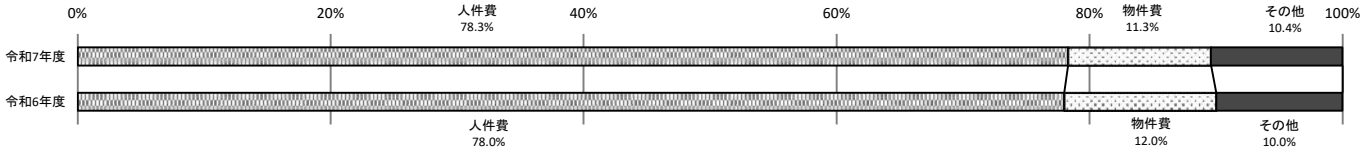
勘定科目			
決算額の主な内訳	—	—	—
主な増減理由	—	—	—

3 実施内容

①	自治振興事務	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

行政懇談会出席実績（月島地域）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
団 体 数（ 団 体 ）	46	46	46	44	44
出席団体数（ 団 体 ）	※	32	36	34	34
出席率（%）	※	69.6	78.3	77.3	77.3

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催

5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・月島地域の町会・自治会に対し、区の事業を周知するとともに、区政に対する要望を受ける場として行政懇談会を開催している。 ・コミュニティ連絡相談員を通じ、区と町会・自治会との連携を図っている。
	課題	・行政懇談会の出席率向上とコミュニティ連絡相談員を通じた区と町会・自治会とのさらなる連携を図っていく必要がある。

② 今後の方向性	・行政懇談会の開催やコミュニティ連絡相談員の派遣等さまざまな機会を捉えて、町会・自治会活動の活性化を支援する。具体的には、町会・自治会活動の課題となっている、担い手不足や若年層の参画促進等に対する助言や事例の共有を行っていく。また、地域の意見・要望を的確に把握して、庁内関係部署と連携を図った上で、可能な限り区政への反映を推進していく。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 LPJ02 **LPJ03** LPJ04

1 事業概要

事業名	【144】コミュニティ活動支援事業（月島特別出張所）	部課名	区民部月島特別出張所
事業目的	・各種イベントの開催を促進し、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するとともに、良好なコミュニティの醸成と地域コミュニティのさらなる活性化を図る。		
事業内容	・町会・自治会が実施する手づくりイベントおよび盆おどり大会に対し、経費の一部を助成する。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち 施策 9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上	SDGsとの関連	

2 財務情報

（単位：円）

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	4,350,023	4,667,425	317,402
	物件費	21,554	20,216	△1,338
	維持補修費	0	0	0
	扶助費	0	0	0
	補助費等	9,338,000	10,551,000	1,213,000
	投資的経費	0	0	0
	減価償却費	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	556,677	620,407	63,730
	その他	0	0	0
	小計	14,266,254	15,859,048	1,592,794
特別費用		0	0	0
特別収入		0	0	0
特別収支差額		0	0	0

勘定科目	令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入 地方区税	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0
国庫支出金	0	0	0
都支出金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0
その他	0	0	0
小計	0	0	0
行政収支差額	△14,266,254	△15,859,048	△1,592,794
金融収支差額	0	0	0
通常収支差額	△14,266,254	△15,859,048	△1,592,794
当期収支差額	△14,266,254	△15,859,048	△1,592,794
一般財源充当調整	14,326,509	15,763,661	1,437,152
再計(一般財源調整後)	60,255	△95,387	△155,642

（内訳等）

勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・地域手づくりイベント推進助成金 7,956,000円 ・地域の盆おどりに対する助成金 2,595,000円
主な増減理由	・地域手づくりイベントおよび地域の盆おどりの実績増による助成金の増 1,213,000円
勘定科目	
決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—

勘定科目	
決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—
勘定科目	
決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—

（単位：円）

② 貸借対照表	勘定科目	令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	0	0	0
	建物	0	0	0
	工作物	0	0	0
	重要物品	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0
	その他	0	0	0
資産の部 合計		0	0	0

勘定科目	令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債 還付未済金	0	0	0
特別区債	0	0	0
賞与引当金	300,474	323,625	23,151
その他	0	0	0
固定負債 特別区債	0	0	0
退職給与引当金	2,594,515	2,626,249	31,734
その他	0	0	0
負債の部合計	2,894,989	2,949,874	54,885
正味財産の部合計	△2,894,989	△2,949,874	△54,885
負債・正味財産の部合計	0	0	0

（内訳等）

勘定科目			
決算額の主な内訳	—	—	—
主な増減理由	—	—	—

3 実施内容

①	地域手づくりイベント推進助成	②	地域の盆おどりに対する助成	③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)

② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

地域手づくりイベント推進助成件数（月島地域）　　（　）内は晴海地区を除く

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
対象団体数（団体）	46	46	50　(31)	29	29
内 連合町会数	－	－	4　(3)	3	3
助成団体数（団体）	10	18	27　(16)	21	21
助成割合（%）	21.7	39.1	54.0 (51.6)	72.4	72.4
助成件数（件）	17	26	41　(22)	31	31
内 地域連携加算	－	－	1　(1)	3	3

※ 令和6年度から晴海地区の件数は晴海特別出張所に計上

地域盆おどり大会助成件数（月島地域）　　（　）内は晴海地区を除く

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
助成件数（件）	0	0	2　(2)	7	7

※　令和3、4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催実績なし
※　令和5年度は「住吉神社大祭（3年に1回開催）」開催年度

※地域手づくりイベント推進助成において、令和5年度から助成対象団体に連合町会を加えるとともに、区内の団体等と連携してイベントを実施する場合に、一律10万円を加算して助成する地域連携加算を追加した。

5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・町会・自治会が主体となって行う独自イベントの開催を促進するため、経費の一部を助成している。 ・地域手づくりイベント推進助成は、助成団体数、助成件数、地域連携加算利用件数のいずれも令和6年度実績と同数であるが、そのうち、地域手づくりイベント推進助成を利用した連合町会は2団体に増加した。 ・地域盆おどり大会助成件数は、昨年度と同数の7件であった。 ・地域手づくりイベント推進助成、地域盆おどり大会助成において、近年の物価高騰により、町会・自治会がイベント、盆おどり大会を開催する場合の経済的負担が増加していることを踏まえ、当該経済的負担を軽減しイベント、盆おどり大会の開催の促進を図るため、助成金の限度額を20%増額した。
	課題	・地域手づくりイベント推進助成における地域連携加算利用のさらなる促進を図る必要がある。 ・地域手づくりイベント推進助成、地域盆おどり大会助成において、地域の自治活動の促進をさらに推進するため、将来における地域の自治活動を担う子どもを対象として地域の自治活動に慣れ親しむ機会の拡大および創出を図る必要がある。
② 今後の方向性		・町会・自治会が自主的に運営する地域独自のイベントや盆おどりの開催を継続的に支援することで、住民同士の連帯感を強めるとともに、新たに住民となった方の地域との交流の機会をつくることで、地域活動への参加を促し、地域全体の活性化につなげていく。 ・地域手作りイベントにおいて地域連携加算が追加されたことについて、町会・自治会に対し引き続き周知を行い、活用を促進していく。 ・地域手づくりイベント推進助成、地域盆おどり大会助成において、令和8年度から子ども参加促進加算を加えることにより、子どもが地域活動に参加・体験できる機会の拡大・創出を図る。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 LPJ02 LPJ03 LPJ04

1 事業概要

事業名	【145】地域コミュニティルーム管理事業（月島特別出張所）	部課名	区民部月島特別出張所
事業目的	・町会・自治会やその他地域団体の活動の場を提供し、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援する。		
事業内容	・地域コミュニティルームの維持管理を行う。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち 施策 9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上	SDGsとの関連	

2 財務情報

（単位：円）

① 行政コスト計算書

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	2,610,013	2,800,454	190,441
	物件費	3,278,434	3,215,263	△63,171
	維持補修費	0	926,200	926,200
	扶助費	0	0	0
	補助費等	96,000	142,000	46,000
	投資的経費	0	0	0
	減価償却費	4,232,609	4,232,609	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	334,006	372,244	38,238
	その他	0	0	0
	小計	10,551,062	11,688,770	1,137,708
特別費用		0	0	0
特別収入		0	0	0
特別収支差額		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入	地方区税	0	0	0
	特別区財政調整交付金	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支出金	0	0	0
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	0	0	0
	その他	189,978	143,593	△46,385
	小計	189,978	143,593	△46,385
行政収支差額		△10,361,084	△11,545,177	△1,184,093
金融収支差額		0	0	0
通常収支差額		△10,361,084	△11,545,177	△1,184,093
当期収支差額		△10,361,084	△11,545,177	△1,184,093
一般財源充当調整		6,164,629	7,255,336	1,090,707
再計(一般財源調整後)		△4,196,455	△4,289,841	△93,386

（内訳等）

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・施設維持管理委託 2,553,193円 ・光熱水費 561,500円
主な増減理由	・入口表示看板交換修繕費皆減 △48,950円

勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	・内装改修工事 856,900円 ・空調リモコン交換工事 69,300円
主な増減理由	・内装改修工事費皆増 856,900円 ・空調リモコン交換工事費皆増 69,300円

勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・月島清澄通りコミュニティルーム管理運営事業助成金 142,000円
主な増減理由	・月島清澄通りコミュニティルーム管理運営事業助成金の増 46,000円

勘定科目	その他（行政収入）
決算額の主な内訳	・勝どきコミュニティルーム光熱水費立替分収入 143,593円
主な増減理由	・使用量実績減による光熱水費の減 △46,385円

（単位：円）

② 貸借対照表

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	0	0	0
	建物	68,029,823	63,797,214	△4,232,609
	工作物	0	0	0
	重要物品	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0
	その他	0	0	0
資産の部 合計		68,029,823	63,797,214	△4,232,609

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債	還付未済金	0	0	0
	特別区債	0	0	0
	賞与引当金	180,284	194,175	13,891
	その他	0	0	0
固定負債	特別区債	0	0	0
	退職給与引当金	1,556,709	1,575,749	19,040
	その他	0	0	0
負債の部合計		1,736,993	1,769,924	32,931
正味財産の部合計		66,292,830	62,027,290	△4,265,540
負債・正味財産の部合計		68,029,823	63,797,214	△4,232,609

（内訳等）

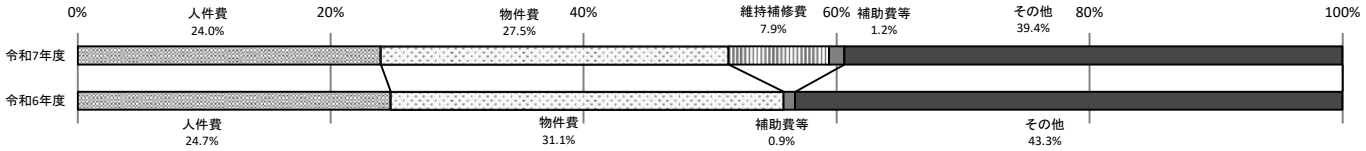
勘定科目	建物		
決算額の主な内訳	・勝どきコミュニティルーム 61,042,752円 ・月島清澄通りコミュニティルーム 2,754,462円	—	—
主な増減理由	・減価償却による減 △4,232,609円	—	—

3 実施内容

①	地域コミュニティルームの管理運営	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

月島地域コミュニティルーム

名称	開設年月	面積（㎡）
勝どきコミュニティルーム	平成7年12月	367
月島清澄通りコミュニティルーム	平成6年12月	145

地域コミュニティルームの施設別での稼働状況

コミュニティルーム名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
勝どき	380件	535件	460件	512件	544件
月島清澄通り	27件	133件	267件	314件	262件
合計	407件	668件	727件	826件	806件

5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・町会・自治会の自主管理のもと、町会・自治会等の会合や行事をはじめさまざまな目的・用途で活用が図られており、町会・自治会活動の促進、地域コミュニティ醸成に寄与することができている。
	課題	・月島地域コミュニティルームの経年劣化が進む中、施設を効率的かつ安定的に使用できる状態を保つため、関係部署と施設状況の情報を共有するとともに、施設利用者からの意見や情報等も収集しながら、適切な維持管理を図っていく必要がある。

② 今後の方向性	・施設の現状を正確に把握することで、改修経費を最小限に抑えながら、計画的かつ効率的に改修を行っていく。 ・コミュニティルームの運営に支障をきたすことがないよう、施設を最大限に活用できる状態を維持することで安定的に町会・自治会等の活動の場を提供していく。 ・施設の維持管理にあたっては、利用の妨げにならないよう、修繕工事や保守点検等の日程調整を綿密に行うなど配慮していく。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 | LPJ02 | LPJ03 | LPJ04

1 事業概要

事業名	【146】晴海特別出張所管理事業	部課名	区民部晴海特別出張所
事業目的	・月島地域（晴海地区）の住民の利便性の向上を図るため、本区の行政機関として設置している。		
事業内容	・晴海特別出張所等複合施設の庁舎維持管理を行う。 ・特別出張所では、戸籍、住民基本台帳、印鑑登録や国民健康保険、後期高齢者医療制度、国民年金、税務、介護保険等各種福祉関係の窓口業務をはじめ、地域活動事務等区民の日常生活に関わりのある事務を本庁担当課と連携して取り扱っている。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち 施策 9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上	SDGsとの関連	

2 財務情報

（単位：円）

① 行政コスト計算書（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	64,059,164	67,867,150	3,807,986
	物件費	17,520,829	18,117,094	596,265
	維持補修費	441,650	0	△441,650
	扶助費	0	0	0
	補助費等	0	0	0
	投資的経費	0	0	0
	減価償却費	47,772,709	47,772,709	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	9,240,836	10,298,761	1,057,925
	その他	0	0	0
	小計	139,035,188	144,055,714	5,020,526
特別費用		0	0	0
特別収入		0	0	0
特別収支差額		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入	地方区税	0	0	0
	特別区財政調整交付金	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支出金	0	0	0
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	309,000	679,500	370,500
	その他	82,801	80,075	△2,726
	小計	391,801	759,575	367,774
行政収支差額		△138,643,387	△143,296,139	△4,652,752
金融収支差額		△3,162,507	△5,320,850	△2,158,343
通常収支差額		△141,805,894	△148,616,989	△6,811,095
当期収支差額		△141,805,894	△148,616,989	△6,811,095
一般財源充当調整		95,033,429	99,260,860	4,227,431
再計(一般財源調整後)		△46,772,465	△49,356,129	△2,583,664

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・総合管理業務委託 11,268,108円 ・光熱水費 3,618,387円
主な増減理由	・使用実績増による光熱水費増 460,868円

勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	・実績なし
主な増減理由	・清掃員控室等内装修繕工事費皆減 △441,650円

勘定科目	使用料及び賃借料
決算額の主な内訳	・納税証明等手数料 679,500円
主な増減理由	・納税証明等発行件数増による手数料増 370,500円

勘定科目	その他（行政収入）
決算額の主な内訳	・会計年度任用職員雇用保険料 80,075円
主な増減理由	・雇用保険料率改定による減 △2,726円

（単位：円）

② 貸借対照表（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	1,441,860,732	1,441,860,732	0
	建物	988,320,297	945,991,337	△42,328,960
	工作物	82,360,951	76,917,202	△5,443,749
	重要物品	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0
	その他	0	0	0
資産の部 合計		2,512,541,980	2,464,769,271	△47,772,709

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債	還付未済金	0	0	0
	特別区債	0	0	0
	賞与引当金	4,987,869	5,372,173	384,304
	その他	0	0	0
固定負債	特別区債	536,000,000	536,000,000	0
	退職給与引当金	43,068,950	43,595,734	526,784
	その他	0	0	0
負債の部合計		584,056,819	584,967,907	911,088
正味財産の部合計		1,928,485,161	1,879,801,364	△48,683,797
負債・正味財産の部合計		2,512,541,980	2,464,769,271	△47,772,709

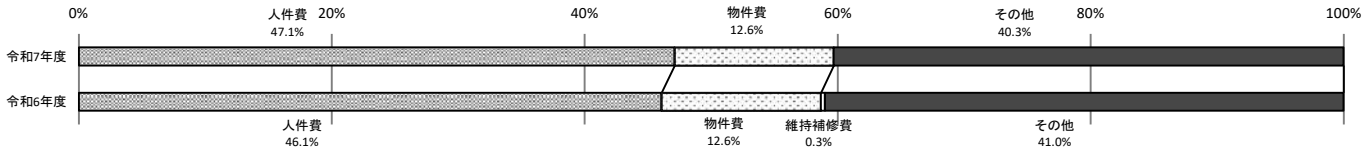
勘定科目	土地	建物	特別区債（固定負債）
決算額の主な内訳	・晴海特別出張所等複合施設敷地 1,441,860,732円	・晴海特別出張所 945,991,337円	・晴海特別出張所整備に係る特別区債 536,000,000円
主な増減理由	・増減なし	・減価償却による減 △42,328,960円	・増減なし

3 実施内容

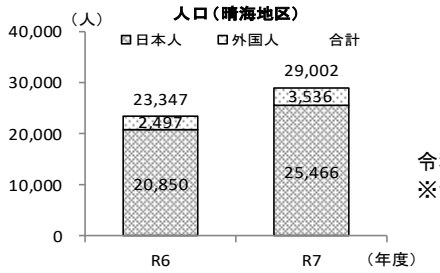
①	晴海特別出張所の管理運営	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

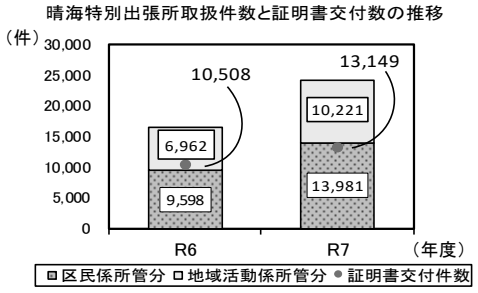
① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)



令和7年4月1日現在
※令和6年は5月1日現在



※区民係所管分（異動届出、出生等職権処理、マイナンバーカードの交付、電子証明書の発行・更新）

※地域活動係所管分（国民健康保険関係、介護保険関係、児童手当関係、乳幼児・子ども医療関係、住民税関係ほか届出）

※令和6年4月15日
晴海特別出張所開設

［晴海特別出張所等複合施設概要］

1 施設規模

地上6階、地下1階

2 施設内容

施 設	施 設 内 容	規模（延床面積）
特別出張所	地域活動係 区民係窓口業務	1,067.56㎡
認定こども園	在園児数277名 （令和7年4月1日現在）	4,911.35㎡
おとしより相談センター	高齢者の支援、相談窓口	184.14㎡
保健センター	保健指導、乳幼児健康診査等の母子保健業務、栄養指導、精神保健指導等の業務	2,275.88㎡
図書館	子ども（幼児含む）向けの蔵書スペース、中高生や大学生等が学習できるスペース、一般蔵書閲覧スペース	3,645.13㎡

5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・建物のライフサイクルコスト縮減や長寿命化に向けて、総合管理業務受託者による専門的な視点からのアドバイスのもと、建物や設備に関する不具合箇所の発見や改善策を講じるとともに、エネルギー使用量のデータ蓄積を行った。 ・スマート引越サポートシステムの運用実績は年間408件であり、利用率は3.6%であった。対応する証明書類はマイナンバーカードを使用すればコンビニエンスストアで取得することができ、転入や転出の手続きについても、マイナンバーカードを利用することで手書きの申請書が必要なくなっていることから、上記システムの利用率は低い水準となっている。
	課題	・施設管理データを蓄積・分析することで、建物の長寿命化に向けた基礎をつくるとともにコスト削減が可能な管理スタイルを構築することが求められている。

② 今後の方向性	・晴海特別出張所等複合施設の維持管理について全体的に状況を把握し、引き続き安全安心な管理運営を行っていくとともに、中長期的な視点をもって、更新・長寿命化等を計画的に行い、財政負担を軽減していく。 ・多様化する区民ニーズに対応するため、さまざまなデジタル技術を活用した行政サービスの向上を図っていく。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 LPJ02 **LPJ03** LPJ04

1 事業概要

事業名	【147】コミュニティ活動支援事業（晴海特別出張所）	部課名	区民部晴海特別出張所
事業目的	・各種イベントの開催を促進し、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するとともに、良好なコミュニティの醸成と地域コミュニティの活性化を図る。		
事業内容	・町会・自治会が実施する手づくりイベントおよび盆おどり大会に対し、経費の一部を助成する。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち 施策 9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上	SDGsとの関連	

2 財務情報

（単位：円）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)	勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
① 行政コスト計算書	行政費用 人件費	3,087,189	3,270,706	183,517	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	6,199	6,784	585		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	6,954,000	9,707,000	2,753,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	445,342	496,326	50,984		行政収支差額	△10,492,730	△13,480,816	△2,988,086
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
	小計	10,492,730	13,480,816	2,988,086		通常収支差額	△10,492,730	△13,480,816	△2,988,086
	特別費用	0	0	0		当期収支差額	△10,492,730	△13,480,816	△2,988,086
	特別収入	0	0	0		一般財源充当調整	10,540,934	13,404,507	2,863,573
	特別収支差額	0	0	0		再計(一般財源調整後)	48,204	△76,309	△124,513

（内訳等）

勘定科目	補助費等	勘定科目	
決算額の主な内訳	・地域手づくりイベント推進助成 4,907,000円 ・地域の盆おどりに対する助成 4,800,000円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・イベント開催実績増および助成金限度額増による助成金の増 1,053,000円 ・盆おどり開催実績増および助成金限度額増による助成金の増 1,700,000円	主な増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

（単位：円）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)	勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
② 貸借対照表	流動資産 収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	240,379	258,900	18,521
	固定資産 土地	0	0	0		その他	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	特別区債	0	0	0
	工作物	0	0	0		退職給与引当金	2,075,612	2,100,999	25,387
	重要物品	0	0	0		その他	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0		負債の部合計	2,315,991	2,359,899	43,908
	建設仮勘定	0	0	0		正味財産の部合計	△2,315,991	△2,359,899	△43,908
	その他	0	0	0		負債・正味財産の部合計	0	0	0
	資産の部 合計	0	0	0					

（内訳等）

勘定科目			
決算額の主な内訳	—	—	—
主な増減理由	—	—	—

3 実施内容

①	地域手づくりイベント推進助成	②	地域の盆おどりに対する助成	③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)

② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

地域手づくりイベント推進助成件数（晴海地区）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
対象団体数（団体）	19	20	19
内 連合町会数	1	1	1
助成団体数（団体）	11	13	12
助成割合（%）	57.9	65.0	63.2
助成件数（件）	19	21	28
内 地域連携加算	0	1	1

※ 晴海特別出張所は令和6年4月15日開設のため、令和5年度は月島特別出張所による実績

地域盆おどり大会助成件数（晴海地区）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
助成件数（件）	0	15	18

※ 令和5年度は「住吉神社大祭（3年に1回開催）」開催年度
※ 晴海特別出張所は令和6年4月15日開設のため、令和5年度は月島特別出張所による実績

5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・町会・自治会が主体となって行う独自イベントの開催を促進するため、経費の一部を助成している。 ・地域手づくりイベント推進助成は、63.2%の団体が利用しており、助成件数は令和6年度から7件増加した。 ・地域盆おどり大会助成は、初開催の自治会も含め、晴海地区の全団体（18町会・自治会）で利用され、盆おどり大会が開催された。 ・近年の物価高騰により、町会・自治会がイベント、盆おどり大会を開催する場合の経済的負担が増加していることを踏まえ、当該経済的負担を軽減しイベント、盆おどり大会の開催の促進を図るため、助成金の限度額を20%増額した。
	課題	・新たに住民となった方が地域で触れ合い、交流するきっかけをつくるとともに、地域への愛着心や連帯感、ふるさと意識の醸成を図っていく必要がある。 ・地域手づくりイベント推進助成における地域連携加算利用のさらなる促進を図る必要がある。 ・地域手づくりイベント推進助成、地域盆おどり大会助成において、地域の自治活動の促進をさらに推進するため、将来における地域の自治活動を担う子どもを対象として、地域の自治活動に慣れ親しむ機会の拡大および創出を図る必要がある。

② 今後の方向性	・町会・自治会が自主的に運営する地域独自のイベントや盆おどりの開催を継続的に支援することで、住民同士の連帯感を強めるとともに、新たに住民となった方の地域との交流や地域活動への参加の機会を創出し、地域全体の活性化につなげていく。 ・各団体に本助成制度の周知や申請に対する相談等をより丁寧に行い、活用を促進していく。 ・地域手づくりイベント推進助成における地域連携加算について、引き続き周知を行い利用を促進していく。 ・地域手づくりイベント推進助成、地域盆おどり大会助成において、令和8年度から子ども参加促進加算を加えることにより、子どもが地域活動に参加・体験できる機会の拡大・創出を図る。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 | LPJ02 | LPJ03 | **LPJ04**

1 事業概要

事業名	【148】地域文化活動の推進事業	部課名	区民部文化・生涯学習課
事業目的	・区民が文化に触れる機会や文化を発信していく場を提供するとともに、区民が誇れる個性豊かな文化が育つ環境の整備を図る。		
事業内容	・区内の名所・旧跡、画廊・美術館等の文化資源を活用し、まち全体をミュージアムと捉えて本区の魅力を発見・再認識するためのイベント「まるごとミュージアム」を開催する。 ・地域住民自らが文化資源を展示・公開する「まちかど展示館」の運営を支援する。 ・東京国際合唱コンクールの開催を支援し、区民が世界水準の合唱文化に触れる機会を提供する。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策：9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち 施策：9-2 豊かな心を育む文化活動の振興	SDGsとの関連	

2 財務情報

（単位：円）

① 行政コスト計算書（内訳等）	勘定科目	令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	17,069,666	19,113,362	2,043,696
	物件費	1,578,157	1,714,968	136,811
	維持補修費	0	0	0
	扶助費	0	0	0
	補助費等	16,863,997	18,275,722	1,411,725
	投資的経費	0	0	0
	減価償却費	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,338,042	2,853,873	515,831
	その他	0	0	0
	小計	37,849,862	41,957,925	4,108,063
特別費用		0	0	0
特別収入		0	0	0
特別収支差額		0	0	0

勘定科目	令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入：地方区税	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0
国庫支出金	0	0	0
都支出金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0
その他	296,000	25,200	△270,800
小計	296,000	25,200	△270,800
行政収支差額	△37,553,862	△41,932,725	△4,378,863
金融収支差額	0	0	0
通常収支差額	△37,553,862	△41,932,725	△4,378,863
当期収支差額	△37,553,862	△41,932,725	△4,378,863
一般財源充当調整	37,806,936	41,493,947	3,687,011
再計(一般財源調整後)	253,074	△438,778	△691,852

勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・まちかど展示館運営協議会補助金 12,467,022円 ・東京国際合唱コンクール負担金 3,300,000円 ・まちかど展示館に係る施設管理運営費助成金 2,276,000円
主な増減理由	・まちかど展示館の季刊誌およびパンフレットの印刷部数増等による協議会補助金増 1,301,425円

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・東京国際合唱コンクール開催による東京国際合唱祭およびまちかどコンサート会場等使用料 854,940円 ・東京国際合唱コンクール記念品購入 559,168円
主な増減理由	・東京国際合唱コンクール開催に伴う区民招待チラシを小学校に全校配付したことによる委託料皆増 136,730円

勘定科目	その他（行政収入）
決算額の主な内訳	・ふるさと納税による分野指定寄附金 25,200円
主な増減理由	・ふるさと納税による分野指定寄附金減 △270,800円

勘定科目	
決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—

（単位：円）

② 貸借対照表（内訳等）	勘定科目	令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	0	0	0
	建物	0	0	0
	工作物	0	0	0
	重要物品	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0
	その他	0	0	0
資産の部 合計		0	0	0

勘定科目	令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債：還付未済金	0	0	0
特別区債	0	0	0
賞与引当金	1,261,991	1,488,674	226,683
その他	0	0	0
固定負債：特別区債	0	0	0
退職給与引当金	10,896,963	12,080,746	1,183,783
その他	0	0	0
負債の部合計	12,158,954	13,569,420	1,410,466
正味財産の部合計	△12,158,954	△13,569,420	△1,410,466
負債・正味財産の部合計	0	0	0

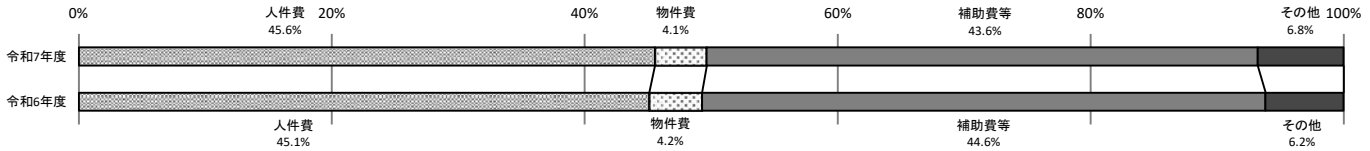
勘定科目			
決算額の主な内訳	—	—	—
主な増減理由	—	—	—

3 実施内容

①	地域文化活動の推進	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

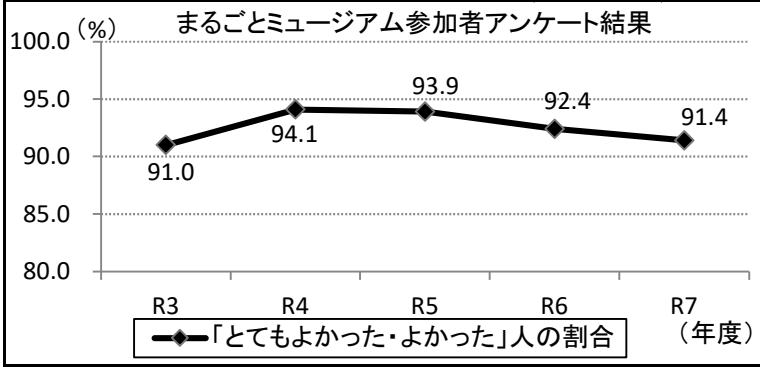
4 関連データ

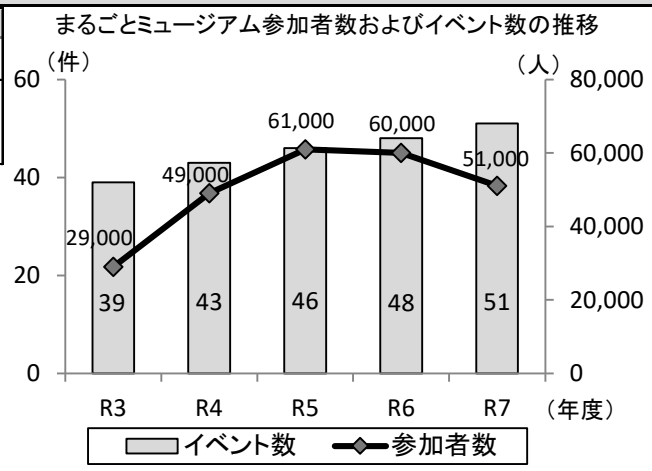
① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

項目	令和6年度	令和7年度
まちかど展示館認定件数・助成件数(件・件)	29・22	29・23
東京国際合唱コンクール延観覧者数(人) (入場チケット・ライブ配信チケット購入者数等)	2,983	3,518





※R3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、例年より規模を縮小して開催したことによりイベント数および参加者数減

5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・まるごとミュージアムの参加者数は、午前中の雨の影響により令和6年度から減少したが、イベントはほぼ予定どおり実施した。参加者からはおおむね良い評価を得ており、区民が文化に触れる機会を提供することができている。また、周遊船においては、例年使用している船の改修に伴う代替船の使用により当該船の定員は減ったが、運航スケジュールを調整し、便数を増やすことで令和6年度と同規模で運航するとともに、区内を循環する無料貸切バスにおいては、計画どおりの台数および時間で運行し、参加者の利便性の確保を図った。 ・「まちかど展示館」事業は、夏休みスタンプラリー＆クイズや親子体験バスツアーを実施するとともに、銀座三越において、まちかど展示館集合イベントを開催し、老舗の逸品等の展示や実演・体験を行うほか、職人による実演コーナーを設置し、実際の作業工程の一部を見ながら直接職人と話ができるなど地域の文化資源に触れる機会をつくり、地域への誇りや愛着心を育むことができている。また、年2回発刊している季刊誌においては、特集ページのテーマの見直しや展示館の紹介ページでは、職人や製作工程、歴史を取り上げてこれまでよりも深く掘り下げた記事を掲載するなどより多くの方に手に取ってもらえるよう工夫するとともに、ホームページに掲載している「おでかけマップ」の二次元コードを掲載し、展示館を巡りやすいコースを提示することで回遊性を高めた。 ・東京国際合唱コンクールを共催し、観覧者から高い評価を得ている。 ・東京国際合唱コンクールに参加する合唱団が区内の商業施設において、無料で合唱を披露するまちかどコンサートを開催し、コンクールのPRを行うとともに、区民にハイレベルな合唱を楽しんでもらうため、各小学校や合唱関連のサークル団体にチラシを配布するなどコンクールへの区民招待の周知を行った。募集定員より多くの応募があったため、主催者と協議し、定員を可能な範囲内で最大限拡大してより多くの方に鑑賞してもらった。
	課題	・まるごとミュージアムは、多くの参加者が本区の豊かな文化に触れ、楽しむことができるよう、継続的に事業内容の充実を図るとともに、新規事業者を確保していく必要がある。 ・「まちかど展示館」事業は、より多くの区民や観光客等に知ってもらうため、まちかど展示館運営協議会を中心に各施設の周知方法を検討し、季刊誌、ウェブサイト、SNSを活用した情報発信を行っていく必要がある。 ・東京国際合唱コンクールの認知を高めるため、より多くの区民が合唱に触れる機会を提供していく必要がある。

② 今後の方向性	・まるごとミュージアムは、文化イベント数の拡充や内容の充実を図り、参加者の満足度向上につなげていく。 ・「まちかど展示館」事業については、「まちかど展示館運営協議会」での意見を踏まえ、集合イベントへの出展および実演・体験コーナーの実施を促すとともに、通年で実施しているスタンプラリーや子ども向けのスタンプラリー、施設見学会等を引き続き実施する。また、SNSを活用した情報発信については、より多くの方にアクセスしてもらえるよう検討しながら進めていく。 ・東京国際合唱コンクールは、引き続きコンクールにおける区民招待者枠の確保に努めるとともに、関連事業であるまちかどコンサートにより多くの海外団体に参加してもらい、区民に気軽にハイレベルな合唱を楽しめる機会を提供していく。 ・中央区まるごとミュージアム2026において、区制施行80周年記念としてスタンプラリーの景品を追加し、通常時よりも当選枠を拡大する。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 **LPJ02** LPJ03 **LPJ04**

1 事業概要

事業名	【149】郷土資料館管理事業	部課名	教育委員会事務局図書文化財課
事業目的	・中央区の文化財や区内の遺跡から出土した遺物等を紹介する常設展示等を管理運営し、広く区民等に周知を図る。 ・新たに登録・指定した区民文化財を紹介する企画展等やテーマに沿った特別展を開催し、区の魅力あふれる歴史や文化を伝える。		
事業内容	・郷土資料館の管理・運営を行う。		
関連する個別計画	中央区教育振興基本計画2025		
基本計画	基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち 施策 9-2 豊かな心を育む文化活動の振興	SDGsとの関連	

2 財務情報

（単位：円）

① 行政コスト計算書

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	31,947,455	46,308,340	14,360,885
	物件費	46,200,972	56,718,561	10,517,589
	維持補修費	0	67,100	67,100
	扶助費	0	0	0
	補助費等	174,500	349,500	175,000
	投資的経費	0	0	0
	減価償却費	44,896,791	44,896,790	△1
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,224,689	1,985,304	760,615
	その他	0	0	0
	小計	124,444,407	150,325,595	25,881,188
特別費用		0	0	0
特別収入		0	0	0
特別収支差額		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入	地方区税	0	0	0
	特別区財政調整交付金	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支出金	169,776	288,562	118,786
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	0	0	0
	その他	0	0	0
	小計	169,776	288,562	118,786
行政収支差額		△124,274,631	△150,037,033	△25,762,402
金融収支差額		0	0	0
通常収支差額		△124,274,631	△150,037,033	△25,762,402
当期収支差額		△124,274,631	△150,037,033	△25,762,402
一般財源充当調整		79,510,403	104,835,005	25,324,602
再計(一般財源調整後)		△44,764,228	△45,202,028	△437,800

（内訳等）

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・郷土資料館の収蔵品保管委託 12,042,096円 ・郷土資料館運営業務委託 10,001,194円 ・Digital浮世絵展展示業務委託 4,683,745円
主な増減理由	・Digital浮世絵展展示業務委託の皆増 4,683,745円 ・郷土資料館運営業務委託実績増 1,794,974円 ・郷土資料館デジタルコンテンツ修理等の皆増 899,800円

勘定科目	人件費
決算額の主な内訳	・会計年度任用職員報酬等 33,771,705円
主な増減理由	・会計年度任用職員の2名増員に伴う報酬増 10,592,361円

勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・講演会講師謝礼 245,000円 ・郷土資料館サポーター謝礼 54,000円 ・図録執筆等謝礼 50,500円
主な増減理由	・講演会開催回数増に伴う謝礼実績増 140,000円

勘定科目	都支出金
決算額の主な内訳	・事務処理特例交付金 288,562円
主な増減理由	・事務処理特例交付金の実績増 118,786円

（単位：円）

② 貸借対照表

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	0	0	0
	建物	1,021,251,475	980,139,119	△41,112,356
	工作物	1,418,800	1,178,791	△240,009
	重要物品	39,633,052	36,088,627	△3,544,425
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0
	その他	0	0	0
資産の部 合計		1,062,303,327	1,017,406,537	△44,896,790

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債	還付未済金	0	0	0
	特別区債	0	0	0
	賞与引当金	661,043	1,035,600	374,557
	その他	0	0	0
固定負債	特別区債	0	0	0
	退職給与引当金	5,707,933	8,403,997	2,696,064
	その他	0	0	0
負債の部合計		6,368,976	9,439,597	3,070,621
正味財産の部合計		1,055,934,351	1,007,966,940	△47,967,411
負債・正味財産の部合計		1,062,303,327	1,017,406,537	△44,896,790

（内訳等）

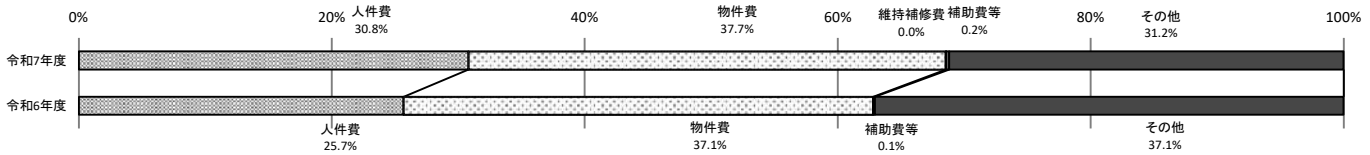
勘定科目	建物	重要物品	工作物
決算額の主な内訳	・郷土資料館等 980,139,119円	・記念物（9個） 32,200,000円 ・コンピュータ（2台） 3,200,225円	・あかつき公園内シーボルト胸像 761,540円 ・江戸港史跡碑 341,250円 ・海軍経理学校記念碑 76,000円
主な増減理由	・減価償却による減 △41,112,356円	・減価償却による減 △3,544,425円	・減価償却による減 △240,009円

3 実施内容

①	郷土資料館の管理運営	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

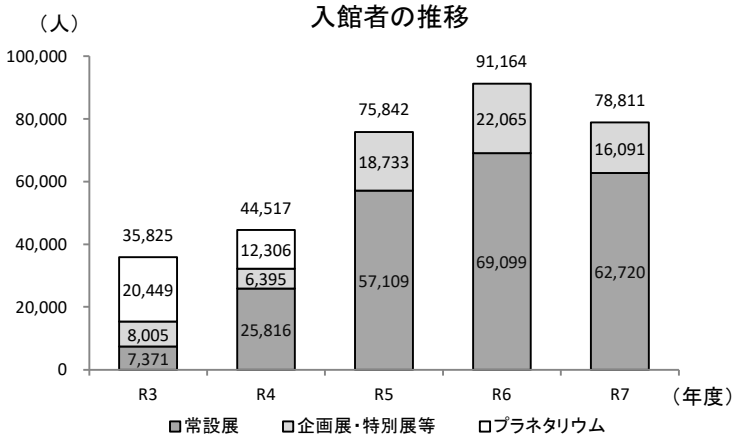
4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

入館者の推移



※休館期間：令和3年4月25日～5月11日、令和7年8月11日～24日
プラネタリウムは、令和4年度で終了

企画展・特別展等

内容	期間	入館者数
新規国登録有形文化財パネル展 ～旧飯田家住宅・旧宮脇ビル・銀座大野屋～	令和7年7月15日～ 令和7年9月8日	2,286人
江戸の出版文化と日本橋 －蔦屋重三郎とその周辺－	令和7年9月25日～ 令和7年11月9日	4,511人
本の森美術館名画展2026 明治座の絵看板 ～新国劇と剣劇～	令和8年1月29日～ 令和8年3月8日	2,306人
「Digital × 浮世絵展」	令和7年11月21日～ 令和7年12月17日	5,851人
江戸の町名主 ～南伝馬町名主高野家のアーカイブズ	令和7年12月16日～ 令和8年1月18日	1,137人

5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・「本の森ちゅうおう」内の京橋図書館の集客力をいかしつつ、デジタルコンテンツを中心とした常設展示や企画展示室での企画展・特別展3回を実施するとともに、他機関等と連携したパネル展2回を開催した。 ・京橋図書館でも郷土資料館展示に合わせた特集展示を行うなど、図書館事業との相互連携を図ることで、図書館利用者に対して、区の歴史や文化、文化財保護思想に関する関心を喚起することができた。 ・令和5年度から開催している企画展「本の森美術館名画展」では、区内有数の劇場である明治座の協力・連携のもと、所蔵絵画を借用するとともに図書館の関連図書を会場に配架した展示を実施した。
	課題	・本区に存在する豊富な文化遺産を有効に活用し、文化や歴史の魅力を多くの人に発信していくことが必要である。 ・郷土資料館と図書館との併設という「本の森ちゅうおう」のメリットをいかし、相互に連携しながら、区の歴史・文化への関心を高める効果的な展示・紹介を行っていく必要がある。

② 今後の方向性	・時流をとらえたテーマによる企画展・特別展の開催、常設展の展示内容の充実等、魅力ある展示を行うことで、区民等が直接文化財にふれる機会の充実を図るとともに、収蔵品アーカイブズにより、時間や場所を問わずより多くの文化財にふれる機会を提供することで、文化財の有効活用および文化財に対する理解の促進を図る。 ・「本の森ちゅうおう」内に整備された郷土資料館は、企画展・特別展の展覧会を通じ、江戸以来の豊富な歴史・文化資料である郷土資料や地域資料を融合した展示や関連書籍の配架を行うなど、効果的に情報を発信し、文化財のさらなる活用を図る。また、引き続き資料をデジタル化し、ICTを活用するなど、来館する多くの方々が本区の歴史・文化に触れ、興味を喚起されるような展示の検討をする。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 **LPJ02** LPJ03 **LPJ04**

1 事業概要

事業名	【150】文化財保護事業	部課名	教育委員会事務局図書文化財課
事業目的	・中央区の文化財を登録・指定し、地域の歴史や文化に対する啓発、文化財の保護の重要性に係る意識の高揚や文化財の次代への継承を図る。 ・文化財説明板の設置や中央区の歴史・文化に関連するテーマを設定して、区民等を対象とした文化財めぐりを春と秋に実施することで、区内の文化遺産に対する愛着や理解を深め、その保護・普及を図る。		
事業内容	・中央区の文化財の保護を行う。		
関連する個別計画	中央区教育振興基本計画2025		
基本計画	基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち 施策 9-2 豊かな心を育む文化活動の振興	SDGsとの関連	

2 財務情報

（単位：円）

① 行政コスト計算書（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	19,529,425	31,020,049	11,490,624
	物件費	4,571,849	6,791,892	2,220,043
	維持補修費	550,000	2,073,500	1,523,500
	扶助費	0	0	0
	補助費等	2,989,610	2,787,300	△202,310
	投資的経費	0	0	0
	減価償却費	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,672,049	4,839,177	2,167,128
	その他	0	0	0
	小計	30,312,933	47,511,918	17,198,985
特別費用		0	0	0
特別収入		0	0	0
特別収支差額		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入	地方区税	0	0	0
	特別区財政調整交付金	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支出金	0	0	0
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	0	0	0
	その他	67,400	89,300	21,900
	小計	67,400	89,300	21,900
行政収支差額		△30,245,533	△47,422,618	△17,177,085
金融収支差額		0	0	0
通常収支差額		△30,245,533	△47,422,618	△17,177,085
当期収支差額		△30,245,533	△47,422,618	△17,177,085
一般財源充当調整		30,534,760	46,678,601	16,143,841
再計(一般財源調整後)		289,227	△744,017	△1,033,244

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・マイクロフィルム撮影等委託 1,410,200円 ・埋蔵文化財選別・運搬業務委託 1,375,000円 ・文化財マップの印刷 795,300円
主な増減理由	・埋蔵文化財選別・運搬業務委託の皆増 1,375,000円 ・文化財マップの印刷の皆増 795,300円 ・埋文収蔵庫内コンテナマップ製作委託の皆減 △499,840円

勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・中央区民文化財保護奨励金 1,380,000円 ・郷土資料館作業補助員謝礼 669,300円 ・文化財調査協力員謝礼 529,000円
主な増減理由	・文化財調査協力員謝礼実績減 △299,000円 ・特別展監修謝礼の皆増 79,000円

勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	・「耕書堂跡」紹介掲示板の設置 1,276,000円 ・「佃島渡船場跡」石碑等の移設 797,500円
主な増減理由	・「耕書堂跡」紹介掲示板の設置の皆増 1,276,000円 ・「佃島渡船場跡」石碑等の移設の皆増 797,500円 ・文化財説明板の撤去・交換の皆減 △550,000円

勘定科目	その他（行政収入）
決算額の主な内訳	・有償刊行物販売 89,300円
主な増減理由	・有償刊行物販売実績増 21,900円

（単位：円）

② 貸借対照表（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	0	0	0
	建物	0	0	0
	工作物	0	0	0
	重要物品	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0
	その他	0	0	0
資産の部 合計		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債	還付未済金	0	0	0
	特別区債	0	0	0
	賞与引当金	1,442,276	2,524,274	1,081,998
	その他	0	0	0
固定負債	特別区債	0	0	0
	退職給与引当金	12,453,672	20,484,743	8,031,071
	その他	0	0	0
負債の部合計		13,895,948	23,009,017	9,113,069
正味財産の部合計		△13,895,948	△23,009,017	△9,113,069
負債・正味財産の部合計		0	0	0

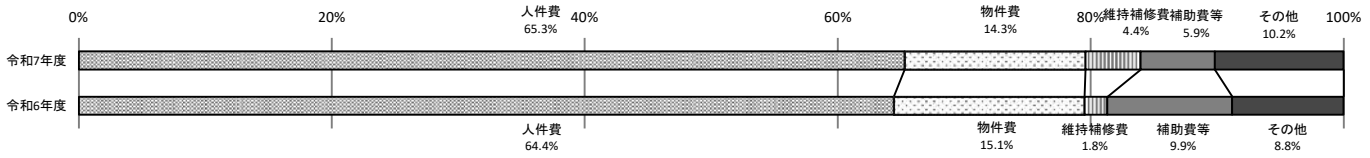
勘定科目			
決算額の主な内訳	—	—	—
主な増減理由	—	—	—

3 実施内容

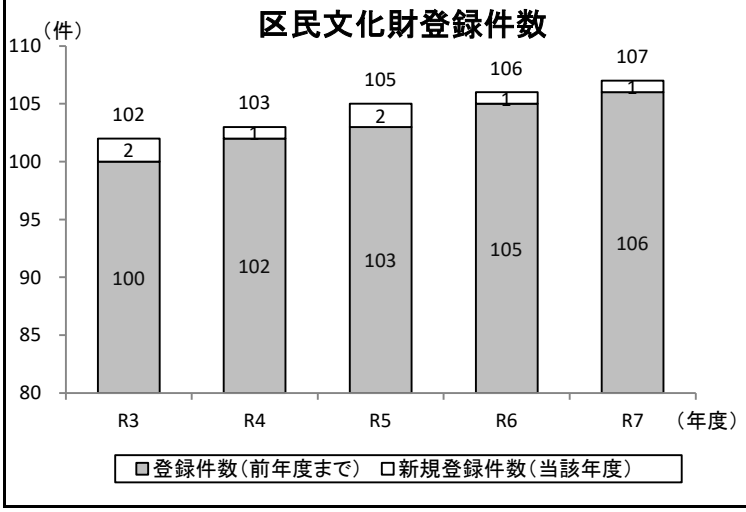
①	文化財の保護	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

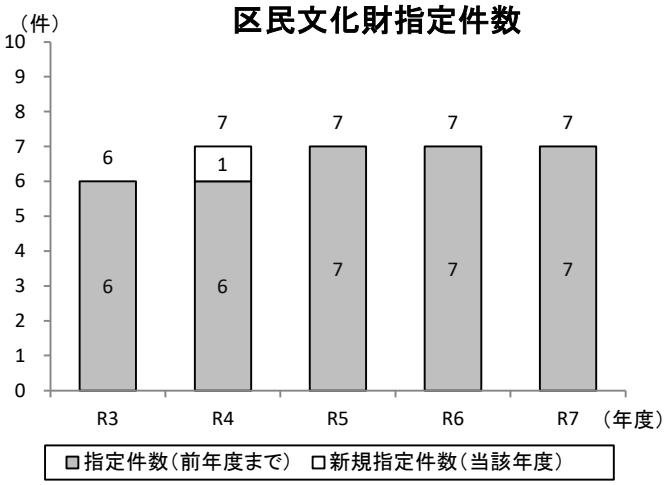
4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)





5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・中央区民文化財を新たに1件登録し、広報紙や区ホームページ等で広く周知し、地域の文化や歴史に対する啓発、文化財の保護の重要性に係る意識の高揚や文化財の次代への継承に取り組んだ。 ・文化財保護意識の普及・啓発を図るため、文化財説明板から新たにシティプロモーションの要素を加えた紹介掲示板への更新に協力することで、より多くの人の文化財への興味を喚起することができた。 ・文化財めぐりについては、令和7年度に2回実施し、地域の文化や歴史に対する啓発ができた。
	課題	・歴史的建造物については、老朽化に伴う維持管理費用の負担増等の理由により、その価値を棄損する恐れがある。歴史的財産の保護に向け、区民の文化財保護意識のさらなる普及・啓発を図るため、文化財の適切な管理と積極的な紹介をしていく必要がある。

② 今後の方向性	・有形・無形の文化遺産について文化財調査指導員による調査を進め、重要なものは所有者への働きかけや助言をするなど区民文化財として登録・指定を促し、適切に管理するとともに、常設展示や広報紙、区ホームページ等で幅広く公開していくことで、文化財保護の意識を高める普及・啓発を図る。 ・文化財説明板の設置においては、外国人も含め多くの方にわかりやすいよう、引き続き図版や英語表記を適宜追加する。 ・地域の文化や歴史を普及・啓発していくため、より多くの人が参加できるような文化財めぐりの実施方法等を検討する。 ・歴史的に価値がある建築物をまとめた「近代建築物100選」の映像資料の活用や、文化財めぐり等の実施により、本区の文化や歴史の魅力を積極的に発信し、観光振興等にも寄与できるよう検討する。 ・区民が撮影、記録した区の日常風景等を収集しデジタルによるアーカイブ化を推進するとともに、文化財等を次代へ継承する意義を啓発していく。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 | LPJ02 | LPJ03 | LPJ04

1 事業概要

事業名	【151】地域間交流の推進事業	部課名	区民部地域振興課
事業目的	・各都市との交流を通じて、異なる歴史や風土を持つ都市の個性を尊重し、学び合いながら、それぞれの都市の発展につなげていく。		
事業内容	・友好都市等、さまざまな都市との交流事業を実施している。なかでも友好都市である山形県東根市とは、本区の児童が風土や文化を異にする都市との交流により互いの理解・友情を深め、豊かな心を育むことを目的に、中央区・東根市児童交歓会を実施している。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち 施策 9-3 国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり	SDGsとの関連	10 11 16 17

2 財務情報

（単位：円）

①行政コスト計算書（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	6,273,565	8,836,463	2,562,898
	物件費	2,030,848	3,037,010	1,006,162
	維持補修費	0	0	0
	扶助費	0	0	0
	補助費等	100,000	100,000	0
	投資的経費	0	0	0
	減価償却費	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	890,682	1,364,897	474,215
	その他	0	0	0
	小計	9,295,095	13,338,370	4,043,275
特別費用		0	0	0
特別収入		0	0	0
特別収支差額		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入	地方区税	0	0	0
	特別区財政調整交付金	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支出金	0	0	0
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	0	0	0
	その他	590,000	380,000	△210,000
	小計	590,000	380,000	△210,000
行政収支差額		△8,705,095	△12,958,370	△4,253,275
金融収支差額		0	0	0
通常収支差額		△8,705,095	△12,958,370	△4,253,275
当期収支差額		△8,705,095	△12,958,370	△4,253,275
一般財源充当調整		8,801,505	12,748,519	3,947,014
再計(一般財源調整後)		96,410	△209,851	△306,261

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・児童交歓会参加者宿泊料等 2,351,826円 ・交流都市への訪問等旅費 274,882円 ・さくらんぼマラソン大会Tシャツ・賞品 232,462円
主な増減理由	・児童交歓会中央区受入に伴う体験料等の増 1,171,510円 ・児童交歓会中央区受入に伴う食事代等の増 541,698円 ・児童交歓会中央区受入に伴う参加者交通費等の減 △700,537円

勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・本栖湖神湖祭花火大会後援協賛金 100,000円
主な増減理由	・増減なし

勘定科目	その他（行政収入）
決算額の主な内訳	・児童交歓会参加者負担金 380,000円
主な増減理由	・児童交歓会中央区受入に伴う参加者負担金の減 △210,000円

勘定科目	
決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—

（単位：円）

②貸借対照表（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	0	0	0
	建物	0	0	0
	工作物	0	0	0
	重要物品	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0
	その他	0	0	0
資産の部 合計		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債	還付未済金	0	0	0
	特別区債	0	0	0
	賞与引当金	480,758	711,975	231,217
	その他	0	0	0
固定負債	特別区債	0	0	0
	退職給与引当金	4,151,224	5,777,748	1,626,524
	その他	0	0	0
負債の部合計		4,631,982	6,489,723	1,857,741
正味財産の部合計		△4,631,982	△6,489,723	△1,857,741
負債・正味財産の部合計		0	0	0

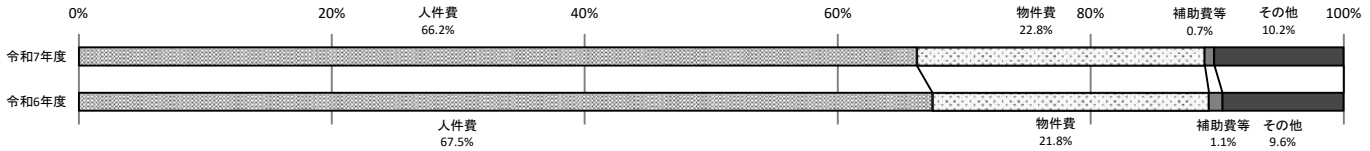
勘定科目			
決算額の主な内訳	—	—	—
主な増減理由	—	—	—

3 実施内容

①	都市間交流の推進	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

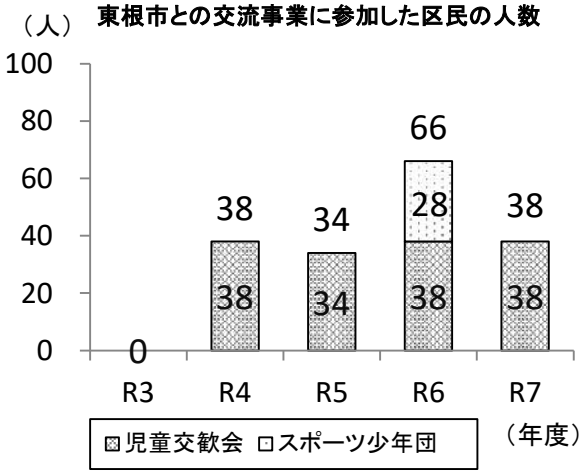
項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
さくらんぼマラソン大会参加者数(人) (中央区オリジナルTシャツ申込者数(※1))	3,942(0) (オンライン開催)	6,195(32)	8,426(50)	9,550(53)
児童交歓会参加者数(人・組)	38(18)	34(16)	38(18)	38(18)
児童交歓会応募者数(人・組)(※2)	119(56)	-	86(42)	-
東根市とのスポーツ少年団交流参加者数(人)	0	0	28	0(※4)
さくらんぼ種飛ばし大会参加者数(人)	(※3)	(※3)	610	600

※1 対象は区内在住・在学・在勤者

※2 隔年で新規の募集を実施

※3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

※4 協議により中止



※令和3年度は、※3のため実施なし

5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・友好都市である東根市とは、例年実施しているさくらんぼ品評会の後援、区内幼稚園に対するさくらんぼ・りんごの配布に加え、晴海地域交流センター「はるみらい」でのさくらんぼ種飛ばし大会の開催協力、さくらんぼマラソン大会やひがしね祭への参加等、イベントを伴う交流事業を通じて、一層関係を深めている。 ・児童交歓会は、交流を通じて、両都市の文化の違いや参加者間の相互理解を深めることができた。本事業実施後も、参加者同士では、手紙やSNSで連絡を取り合うなど、区民・市民間で交流が進んでいる。 ・令和8年度実施予定の中央区・東根市友好都市提携35周年記念事業(ひがしね祭への訪問、中央区大江戸まつり盆おどり大会および中央区晴海まつりへの受入)に向けて、各種関係団体との調整を行った。
	課題	・友好・交流都市との良好な関係の継続・強化を図り、区民・市民間の相互理解を促進していくことが求められている。 ・令和8年度は、東根市との友好都市提携35周年の節目となることから、区民・市民間の相互理解を促進することができる機会であるため、幅広く周知を図っていく必要がある。

② 今後の方向性	・今後も引き続き、友好都市・交流都市との連携を密に取り交流を深め、それぞれの都市・地域の発展・成長を目指すとともに、区民・市民間の交流の輪を広げていく。 ・児童交歓会については、参加者の意見を取り入れながら、参加者の思い出に残るよう内容を企画していく。また、本区の参加者同士の交流を図る事前交流会のほか、本区と東根市の参加者が事業終了後の交流を続けられるように、コミュニケーションを活性化させるための働きかけを引き続き行っていく。 ・中央区・東根市友好都市提携35周年を契機として、東根市との連携・調整を密に取りながら各事業を通じたPRを行うことで、東根市との友好関係をさらに深めていく。 ・令和8年度実施予定の中央区・東根市友好都市提携35周年記念事業(ひがしね祭への訪問、中央区大江戸まつり盆おどり大会および中央区晴海まつりへの受入)に向けて、各種関係団体との連携・調整を密に取っていく。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 | LPJ02 | LPJ03 | LPJ04

1 事業概要

事業名	【152】平和推進事業	部課名	区民部地域振興課
事業目的	・区民一人一人が戦争の悲惨さや平和の大切さ、尊さを理解し、日ごろから平和について考えるきっかけとなる場を提供することで、平和意識の普及、啓発を図る。		
事業内容	・中央区平和都市宣言（昭和63年3月15日告示）を記念して開始した「平和の都市の楽しい集い」の開催、当時を物語る写真や戦災資料を展示する「平和展」や「小・中学校巡回平和展」、戦災に関する写真や資料を公開する「平和祈念バーチャルミュージアム」等の各種平和事業を実施する。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち 施策 9-3 国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり	SDGsとの関連	

2 財務情報

（単位：円）

① 行政コスト計算書（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	9,410,346	12,049,723	2,639,377
	物件費	14,406,425	15,598,128	1,191,703
	維持補修費	0	0	0
	扶助費	0	0	0
	補助費等	242,859	243,318	459
	投資的経費	0	0	0
	減価償却費	2,027,257	2,027,257	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,336,025	1,861,223	525,198
	その他	0	0	0
	小計	27,422,912	31,779,649	4,356,737
特別費用		0	0	0
特別収入		0	0	0
特別収支差額		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入	地方区税	0	0	0
	特別区財政調整交付金	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支出金	0	0	0
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	0	0	0
	その他	0	0	0
	小計	0	0	0
行政収支差額		△27,422,912	△31,779,649	△4,356,737
金融収支差額		0	0	0
通常収支差額		△27,422,912	△31,779,649	△4,356,737
当期収支差額		△27,422,912	△31,779,649	△4,356,737
一般財源充当調整		25,540,268	29,466,231	3,925,963
再計(一般財源調整後)		△1,882,644	△2,313,418	△430,774

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・平和の都市の楽しい集い実施委託 9,900,000円 ・中央区立小・中学校巡回平和展実施委託 1,969,000円 ・平和展実施委託 1,313,400円
主な増減理由	・平和の都市の楽しい集い実施委託料の増 561,000円 ・平和事業実施に伴う写真データ借用料の皆増 264,000円 ・平和展実施委託料の増 110,220円
勘定科目	
決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—

勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・平和祈念バーチャルミュージアム企画展示室の企画・原稿執筆等に伴う謝礼 225,000円 ・平和の鐘電気料金分担金 18,318円
主な増減理由	・平和の鐘電気料金分担金の実績増 459円
勘定科目	
決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—

（単位：円）

② 貸借対照表（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	0	0	0
	建物	0	0	0
	工作物	31,380,228	29,352,971	△2,027,257
	重要物品	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0
	その他	0	0	0
資産の部 合計		31,380,228	29,352,971	△2,027,257

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債	還付未済金	0	0	0
	特別区債	0	0	0
	賞与引当金	721,138	970,875	249,737
	その他	0	0	0
固定負債	特別区債	0	0	0
	退職給与引当金	6,226,836	7,878,747	1,651,911
	その他	0	0	0
負債の部合計		6,947,974	8,849,622	1,901,648
正味財産の部合計		24,432,254	20,503,349	△3,928,905
負債・正味財産の部合計		31,380,228	29,352,971	△2,027,257

勘定科目	工作物		
決算額の主な内訳	・蛎殻町公園平和シンボル 16,480,000円 ・平和の鐘 10,017,800円 ・あかつき公園内平和都市宣言碑 2,441,100円	—	—
主な増減理由	・蛎殻町公園平和シンボル減価償却による減 △1,030,000円 ・平和の鐘減価償却による減 △770,600円 ・あかつき公園内平和都市宣言碑減価償却による減 △162,740円	—	—

3 実施内容

①	平和事業の推進	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

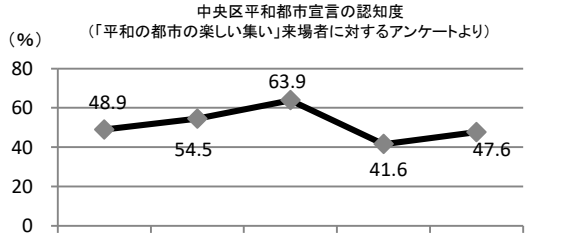
4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)

② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

項目	令和6年度	令和7年度
平和の都市の楽しい集い来場者数(人)	836	847
平和祈念バーチャルミュージアム総アクセス数(件)(※)	377,997	199,500
平和資料(写真)保存数累計(枚)	359	362
平和資料(物品)保存数累計(点)	319	325

※バーチャルミュージアム内の全ページのアクセス数の合計



	R3	R4	R5	R6	R7
開催曜日	火	水	金	土	日
50歳代以上の参加者割合	65.3%	90.2%	94.3%	58.7%	75.6%

〇各事業のアンケートの意見(抜粋)

【平和の都市の楽しい集い】大人から子供まですべての方が楽しめる内容でした。(20歳代)戦いのある世界が平和になるよう、音楽を通して願うことができた。(50歳代)【平和展】戦前・戦中・戦後の日本の中心地の様子を知ることができた。貴重な展示であると思います。戦後90年、100年にもこのような展示が続いていることを願います。(40歳代)【巡回平和展】今はこんなに平和なのに少しまえはせんそうをしていたことをはじめてしった。(小3)昔の人のがんばりのおかげで今平和に生きられてよかった。小学校のときからみてきた展示だったが、忘れていることもあったので思い出すことができてよかった。(中学生)

5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・当時を物語る写真や戦災資料を公開展示する「平和展」を開催するとともに、区立の小・中学校において「巡回平和展」を実施し、社会科の授業で活用してもらうこと等により、平和について考える契機づくりに寄与している。 ・令和7年度は戦後80年の節目であったことから、通常展示の開催時期を例年の3月から、「終戦の日」がある8月へと変更するとともに、「本の森ちゅうおう」にて戦後80年平和祈念展示を行い、さらなる平和意識の普及・啓発へとつなげた。 ・「平和の都市の楽しい集い」を実施することや、平和祈念バーチャルミュージアムにおいて新しい企画展示を追加し内容を充実させることで、平和意識の普及・啓発を図ることができた。 ・令和7年度は、令和6年度に比べ、中央区平和都市宣言の認知度は向上した。
	課題	・戦争体験者の減少等により、悲惨な記憶を後世に伝えることがますます難しくなっている。 ・「平和の都市の楽しい集い」のアンケートにおいて、40歳代以下の参加が多い年度は、50歳代以上の参加が多い年度に比べて、中央区平和都市宣言の認知度が低く、世代間での認知度に差があるため、幅広く周知を行っていく必要がある。 ・区制施行80周年を契機として、区民の平和に対する関心を高め、同宣言の趣旨に基づき、平和の大切さを区民に訴える必要がある。

② 今後の方向性	・今後も平和に関する資料の収集・保存を進め、平和の大切さ、尊さを見つめ直す機会を提供し、平和に関する普及・啓発事業を継続的に展開していく。 ・「平和の都市の楽しい集い」の実施において、区制施行80周年を記念して内容の充実を図ることで、より幅広い年齢層の区民が参加でき、平和について考える契機となるものとしていく。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 | LPJ02 | LPJ03 | LPJ04

1 事業概要

事業名	【153】国際交流の推進事業	部課名	区民部文化・生涯学習課
事業目的	・姉妹都市との交流や異文化とのふれあいを通して、国際都市にふさわしい文化を育む。また、多様化・高度化する外国人区民のニーズや使用言語等の状況を踏まえ、外国人区民がいつでも必要な情報を入手できる、暮らしやすい環境づくりを推進する。		
事業内容	・姉妹都市であるオーストラリアのサザランド市と5年に1度、周年行事の一つとして代表団による訪問と受入れを行う。 ・外国人区民に向けた通訳・翻訳窓口を開設する。 ・生活便利帳「生活ガイドブック」を3年ごとに改訂し、発行する。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち 施策 9-3 国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり	SDGsとの関連	

2 財務情報

（単位：円）

①行政コスト計算書（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	4,877,047	6,648,127	1,771,080
	物件費	6,387,091	1,867,791	△4,519,300
	維持補修費	0	0	0
	扶助費	0	0	0
	補助費等	0	0	0
	投資的経費	0	0	0
	減価償却費	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	668,012	992,652	324,640
	その他	0	0	0
	小計	11,932,150	9,508,570	△2,423,580
特別費用		0	0	0
特別収入		0	0	0
特別収支差額		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入	地方区税	0	0	0
	特別区財政調整交付金	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支出金	0	0	0
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	0	0	0
	その他	0	0	0
	小計	0	0	0
行政収支差額		△11,932,150	△9,508,570	2,423,580
金融収支差額		0	0	0
通常収支差額		△11,932,150	△9,508,570	2,423,580
当期収支差額		△11,932,150	△9,508,570	2,423,580
一般財源充当調整		12,004,457	9,355,951	△2,648,506
再計(一般財源調整後)		72,307	△152,619	△224,926

勘定科目	物件費	勘定科目	
決算額の主な内訳	・通訳・翻訳に係る人材派遣 1,730,520円 ・外国人のための区内施設見学バスツアーに係るバス借り入れ費 88,000円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・外国人向け生活ガイドブック改訂による委託料皆減 △4,598,000円	主な増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

（単位：円）

②貸借対照表（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	0	0	0
	建物	0	0	0
	工作物	0	0	0
	重要物品	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0
	その他	0	0	0
資産の部 合計		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債	還付未済金	0	0	0
	特別区債	0	0	0
	賞与引当金	360,569	517,800	157,231
	その他	0	0	0
固定負債	特別区債	0	0	0
	退職給与引当金	3,113,418	4,201,998	1,088,580
	その他	0	0	0
負債の部合計		3,473,987	4,719,798	1,245,811
正味財産の部合計		△3,473,987	△4,719,798	△1,245,811
負債・正味財産の部合計		0	0	0

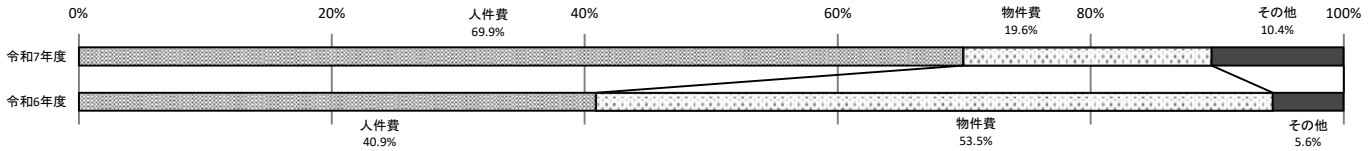
勘定科目			
決算額の主な内訳	—	—	—
主な増減理由	—	—	—

3 実施内容

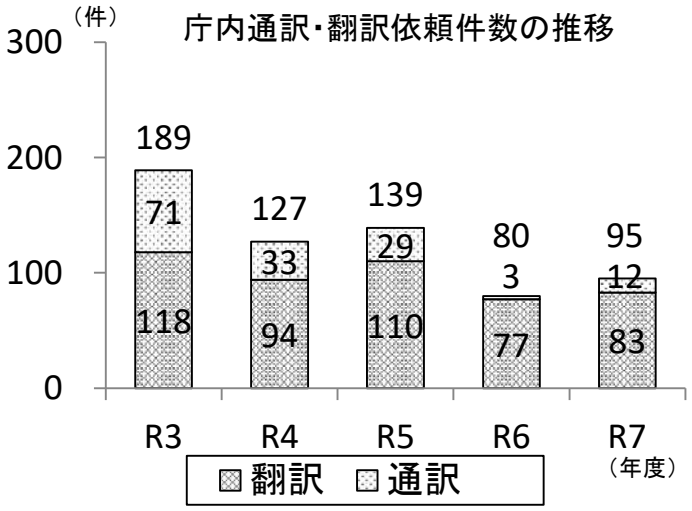
①	国際交流の推進	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

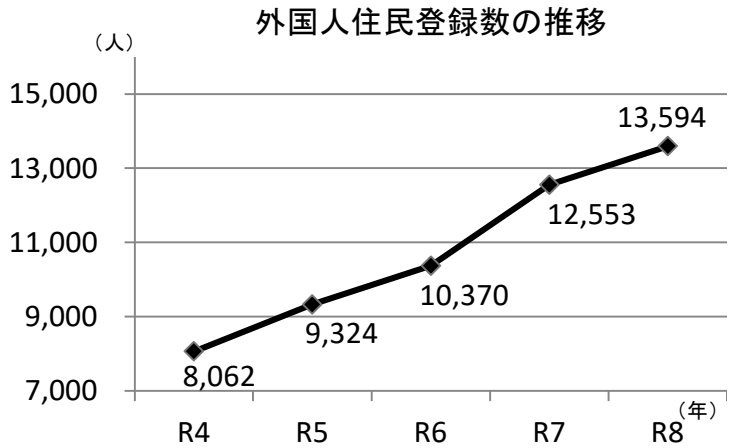
4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)





※各年1月1日現在

5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・通訳・翻訳窓口を週2回開設し、各所管からの依頼により、通訳担当が各所管と連絡を密に取りながら外国人区民に対する通知文や申請書等の翻訳を適宜行うとともに、必要に応じて外国人からの問合せ等に対し、窓口で対応する職員と通訳担当が連携しながら、案内を適切に行っている。 ・生活ガイドブックを転入時に配布し、本区の行政サービス等の案内を行う際に積極的な活用を促し、外国人が暮らしやすい環境づくりを進めている。 ・本区では、外国人区民が増加していることから、地域でともに生活する日本人と外国人の暮らしの中での課題や交流の現状等を把握し、今後の多文化共生施策の検討・推進のための基礎資料を得ることを目的として、中央区在住外国人意識調査(以下「意識調査」という。)を実施し、調査結果を全庁で共有した。
	課題	・外国語通訳サービスの開始により、通訳・翻訳窓口への通訳依頼件数は減少傾向にあるものの、問合せ内容によっては対面での対応が必要である。 ・意識調査から得た情報を分析し、本区における多文化共生社会の実現に向けた取組を検討する必要がある。

② 今後の方向性	・サザランド市との姉妹都市提携の周年行事については、35周年(令和8年)の節目の年であるため、記念事業を実施し、友好と親睦を深めていく。 ・通訳・翻訳窓口の運営については、タブレット端末の活用等では対応が難しいケースがあり、通訳者を介しての対応が必要になることから、今後も、通訳については、窓口で対応する職員と通訳担当が連携しながら案内を適切に行い、翻訳については、依頼者である職員と通訳担当が連絡を密に取りながら行政サービス等の情報をより正確に翻訳するよう努めていく。 ・意識調査において、生活習慣の違いによるトラブル項目が外国人、日本人とも上位に並んでいるが、トラブルと認識している割合には大きな隔たりがみられる。外国人と日本人が相互に理解し、安心して暮らしていくためには、本区での生活におけるルールやマナーの普及啓発を外国人に行っていく必要があることから、外国人区民のための生活マナーリーフレットを作成する。 ・意識調査から得た情報を分析し、本区における多文化共生社会の実現に向けた取組を検討し、施策に反映させていく。 ・外国人区民が日常生活に役立てられる行政サービスについて、東京都主催の会議や研修会に参加するなどさまざまな機会を捉えて把握に努めていく。

令和8年度（令和7年度分） 事業別行政評価シート

LPJ01 | LPJ02 | LPJ03 | LPJ04

1 事業概要

事業名	【154】「中央区文化・国際交流振興協会」助成事業	部課名	区民部文化・生涯学習課
事業目的	・本区で生活する人々が主体的に文化活動や国際交流を進め、人間性豊かで住みやすく、楽しく、誇れるまちづくりを推進する。		
事業内容	・中央区文化・国際交流振興協会（以下、「協会」という。）に対して、その円滑な事業運営を図るために助成を行う。		
関連する個別計画			
基本計画	基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち 施策 9-3 国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり	SDGsとの関連	10 11 16 17

2 財務情報

（単位：円）

①行政コスト計算書（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	9,754,094	11,634,221	1,880,127
	物件費	432,541	491,637	59,096
	維持補修費	0	0	0
	扶助費	0	0	0
	補助費等	113,620,556	122,716,517	9,095,961
	投資的経費	0	0	0
	減価償却費	519,551	519,551	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,336,025	1,737,140	401,115
	その他	0	0	0
	小計	125,662,767	137,099,066	11,436,299
特別費用		0	0	0
特別収入		0	0	0
特別収支差額		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
行政収入	地方区税	0	0	0
	特別区財政調整交付金	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	都支出金	0	0	0
	分担金及び負担金	0	0	0
	使用料及び手数料	0	0	0
	その他	0	0	0
	小計	0	0	0
行政収支差額		△125,662,767	△137,099,066	△11,436,299
金融収支差額		0	0	0
通常収支差額		△125,662,767	△137,099,066	△11,436,299
当期収支差額		△125,662,767	△137,099,066	△11,436,299
一般財源充当調整		125,287,829	136,312,433	11,024,604
再計(一般財源調整後)		△374,938	△786,633	△411,695

勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・協会助成金 122,716,517円
主な増減理由	・まるごとミュージアムの貸切バスおよび周遊船の借り入れ費増等による委託料相当分増 1,355,458円 ・古典芸能鑑賞会の記念事業による委託料等相当分の増 1,213,825円 ・給与システム導入等による事務費の増 408,212円
勘定科目	
決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・光熱水費および施設維持管理費 488,150円
主な増減理由	・施設維持管理費実績増 71,191円 ・光熱水費実績減 △11,198円
勘定科目	
決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—

（単位：円）

②貸借対照表（内訳等）

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0
	その他	0	0	0
固定資産	土地	0	0	0
	建物	0	0	0
	工作物	0	0	0
	重要物品	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0
	その他	0	0	0
資産の部 合計		0	0	0

勘定科目		令和6年度(A)	令和7年度(B)	増減(B-A)
流動負債	還付未済金	0	0	0
	特別区債	0	0	0
	賞与引当金	721,138	906,150	185,012
	その他	0	0	0
固定負債	特別区債	0	0	0
	退職給与引当金	6,226,836	7,353,497	1,126,661
	その他	0	0	0
負債の部合計		6,947,974	8,259,647	1,311,673
正味財産の部合計		△6,947,974	△8,259,647	△1,311,673
負債・正味財産の部合計		0	0	0

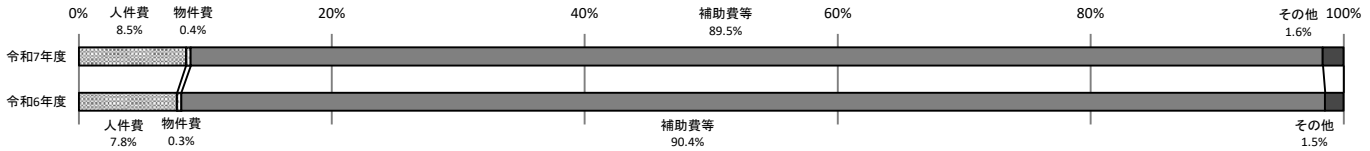
勘定科目			
決算額の主な内訳	—	—	—
主な増減理由	—	—	—

3 実施内容

①	「中央区文化・国際交流振興協会」助成	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

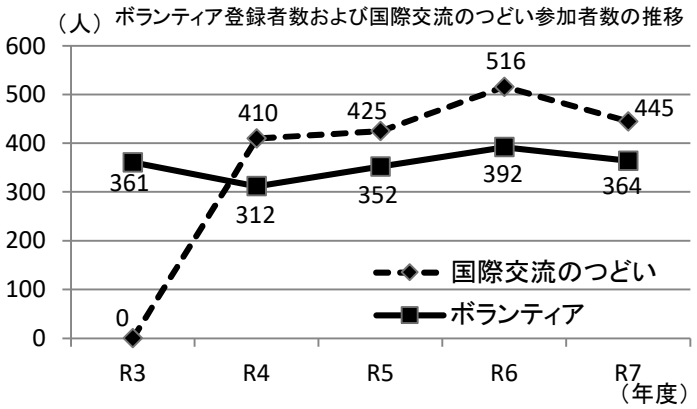
4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)

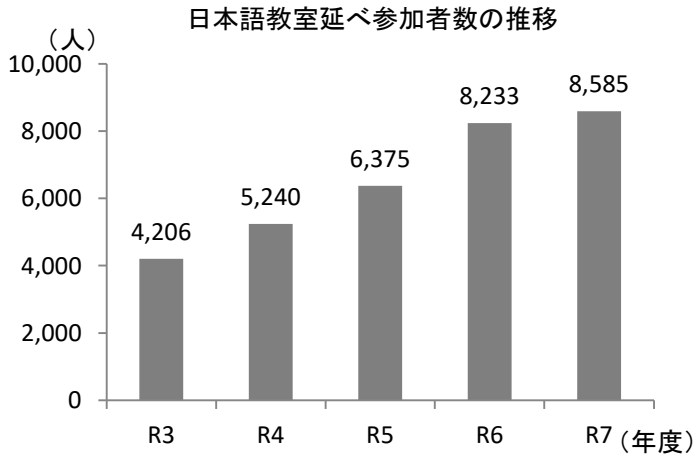


② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

項目	令和6年度	令和7年度
ボランティア新規登録者数(人)	49	65



※R3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、国際交流のつどいは中止



※R3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、一部中止・縮小

5 総括

① 令和7年度の取組状況	現状・成果	・文化振興事業は、古典芸能鑑賞会、文化講座等を開催することにより、区民が文化に触れる機会を提供し、伝統文化や各種文化に係る歴史等に対する理解を深めてもらうとともに、文化事業を行う10団体へ経費の一部を助成し、区民主体で行われる文化活動に対し支援した。 ・国際交流振興事業は、「国際交流のつどい」、「国際交流サロン」(全11回)を開催し、日本の文化を体験できるイベント等を通じて日本人と外国人が交流を楽しめる場を提供し、異文化理解・相互理解を図った。 ・日本語教室は、11教室(協会主催3教室、ボランティア主催8教室)開催し、外国人に対し日本語を学ぶ機会を提供した。また、日本語指導者養成講座の開催によりボランティア指導者を養成するとともに、各教室の日本語指導者に対し日本語ステップアップ講座を開催し、日本語指導者の指導力・技法のレベルアップを図った。 ・協会登録のボランティアの登録更新(3年ごと)を行った結果、高齢や家庭の事情等の理由により登録者数は減っているが、新規登録者数においては令和6年度から増加しており、国際交流サロン等の日本人と外国人との交流を行う場や保健センターで実施している乳幼児健診での通訳を行っている。また、協会登録のボランティアに対して研修会を実施し、ボランティア活動支援を行った。
	課題	・日本語教室は申込者が増加しており、引き続き、日本語指導者の指導力・技法のレベルアップを図るとともに、より多くの外国人が日本語を学べるよう日本語指導者を養成し、日本語教室を開催する必要がある。 ・協会登録のボランティアは、引き続き、国際交流サロンや保健センターで実施している乳幼児健診等での通訳のほかに活動場所の拡大や、一人一人のスキルアップ等への活動支援を強化していく必要がある。 ・中央区在住外国人意識調査において、「外国人が生活する上で知りたい情報」では、イベント情報が最も多くなっているなど、地域参加や交流への関心の高さがうかがえることから、協会で行っている事業のさらなる周知を図っていく必要がある。

② 今後の方向性	・区民が文化に触れる機会をより多く持ってもらうため、各種文化事業の一層の充実を図るとともに継続的な活動への支援を行っていく。 ・国際交流振興事業は、異文化理解・相互理解を図るため、外国人区民等を対象とする「国際交流のつどい」や「国際交流サロン」等の各種国際交流事業に対し支援していく。 ・協会およびボランティア団体が実施する「日本語教室」について、日本語指導者の指導力・技法のスキルアップを引き続き行うとともに、日本語指導者養成講座を受講したボランティアに日本語教室の開催を促すなど、さらなる拡充を図る。 ・協会に登録している通訳・翻訳ボランティア等が多様な分野で活躍できるよう、引き続き支援を行っていく。 ・協会が行っている事業について、さまざまな機会をとらえて周知を図るとともに、本区における多文化共生社会の実現に向けた取組を協議し、協会が行う事業を充実させていく。